

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7 款 商 工 費	2,900,019,201	76,384,000	0	1,624,472,977	1,199,162,224
1 項 商 工 費	2,900,019,201	76,384,000	0	1,624,472,977	1,199,162,224
2 目 中小企業振興費 < 中小企業の振興 >	170,431,012	0	0	516,160	169,914,852

1 中小企業振興対策事業費 167,245,054 円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

ものづくり・夢づくり支援事業では、制度周知に努め、販路開拓支援事業への助成など競争力や販売力の強化に資する支援を行った。また、企業BCP（事業継続計画）の策定を促すセミナーの開催、策定経費の助成など、普及・啓発のための支援を行った。今後も地域のニーズや戦略を踏まえた新たな制度の構築・検討を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業等国際規格等認証取得推進事業費補助金 343,000 円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		1件	203,000円	1件

(2) 中小企業振興助成金 151,439,560 円

助成金	平成26年度		平成27年度	
		199件	160,585,780円	185件

(3) ものづくり・夢づくり支援事業費 14,163,000 円

(ア) 知的財産権取得事業費補助金 1,077,000 円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		7件	918,000円	9件

(イ) 産学共同研究等支援事業費補助金 1,187,000 円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		4件	1,713,000円	3件

(ウ) 販路開拓支援事業費補助金 9,478,000 円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		43件	6,927,000円	59件

(エ) 創業者支援事業費補助金 1,553,000 円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		7件	1,209,000円	6件

(オ) 起業支援事業費補助金 868,000 円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		0件	0円	3件

(4) 企業BCP策定支援事業費 119,000 円

(ア) 企業BCP（事業継続計画）策定セミナーの開催 66,000 円

セミナー受講者数	平成26年度		平成27年度	
		延	148人	延

(4) 企業BCP策定支援事業費補助金 53,000円

補助金	平成26年度	平成27年度
	—	2件 53,000円

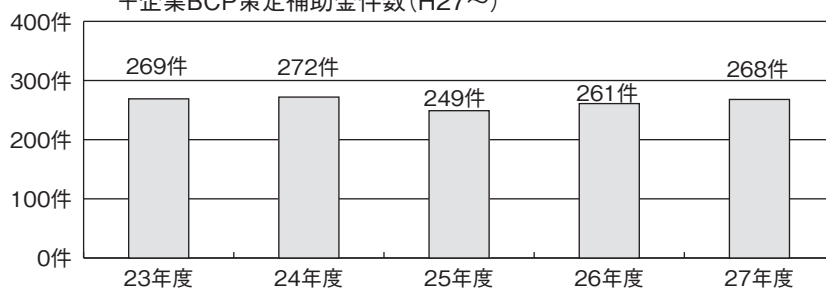
(5) とよはし製品活用支援事業費 1,180,494円

内容	平成26年度	平成27年度
	地元企業が製作した防災対策商品の購入と普及啓発 刺子グッズの商品化に向けた試作品の製作	刺子グッズの商品化、販売 高校生技術アイデア賞受賞作品「缶たんつぶし機」の製品化、市内小学校への導入

[指標]

指標名：中小企業振興助成金等交付件数

指標説明：振興助成金件数+国際規格等取得補助金件数+知的財産権取得補助金件数+産学共同研究補助金件数+販路開拓補助金件数+創業者支援補助金件数+起業支援補助金件数(H26～)+企業BCP策定補助金件数(H27～)



2 人材育成事業費 3,175,578円 (商工業振興課)

[総括]

「とよはしの匠」顕彰事業では、優れた技能者を顕彰し、小・中学生を対象とした体験講座「匠の技術を学ぼう」を開催した。また、「高校生技術アイデア賞」事業では、高校生の優れた作品・アイデアを表彰した。今後も次世代の技能人材の育成のため、地域の優れた技能者の活用を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 「とよはしの匠」顕彰事業費 826,520円

被顕彰者数	平成26年度	平成27年度
	3名	4名

(2) 「高校生技術アイデア賞」事業費 689,058円

応募件数	平成26年度		平成27年度	
	作品部門	14件	作品部門	15件
	アイデア部門	479	アイデア部門	446

(3) 地域技能者活用事業費 460,000円

参加者数	平成26年度	平成27年度
	13名	16名

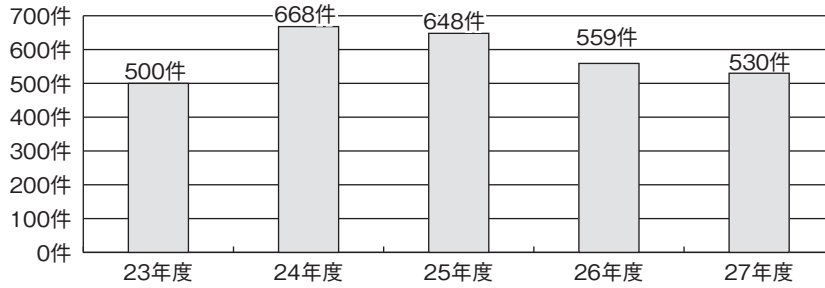
(4) エコカーチャンピオンシップ事業費補助金 1,200,000円

補 助 金	平成26年度		平成27年度	
	48チーム	1,200,000円	49チーム	1,200,000円

[指 標]

指 標 名：人材育成事業参加件数

指標説明：「とよはしの匠」応募者数+「高校生技術アイデア賞」応募件数+地域技能者活用事業参加者数
+高校生環境技術研究活動事業参加者数(H23)+エコカーチャンピオンシップ参加チーム数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 産 業 創 出 費 ＜産業の高度化と新規産業の創出＞	128,946,479	19,590,000	0	15,877,500	93,478,979

1 サイエンス・クリエイト21計画推進事業費 128,946,479円 (産業政策課・商工業振興課)

[総括]

中小企業技術者研修事業では、新たに「地域産業を海外展開するための輸出手法基礎実習講座」を開催するなど講座内容を見直し、中小企業の資質の向上に寄与した。また、新たな産業創出に向けた研究開発や産業支援機能の強化に対する助成のほか、デジタル工作機械やドローン等による新しいものづくり技術の普及・人材育成を目的とした「メイカーズ・ラボとよはし」の運営に対する助成を行った。今後も地域産業育成に向け、産業人材のキャリアアップ支援などニーズに沿った事業を検討・推進していく。

[実績及び成果]

(1) 中小企業技術者研修事業費 38,880,000円

区 分	平成26年度	平成27年度
内 容	溶接技術基礎実習講座、金属系材料基礎講座、会社で活用するための3Dプリンター基礎講座始め18講座	溶接技術基礎実習講座、フリーの3Dデータ作成ソフトで学ぶ3Dプリンター基礎講座、地域産業を海外展開するための輸出手法基礎実習講座始め21講座
受 講 者 数	延 228人	延 177人

(2) イノベーション創出等支援事業補助金 32,662,764円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	42,913,070円	32,662,764円

(3) メイカーズ・ラボ交流促進事業補助金 14,452,815円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	—	14,452,815円

(4) 新規ビジネス創造支援事業補助金 398,900円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	500,000円	398,900円

(5) 社会人キャリアアップ支援事業補助金 1,781,000円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	—	1,781,000円

(6) 地域産業支援機能強化補助金 21,181,000円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	21,304,000円	21,181,000円

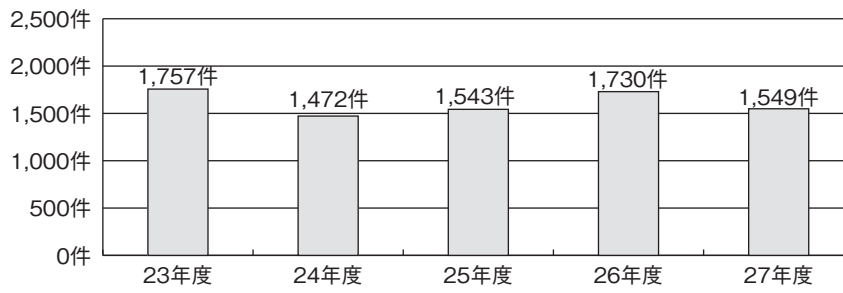
(7) 次世代ものづくり研究開発促進事業補助金 19,590,000円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	—	19,590,000円

[指 標]

指 標 名：豊橋サイエンスコア利用件数

指標説明：技術相談件数＋貸室利用件数＋中小企業技術者研修受講者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 企業誘致費 〈円滑な企業活動の促進と企業誘致の推進〉	318,753,960	0	0	472,000	318,281,960

1 企業誘致推進事業費 318,753,960円 (産業政策課)

[総括]

関西、関東及び近隣市の優良企業に対し誘致活動を行うとともに、市内の立地企業との情報交換会を開催するなど市内企業のニーズにも対応した事業を実施した。また、広域的な産業集積を活かした企業誘致を展開するため、東三河5市が連携した戦略的な企業誘致に取り組んだ。今後、内陸用地への進出要望の高まりへの対応として、国道23号名豊道路沿線の内陸部に新たな産業用地を確保する必要がある。

[実績及び成果]

(1) 企業誘致活動事業費 7,967,360円

内 容		平成26年度		平成27年度	
企業誘致説明会	開催日	26.7.3		28.2.21(28.3.25)	
	場 所	大阪市		大阪市(豊橋市)	
	出席企業数	27社		24社	
立地企業情報交換会	開催日	26.11.26	26.12.12	27.8.27	28.2.4
	場 所	若松地区	県境地域	リサーチパーク	石巻地区
	出席企業数	11社	9社	12社	11社
東三河5市企業誘致推進連絡会議	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・メッセナゴヤ出展 26.11.5~8 ポートメッセ名古屋 ・企業連携懇談会(東京都) 27.2.4 		<ul style="list-style-type: none"> ・メッセナゴヤ出展 27.11.4~7 ポートメッセ名古屋 ・企業連携懇談会(東京都) 28.2.22 	
展示会への出展	事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸・植物工場展 26.7.23~25 東京ビッグサイト 		<ul style="list-style-type: none"> ・国際ロボット展 27.12.2~5 東京ビッグサイト 	

(2) 企業立地促進奨励金 304,042,000円

奨 励 金	平成26年度		平成27年度	
		41件	205,996,000円	35件

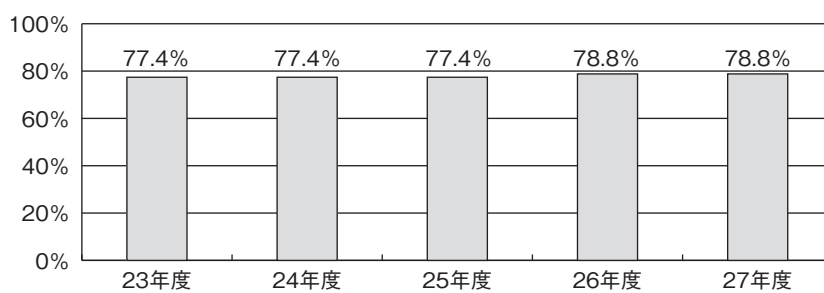
(3) 産業拠点形成事業費 6,744,600円

内 容	平成26年度		平成27年度	
		—		産業用地開発調査 土壌調査 物件調査

[指 標]

指 標 名：事業所用地分譲率

指標説明：市内5か所の事業所用地全体の分譲率(面積)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 商業振興費 <魅力ある商業集積の形成>	291,571,339	56,544,000	0	175,030,000	59,997,339

1 商業振興対策事業費 248,923,037円 (商工業振興課)

[総括]

魅力ある商業地形成のため、商店街等が維持管理を行う街路灯等の電灯料や既設街路灯の省エネ化に対して助成したほか、商業団体が実施する各種イベントや市内大学の学生が中心となって店舗を運営するサマーカレッジチャレンジショップに対する支援などを行った。また、地域経済の活性化のため、豊橋商工会議所が実施するプレミアム付商品券発行事業に対して助成した。今後も各種事業を実施することにより、商業等の活性化を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体街路灯等電灯料補助金 3,729,110円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		22団体	4,614,320円	23団体

(2) 商業団体共同事業補助金 1,811,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		7団体	2,979,000円	7団体

(3) 商学連携促進事業補助金 100,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		1団体	216,000円	1団体

(4) 商店街環境向上事業補助金 7,953,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		1団体	1,366,000円	10団体

(5) 空き店舗活用事業補助金 320,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		1団体	444,000円	1団体

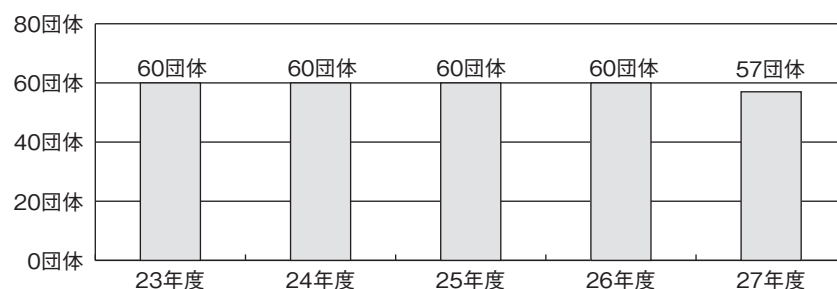
(6) プレミアム付商品券発行事業補助金 235,009,927円

内 容	平成26年度		平成27年度	
使用期間	—		27.7.13~10.31	
使用枚数・金額	—		1,198,237枚	1,198,237,000円
消費喚起額(推計)	—		472,626,000	
補助金	—		235,009,927	

[指 標]

指 標 名：商店街、発展会等数

指標説明：法組織(商店街振興組合、商店街事業協同組合)数+任意組織(発展会等)数



2 まちなかにぎわい創出事業費 24,644,302 円 (まちなか活性課)

[総 括]

中心市街地活性化のため、まちなかにぎわいを創出する歩行者天国やまちなかマルシェを開催したほか、豊橋駅東口ペDESTリアンデッキではイルミネーション装飾の充実を図った。また、新たに中心市街地の店舗のファンづくりを行う「まちゼミ」他各種イベントの開催に対して支援した。今後も商業者等様々な団体と連携・協力しながらまちなかにぎわいを創出し、魅力ある中心市街地の形成に取り組んでいく。

[実績及び成果]

(1) まちなかにぎわい創出活動事業費 13,715,302 円

内 容	平成26年度	平成27年度
まちなかイルミネーション装飾の実施	点灯期間・日数 26.11.16~27.1.12 58日間	点灯期間・日数 27.11.15~28.1.31 78日間
	装飾電球数 約 88,000球	装飾電球数 約 107,000球
まちなかマルシェ等の実施	実施回数 16回	実施回数 15回
	来場者数 延 61,300人	来場者数 延 60,500人

(2) まちなか活性化推進協議会負担金 1,000,000 円

負 担 金	平成26年度	平成27年度
	1,000,000円	1,000,000円

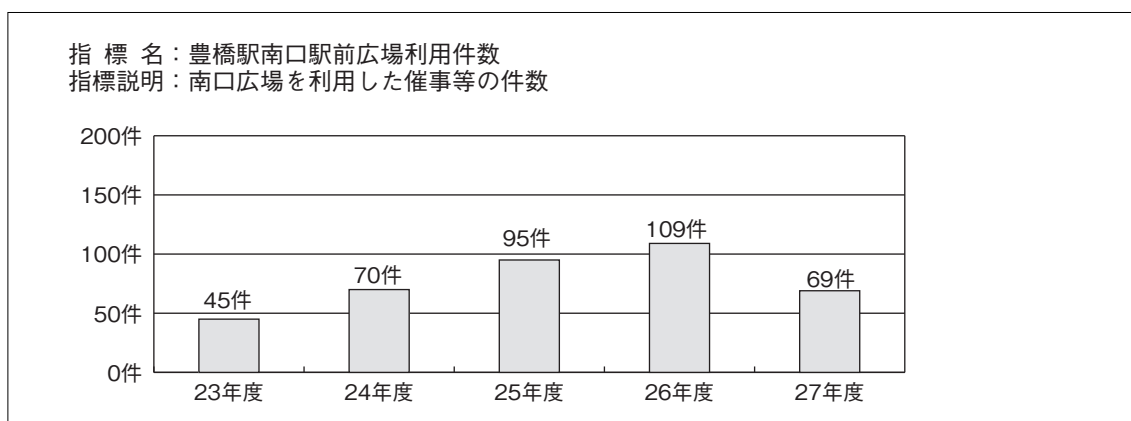
(3) イルミネーションフェスティバル補助金 929,000 円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	1件 893,000円	1件 929,000円

(4) 歩行者天国実行委員会負担金 9,000,000 円

内 容	平成26年度	平成27年度
歩行者天国の実施	実施回数 10回	実施回数 10回
	来場者数 延 255,000人	来場者数 延 285,000人

[指標]



3 TMO支援事業費 18,004,000円（まちなか活性課）

[総括]

中心市街地活性化のため、株式会社豊橋まちなか活性化センター（TMO）が実施する空き店舗活用事業や共通駐車券事業のほか、魅力的な店舗の情報を発信する情報誌の発行や新規創業者の出店経費の負担軽減を図るまちなかインキュベーション事業を支援した。今後もまちなかのにぎわいを創出し、魅力ある商業・サービス業を集積させるための取組みを支援していく。

[実績及び成果]

(1) 商業団体共同事業補助金 144,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
	1件	38,000円	2件	144,000円

(2) 空き店舗活用事業補助金 9,628,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
	9件	5,273,000円	13件	9,628,000円

(3) 共通駐車券事業補助金 1,056,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
	1件	1,093,000円	1件	1,056,000円

(4) おかえり切符事業補助金 410,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
	1件	406,000円	1件	410,000円

(5) 元気・魅力店舗見える化事業補助金 924,000円

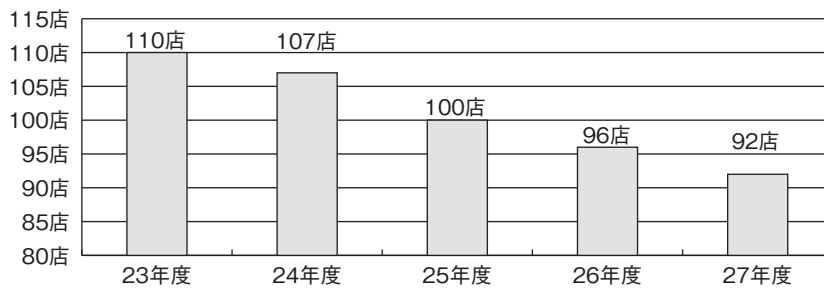
補助金	平成26年度		平成27年度	
	1件	924,000円	1件	924,000円

(6) まちなかインキュベーション事業補助金 5,842,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
	4件	4,812,000円	6件	5,842,000円

[指 標]

指 標 名：中心市街地内の空き店舗数
指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 中小企業支援費 <意欲ある事業者への支援>	1,511,963,909	0	0	1,402,000,000	109,963,909

1 制度融資関係補助事業費 90,421,654 円 (商工業振興課)

[総括]

中小事業者が愛知県信用保証協会の信用保証を得て融資を受けた場合にその信用保証料相当額を助成するなど、中小事業者の借入負担を軽減し経営の安定化を図る支援を行った。今後も補助制度の利用を促進していく。

[実績及び成果]

(1) 制度融資信用保証料補助金 88,275,454 円

補 助 金	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
		825件	89,678,000円	850件

(2) 不況業種支援対策特別補給補助金 752,800 円

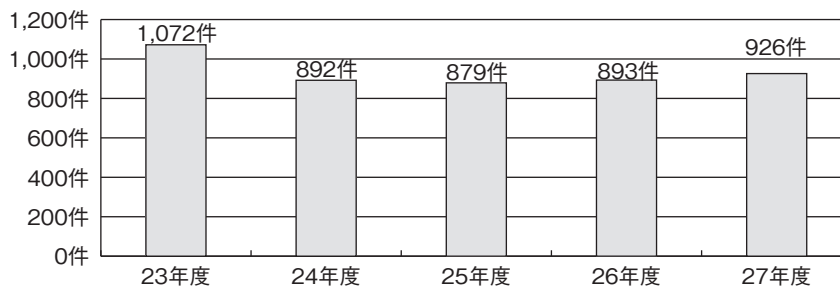
補 助 金	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
		7件	178,700円	12件

(3) 小規模事業者経営改善資金利子補給補助金 1,393,400 円

補 助 金	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
		61件	1,559,900円	64件

[指 標]

指 標 名：制度融資関係補助金交付件数
 指標説明：制度融資信用保証料補助金件数+不況業種支援対策特別補給補助金件数
 +小規模事業者経営改善資金利子補給補助金件数(H25～)



2 制度融資事業費

1,408,759,357 円（商工業振興課）

〔総括〕

中小事業者に対する金融機関の融資の停滞を防ぎ、中小事業者が経営基盤を安定・強化できるように、小口事業資金融資や経営安定資金融資などの原資として預託を行った。今後も融資制度の利用を促進していく。

〔実績及び成果〕

〔預託金合計〕

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
預 託 額	1,351,000,000円	1,402,000,000円	3.8%
融 資 目 標 額	5,313,000,000円以上	5,592,000,000円以上	—
融 資 実 績	件数	1,048件	1,058件
	金額	4,502,170,000円	4,640,785,000円
融 資 実 績 率	84.7%	83.0%	△ 1.7ポイント

(1) 小口事業資金預託金 907,000,000 円

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
預 託 先	豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額	869,000,000円	907,000,000円	4.4%
融 資 目 標 額	2,607,000,000円以上	2,721,000,000円以上	—
融 資 実 績	件数	289件	287件
	金額	2,130,700,000円	2,122,290,000円
融 資 実 績 率	81.7%	78.0%	△ 3.7ポイント

(2) 経営安定資金預託金 16,000,000 円

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
預 託 先	岡崎信用金庫ほか15金融機関	岡崎信用金庫ほか15金融機関	—
預 託 額	56,000,000円	16,000,000円	△71.4%
融 資 目 標 額	168,000,000円以上	48,000,000円以上	—
融 資 実 績	件数	8件	12件
	金額	48,200,000円	105,100,000円
融 資 実 績 率	28.7%	219.0%	190.3ポイント

(3) 小規模企業等振興資金預託金 330,000,000 円

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
預 託 先	豊橋信用金庫ほか15金融機関	豊橋信用金庫ほか16金融機関	—
預 託 額	300,000,000円	330,000,000円	10.0%
融 資 目 標 額	2,160,000,000円以上	2,376,000,000円以上	—
融 資 実 績	件数	695件	700件
	金額	2,088,770,000円	2,137,345,000円
融 資 実 績 率	96.7%	90.0%	△ 6.7ポイント

(4) 中心市街地商業活性化資金預託金 20,000,000 円

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
預 託 先		蒲郡信用金庫ほか13金融機関	蒲郡信用金庫ほか12金融機関	—
預 託 額		23,000,000円	20,000,000円	△13.0%
融 資 目 標 額		69,000,000円以上	60,000,000円以上	—
融 資 実 績	件数	3件	3件	0.0
	金額	10,900,000円	44,000,000円	4.0倍
融 資 実 績 率		15.8%	73.3%	57.5ポイント

(5) 創業支援資金預託金 100,000,000 円

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか6金融機関	豊橋信用金庫ほか7金融機関	—
預 託 額		71,000,000円	100,000,000円	40.8%
融 資 目 標 額		213,000,000円以上	300,000,000円以上	—
融 資 実 績	件数	44件	44件	0.0
	金額	187,400,000円	176,300,000円	△ 5.9
融 資 実 績 率		88.0%	58.8%	△29.2ポイント

(6) 中小企業団体共同事業資金預託金 12,000,000 円

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
預 託 先		岡崎信用金庫ほか6金融機関	岡崎信用金庫ほか6金融機関	—
預 託 額		14,000,000円	12,000,000円	△14.3%
融 資 目 標 額		42,000,000円以上	36,000,000円以上	—
融 資 実 績	件数	3件	3件	0.0
	金額	18,200,000円	15,750,000円	△13.5
融 資 実 績 率		43.3%	43.8%	0.5ポイント

(7) 小規模事業資金預託金 17,000,000 円

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
預 託 先		豊橋信用金庫ほか11金融機関	豊橋信用金庫ほか11金融機関	—
預 託 額		18,000,000円	17,000,000円	△ 5.6%
融 資 目 標 額		54,000,000円以上	51,000,000円以上	—
融 資 実 績	件数	6件	9件	50.0
	金額	18,000,000円	40,000,000円	2.2倍
融 資 実 績 率		33.3%	78.4%	45.1ポイント

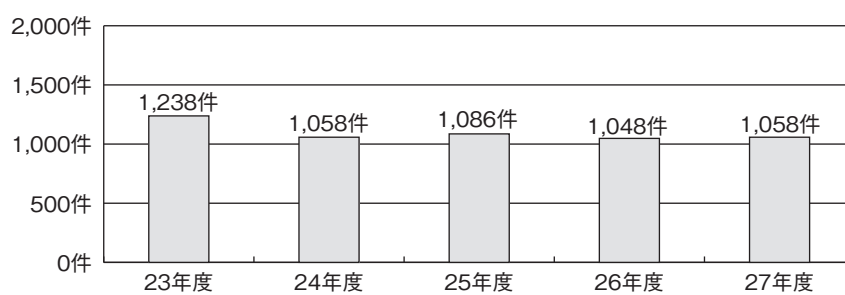
(8) 愛知県信用保証協会損失補償金 6,759,357 円

補 償 金	平成26年度		平成27年度	
	13件	3,341,897円	14件	6,759,357円

[指 標]

指 標 名：融資件数

指標説明：全制度融資(商工組合中央金庫預託金分(H23~26)を除く)の融資件数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7日 観 光 費 <観光資源の魅力づくり>	84,044,897	0	0	13,664	84,031,233

1 まつり・イベント支援事業費 76,300,000円 (観光振興課)

[総括]

交流人口の拡大によって観光振興や地域の活性化を図るため、市内外からの多くの集客を見込めえじゃないか豊橋まつり、春まつり、花しょうぶまつりなどの各種まつり・イベントの開催を支援した。ええじゃないか豊橋まつりの総おどりで新たな参加者の増加に向けてPRに努めた結果、過去最高の参加者数を達成した。今後もイベント等の魅力向上に努めながら、地域の活性化につながるよう一層の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) まつり開催費補助金 10,300,000円

行 事 内 容			平成26年度	平成27年度
春まつり	さくらまつり	期 間	26.4.1～4.10 (19日間) 27.3.23～3.31	27.4.1～4.9 (16日間) 28.3.25～3.31
		場 所	向山緑地ほか	向山緑地ほか
		来場者数	約40,000人	約35,000人
	つつじまつり	期 間	26.4.25～5.8 (14日間)	27.4.24～5.7 (14日間)
		場 所	向山緑地内向山大池周辺	向山緑地内向山大池周辺
		来場者数	約2,500人	約2,500人
	うめまつり	期 間	27.1.30～3.15 (45日間)	28.1.30～3.13 (44日間)
		場 所	向山緑地内梅林園	向山緑地内梅林園
		来場者数	約42,000人	約42,000人
補 助 金		6,472,503円	6,489,000円	
花しょうぶまつり	期 間	26.5.26～6.16 (22日間)	27.5.25～6.21 (28日間)	
	場 所	賀茂しょうぶ園	賀茂しょうぶ園	
	来場者数	約190,000人	約200,000人	
	補 助 金	3,811,000円	3,811,000円	

(2) 豊橋まつり開催費補助金 52,000,000円

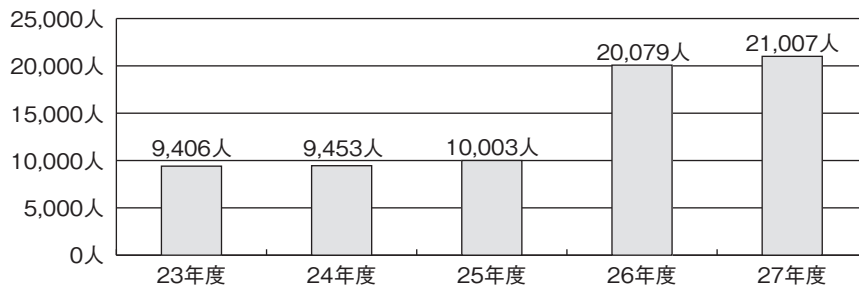
区 分	平成26年度	平成27年度
開 催 日	26.10.18～19	27.10.17～18
会 場 数	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場	まちなかエリア・豊橋公園エリア 12会場
行 事 数	38行事	40行事
総 人 出 数	約600,000人	約620,000人
総 参 加 団 体 数	約960団体	約840団体
補 助 金	62,000,000円	52,000,000円

(3) 炎の祭典開催費補助金 14,000,000 円

区 分	平成26年度	平成27年度
開 催 日	26.9.13	27.9.12
場 所	豊橋球場及びその周辺	豊橋球場及びその周辺
来 場 者 数	約57,000人	約56,000人
補 助 金	14,000,000円	14,000,000円

[指 標]

指 標 名：ええじゃないか豊橋まつり総おどり参加者数
指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 観光情報発信費 ＜ 情報 の 発 信 ＞	96,152,037	250,000	0	30,563,653	65,338,384

1 産業プロモーション推進事業費 55,726,076 円 (産業政策課・観光振興課)

[総括]

首都圏でのプロモーションとして、浅草「まるごとにつぼん」において、本市初となる特産品等の常設展示・販売を開始したほか、横浜赤レンガ倉庫やららぼーと豊洲で手筒花火を放揚した。豊橋駅構内では、東三河の産業をPRする展示ブースを東西自由連絡に設置した。また、吉田城内におけるパネル展示の多言語化や手筒花火PR動画の制作など訪日外国人旅行者の誘客に努めた。産業プロモーション実施回数の減少は、より効果の期待できる場所でプロモーションを実施するために見直しを行ったためであり、今後も、効果を検証しながら本市の認知度向上や誘客につなげるプロモーションを展開する必要がある。

[実績及び成果]

(1) 産業プロモーション推進事業費 55,726,076 円

(ア) 推進活動費 20,348,126 円 (うち手筒花火放揚 10,070,000 円)

産業プロモーション 実 施 回 数 ※ () は 日 数	平成26年度		平成27年度	
	・物産展			・物産展
東京交通会館	18回	(18日)	浅草「まるごとにつぼん」	3回 (6日)
ゲートシティ大崎	1	(3)	東京交通会館	2 (2)
大山商店街	1	(2)	大山商店街	1 (2)
横浜赤レンガ倉庫	1	(3)	横浜赤レンガ倉庫	1 (2)
・手筒花火放揚			・手筒花火放揚	
ららぼーと豊洲	1	(1)	ららぼーと豊洲	1 (1)
横浜赤レンガ倉庫	1	(1)	横浜赤レンガ倉庫	1 (1)
・その他	17	(23)	・その他	16 (22)
計	40	(51)	25	(36)

(イ) 豊橋駅東西自由連絡通路展示物設置事業費 3,793,340 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	トヨタ・レクサス及びものづくり技術 { 日東電工 (株) 紹介展示	

(ウ) ご当地グルメ普及促進事業補助金 1,000,000 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	「豊橋カレーうどん」を普及啓発するPR活動の実施	

(エ) 豊橋産農産物首都圏販売事業補助金 21,610 円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	159,517円	21,610円

(オ) インバウンド対策推進事業費 24,963,000 円

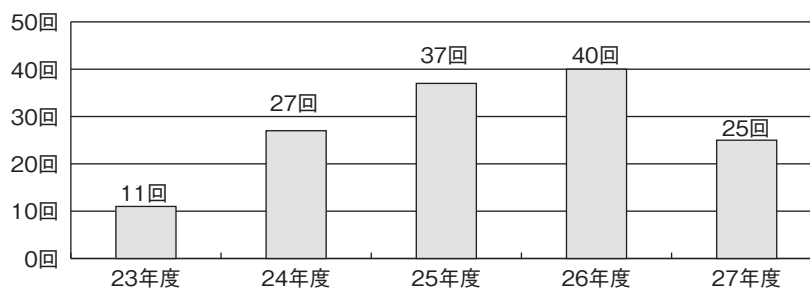
内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田城内多言語パネルの展示 ・手筒花火PR動画の制作 ・とよはし情報プラザ内多言語情報サイトの設置

(カ) ええじゃないか通販販売促進事業補助金 5,600,000 円

補 助 金	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	—	5,600,000円

[指 標]

指 標 名：産業プロモーション実施回数
 指標説明：物産展、手筒花火放揚などのPR活動回数



2 観光宣伝事業費 14,525,961 円（観光振興課）

[総 括]

本市の魅力ある観光資源・施設への集客を促すため、雑誌・新聞などによる情報発信や情報プラザを利用したPR活動を行った。今後も国内外の人々が豊橋に興味を持ち、訪れたいくなるような効果的な情報発信、PR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 観光PR活動推進事業費 7,051,263 円

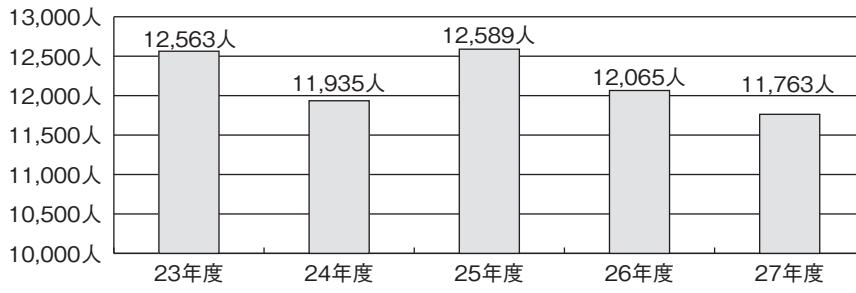
豊橋市への来訪者数	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
	延 2,137,907人	延 2,204,257人	3.1%

(2) 情報プラザ運営事業費 7,474,698 円

案 内 者 数	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
	延 12,065人	延 11,763人	△ 2.5%

[指 標]

指 標 名：情報プラザの案内者数
指標説明： 〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8 款 土 木 費	14,405,421,239	1,506,553,595	1,825,700,000	821,317,191	10,251,850,453
1 項 道 路 橋 梁 費	3,735,034,601	440,757,000	806,200,000	270,245,955	2,217,831,646
2 目 広域幹線道路整備費 <広域幹線道路の整備>	26,372,440	0	0	0	26,372,440

1 幹線道路建設促進対策事業費 26,372,440 円 (道路建設課)

[総括]

広域幹線道路の整備を促進するため、東三河縦貫道路建設促進期成同盟会をはじめとする各種協議会を運営するとともに、本市が加盟する他の協議会においても、国・県に対する要望活動等を積極的に行った。名豊道路道の駅整備事業では、基本計画の策定に着手するとともに、国土交通省の重点「道の駅」に選定された。今後も関係自治体や経済界との連携をより一層強化し、地域と一体となって事業の円滑な推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 幹線道路建設促進対策事務費 1,373,680 円

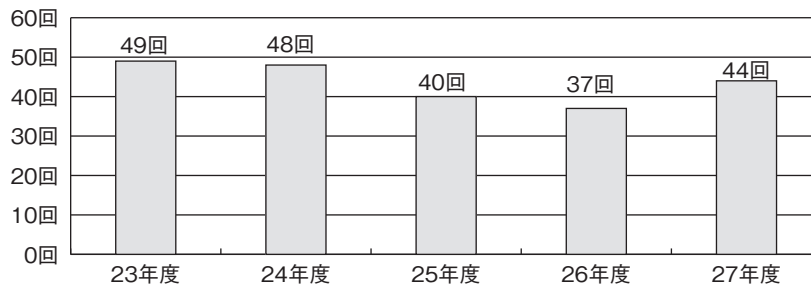
内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
東三河縦貫道路建設促進期成同盟会	総会・要望活動・研修会の実施	総会・要望活動・研修会の実施
名豊道路建設推進協議会	総会・要望活動の実施	総会・要望活動の実施
その他本市が加盟する協議会	総会・意見交換会・要望活動等への参加	総会・意見交換会・要望活動等への参加

(2) 名豊道路道の駅整備事業費 24,998,760 円

内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	—	道の駅基本設計

[指 標]

指 標 名：各種協議会としての活動回数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 幹線道路整備費 < 幹線道路の整備 >	122,108,429	25,366,000	18,600,000	0	78,142,429

1 幹線市道整備事業費 121,646,008 円 (道路建設課)

[総括]

大岩町・小松原町55号線は第3工区の事業に着手した。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、道路交通の円滑化や交通安全確保のため、幹線道路の整備を図る。

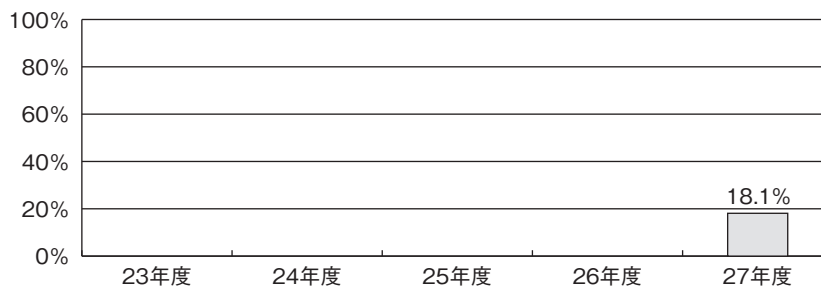
[実績及び成果]

- (1) 大岩町・小松原町 55 号線整備事業費 67,908,448 円
(国庫補助事業 46,120,000 円 市単独事業 21,788,448 円)

	平成26年度	平成27年度
道路改良 (第3工区)	—	用地 904.78㎡ 補償 工作物等

[指標]

指標名：大岩町・小松原町55号線整備事業進捗率(第3工区)
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成27年度～平成31年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 交通環境保全費 <安全で快適な交通環境の保全>	2,007,948,486	239,143,000	630,900,000	107,015,298	1,030,890,188

1 自由連絡通路等管理事業費 206,170,405 円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅、二川駅及び駅周辺施設の利用者が安全・快適に利用できるよう自由連絡通路等を維持管理した。今後も、施設の修繕等適正な維持管理を行い、快適な環境づくりに努める。

[実績及び成果]

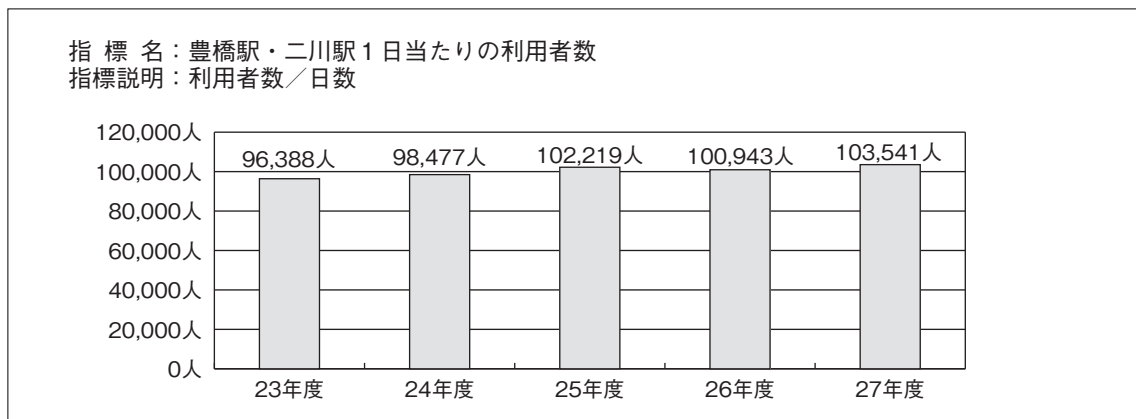
(1) 豊橋駅東西自由連絡通路等管理事業費 189,731,155 円

1日当たりの利用者数	平成26年度	平成27年度	比較
		95,677人	98,077人

(2) 二川駅南北自由連絡通路等管理事業費 16,439,250 円

1日当たりの利用者数	平成26年度	平成27年度	比較
		5,266人	5,464人

[指標]



2 自転車等駐車場管理運営事業費 80,817,180 円 (土木管理課)

[総括]

豊橋駅及び二川駅周辺において、安心して自転車等を預けられる施設として指定管理者制度を活用し、運営及び維持管理を行った。平成26年度に整備した豊橋駅東口自転車等駐車場城海津エリア及び二川駅南口自転車等駐車場東エリアの周知が進み利用率が上がった。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅東口自転車等駐車場管理運営事業費 50,859,261 円

(ア) 自転車・ミニバイク (駅前地下エリア) 収容台数 4,200 台

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		2,858台	2,789台	△ 2.4%
自 転 車	定 期	2,283	2,217	△ 2.9
	一 時	309	327	5.8
ミ ニ バ イ ク	定 期	223	202	△ 9.4
	一 時	43	43	0.0

(イ) 自動二輪車 (城海津エリア) 収容台数 14 台

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		6台	9台	50.0%
自 動 二 輪 車	定 期	1	1	0.0
	一 時	5	8	60.0

(2) 豊橋駅西口自転車等駐車場管理運営事業費 収容台数 1,300 台 15,712,025 円

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		1,033台	1,004台	△ 2.8%
自 転 車	定 期	817	800	△ 2.1
	一 時	124	123	△ 0.8
ミ ニ バ イ ク	定 期	80	70	△12.5
	一 時	12	11	△ 8.3

(3) 二川駅南口自転車等駐車場管理運営事業費 14,245,894 円

(ア) 自転車・ミニバイク (西エリア) 収容台数 370 台

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
1 日 平 均 利 用 台 数		438台	415台	△ 5.3%
自 転 車	定 期	304	312	2.6
	一 時	77	54	△29.9
ミ ニ バ イ ク	定 期	47	39	△17.0
	一 時	10	10	0.0

(イ) 自転車 (東エリア) 収容台数 45 台

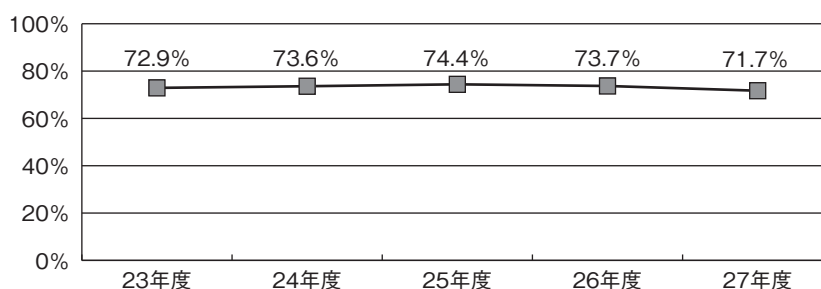
1 日 平 均 利 用 台 数	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
	6台	30台	5.0倍

(ウ) 自 動 車 収容台数 10 台

1 日 平 均 利 用 台 数	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
	11台	12台	9.1%

[指 標]

指 標 名：自転車等駐車場稼働率
 指標説明：豊橋駅東口、西口及び二川駅南口の1日平均利用台数／収容台数



3 道路施設等維持管理事業費 342,056,646 円（道路維持課）

[総 括]

生活道路の通行に支障がないよう、道路及び道路付属物の修繕・清掃・舗装等の維持管理を行った。今後も修繕等の迅速な対応に努め、道路の適正な維持管理を行う。

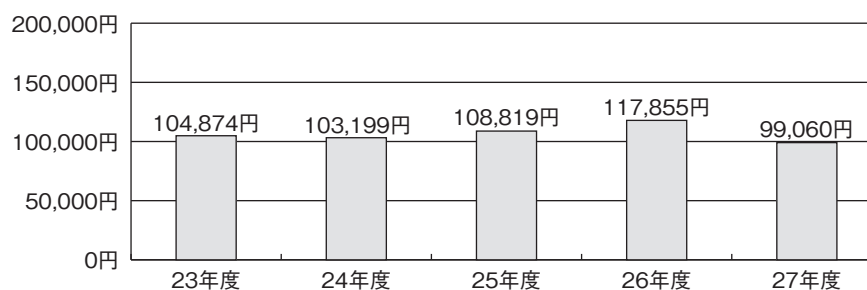
[実績及び成果]

(1) 道路施設等維持管理事業費 342,056,646 円

区 分	平成26年度	平成27年度
道 路 清 掃	133路線 延長 475.7km	135路線 延長 488.4km
道 路 側 溝 清 掃	93か所 〃 9,501m	93か所 〃 6,847m
舗 装 道 路 補 修	くぼみ補修工・舗装復旧工等	くぼみ補修工・舗装復旧工等
道 路 修 繕	市内一円、側溝修繕等	市内一円、側溝修繕等
道路ストック点検調査	路面性状調査 延長 108km 擁壁・のり面等 27か所 道路付属施設 540か所	—

[指 標]

指 標 名：市道1km当たりの維持管理費
 指標説明：直接事業費／市道延長



4 道路等維持改良事業費 286,793,820 円（道路維持課）

[総括]

道路側溝を計画的に整備することにより排水不良の軽減を図った。また、道路改良を実施して安全で快適な通行環境を確保した。今後も地域住民の要望を把握し必要性等を考慮しながら、事業効果を高めていく。

[実績及び成果]

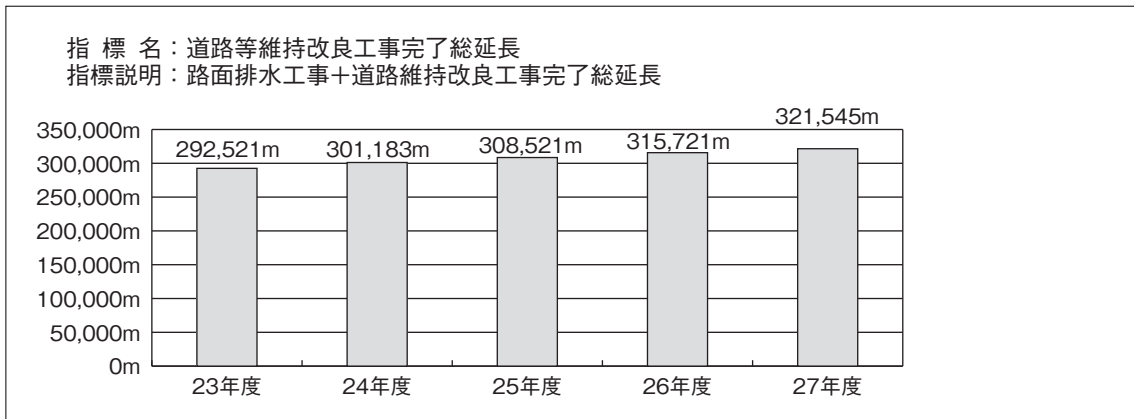
- (1) 路面排水整備工事費 250,152,840 円
 (国庫補助事業 9,367,920 円 市単独事業 240,784,920 円)

路 面 排 水	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
	市内一円	延長 6,794m	市内一円	延長 5,155m
	市街地	〃 178 雨水浸透型側溝等設置	市街地	〃 343 雨水浸透型側溝等設置

- (2) 道路維持改良工事費 36,640,980 円

道 路 維 持 改 良	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
	1 件	延長 228m	3 件	延長 326m

[指 標]



5 道路舗装事業費 423,462,600 円（道路維持課）

[総括]

未舗装区間の解消を図るとともに、既設の舗装道路についても、老朽化の程度、交通安全対策上の観点などから現場調査を実施し、順次改良・修繕を行った。今後も安全性や緊急性などを精査し、安全で快適な生活道路を整備していく。

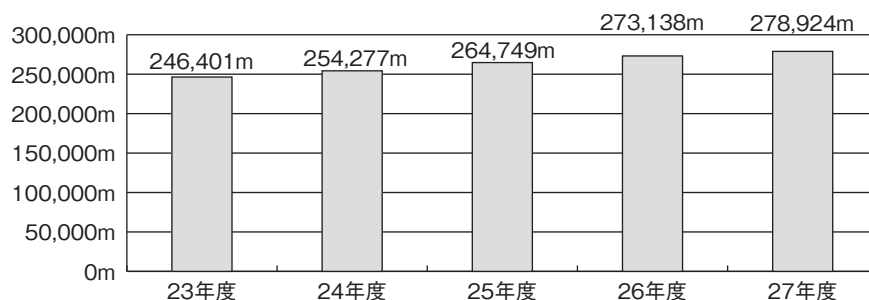
[実績及び成果]

- (1) 道路舗装事業費 423,462,600 円

内 容	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
舗 装 新 設	延長 937m	面積 2,615㎡	延長 1,021m	面積 2,764㎡
舗 装 改 良	〃 8,389	〃 48,324	〃 5,786	〃 33,209
舗 装 修 繕	〃 26,270		〃 22,370	

[指 標]

指 標 名：舗装改良工事総延長(平成13年度以降)
 指標説明：



6 橋梁整備事業費 517,589,181 円 (道路建設課)

[総 括]

平成 23 年度に策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕を行った。道路防災事業については、緊急輸送道路の液状化対策として橋梁の段差抑制工事を行った。今後も国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

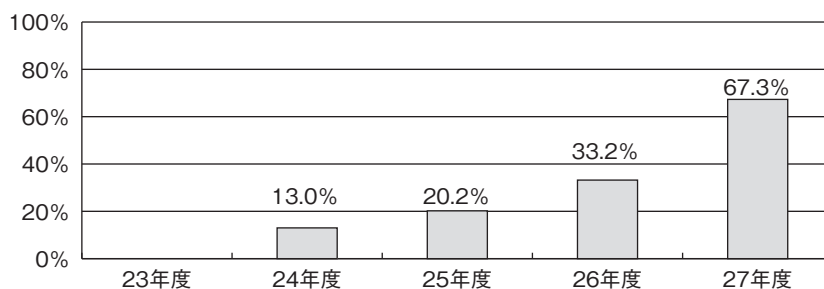
[実績及び成果]

(1) 橋梁長寿命化事業費 461,589,181 円
 (国庫補助事業 372,000,000 円 市単独事業 89,589,181 円)

内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
定 期 点 検	三ツ合橋始め60橋	高橋始め415橋
補 修 (国 庫 補 助)	上北の谷橋始め43橋	五間大橋始め63橋
補 修 (市 単 独)	池下橋始め22橋	下若根橋始め21橋

[指 標]

指 標 名：構造物(橋梁)保全率
 指標説明：予防保全済橋梁数/長寿命化修繕計画対象橋梁数(平成24年度~28年度)



(2) 道路防災事業費 56,000,000 円

(国庫補助事業 56,000,000 円)

内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	液状化対策詳細設計 津波避難用歩道橋基本設計	

7 道路環境整備事業費 11,608,920 円 (道路維持課)

[総括]

歩道修繕を行い、街路樹の根上がりによる段差の解消を図った。今後も歩きにくい歩道の改善に努める。

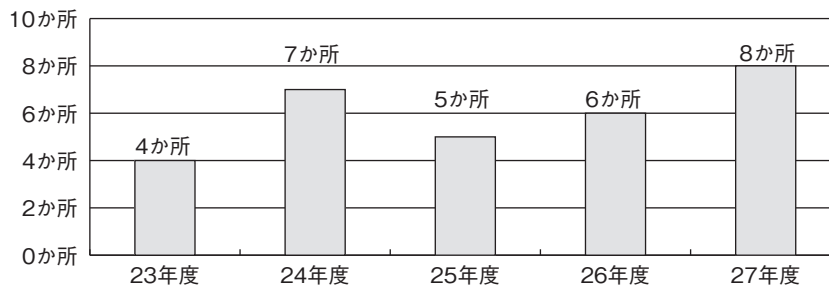
[実績及び成果]

(1) 人にやさしい道づくり事業費 11,608,920 円

歩 道 修 繕	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
		6 か所

[指 標]

指 標 名：人にやさしい道づくり工事(歩道修繕)か所数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 交通安全施設等整備費 <交通安全施設などの整備>	842,960,478	176,248,000	156,700,000	4,576,500	505,435,978

1 交通安全施設整備事業費 408,465,152 円 (道路建設課)

[総括]

第1工区が完了した石巻西川町・石巻中山町1号線はじめ5路線において、自転車歩行者道及び歩道設置により道路の安全確保に努めたほか、事故危険箇所対策事業においては、2か所の交差点改良を行った。また、自転車通行空間整備事業では、平成26年度に策定した自転車ネットワーク整備計画に基づき、自転車通行空間の整備を行った。今後も道路状況や地元要望等を検討し、国庫補助金等の財源確保に努め、事業を推進していく。

[実績及び成果]

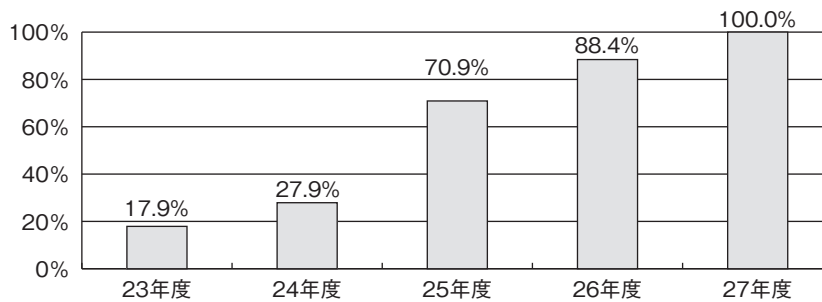
(1) 石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業費 44,596,440 円

(国庫補助事業 35,700,000 円 市単独事業 8,896,440 円)

自転車道等設置	平成26年度		平成27年度	
	延長	267m	延長	141m
用地	320.20㎡	用地	—	
補償	工作物等	補償	—	

[指標]

指標名：石巻西川町・石巻中山町1号線自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費/全体直接事業費(平成23年度~27年度)



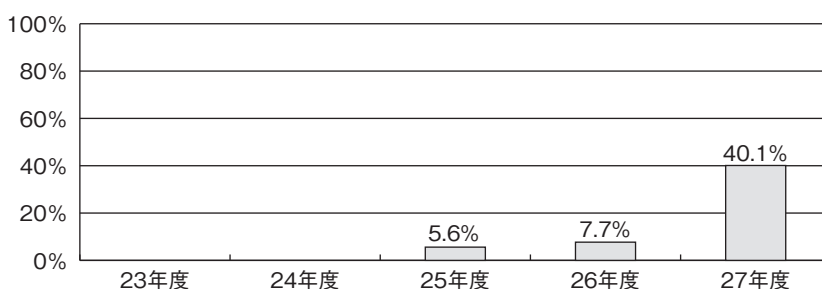
(2) 飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業費 169,457,661 円

(国庫補助事業 154,742,000 円 市単独事業 14,715,661 円)

自転車道等設置	平成26年度		平成27年度	
	延長	—	延長	150m
用地	12.92㎡	用地	489.68㎡	
補償	工作物等	補償	建物等	

[指標]

指標名：飯村町・大岩町47号線ほか自転車道等設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～30年度）

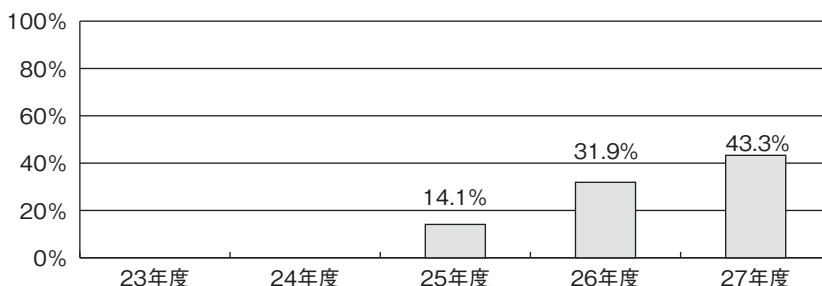


- (3) 植田町・大清水町 103 号線歩道設置事業費 22,865,714 円
 (国庫補助事業 20,360,000 円 市単独事業 2,505,714 円)

歩道設置	平成 26 年度		平成 27 年度	
	延長	—	延長	120m
用地	318.03㎡	用地	55.04㎡	
補償	工作物等	補償	工作物等	

[指標]

指標名：植田町・大清水町103号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～29年度）

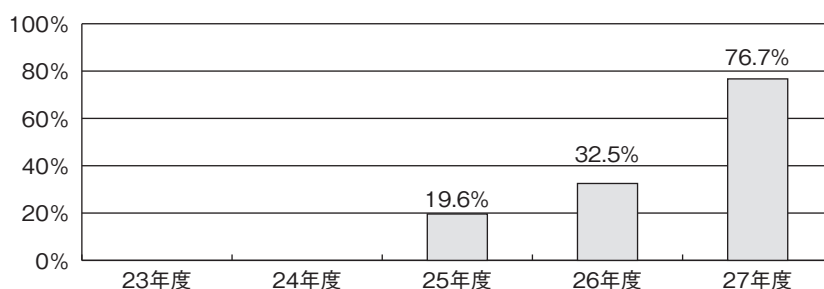


- (4) 二川町・大岩町 37 号線歩道設置事業費 20,979,252 円
 (国庫補助事業 16,160,000 円 市単独事業 4,819,252 円)

歩道設置	平成 26 年度		平成 27 年度	
	延長	—	延長	70m
用地	313.68㎡	用地	140.66㎡	
補償	—	補償	工作物	

[指 標]

指 標 名：二川町・大岩町37号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成25年度～28年度）



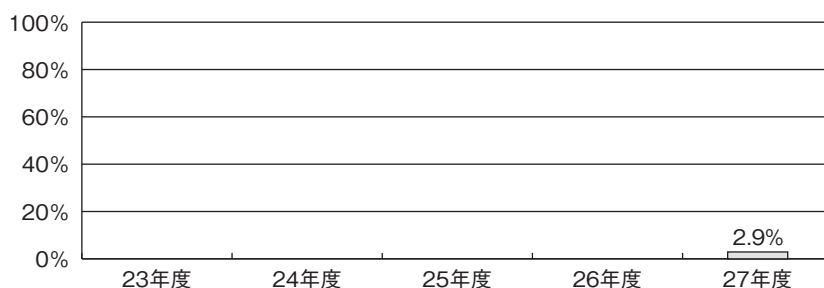
(5) 畑ヶ田町1号線ほか自転車歩行者道設置事業費 3,726,945 円

(国庫補助事業 1,000,000 円 市単独事業 2,726,945 円)

自転車歩行者道設置	平成26年度	平成27年度
	—	用地 31.27㎡

[指 標]

指 標 名：畑ヶ田町1号線ほか自転車歩行者道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成27年度～29年度）



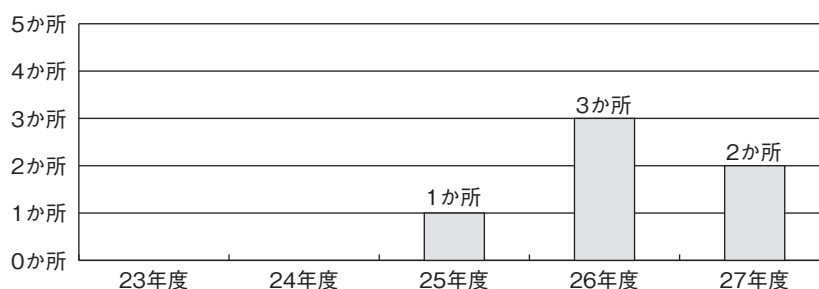
(6) 事故危険箇所対策事業費 3,719,520 円

(国庫補助事業 3,700,000 円 市単独事業 19,520 円)

カラー標示等	平成26年度	平成27年度
	3か所	2か所

[指 標]

指 標 名：事故危険箇所対策か所数
 指標説明： / (平成25年度～27年度)

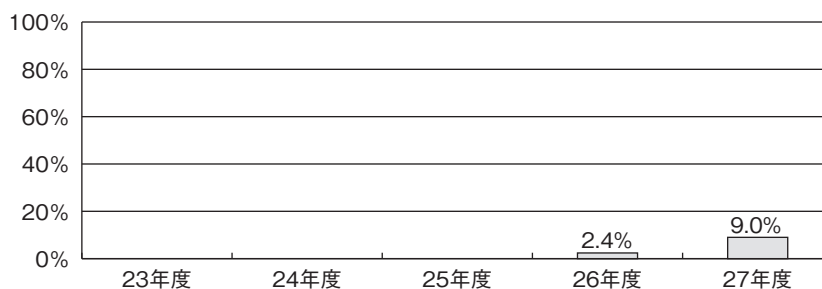


- (7) 自転車通行空間整備事業費 79,525,800 円
 (国庫補助事業 78,071,000 円 市単独事業 1,454,800 円)

内 容	平成26年度	平成27年度
調 査 設 計 路 面 標 示 等	自転車ネットワーク整備計画策定 延 長 500m	— 延 長 1,400m

[指 標]

指 標 名：自転車通行空間整備進捗率
 指標説明：整備済路線延長 / 自転車ネットワーク優先整備路線延長 (平成26年度～32年度)



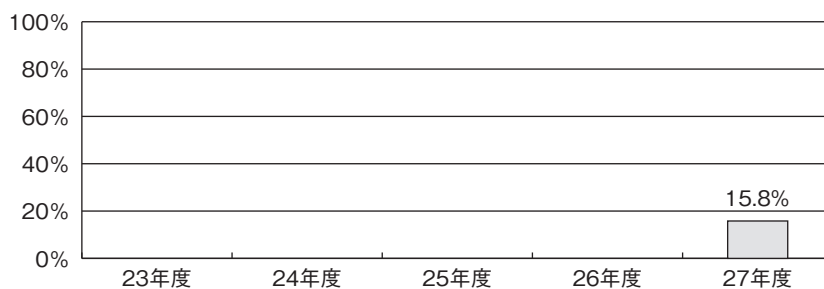
※社会実験による施工分は指標から除く

- (8) 高塚町・西七根町1号線歩道設置事業費 13,399,420 円
 (県費補助事業 11,200,000 円 市単独事業 2,199,420 円)

	平成26年度	平成27年度
歩 道 設 置	—	用 地 379.34㎡ 補 償 工作物

[指 標]

指 標 名：高塚町・西七根町1号線歩道設置事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費（平成27年度～29年度）

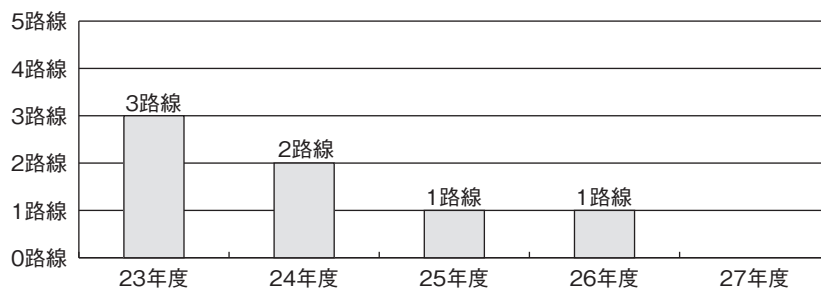


(9) 単独交通安全施設整備事業費 50,194,400 円

内 容	平成26年度	平成27年度
調 査 設 計 交 差 点 改 良	高塚町・西七根町1号線ほか 畑ヶ田町1号線ほか 1か所	南栄町・弥生町3号線 —

[指 標]

指 標 名：単独交通安全施設整備路線数
 指標説明：〃



2 交通安全施設維持改良事業費 434,495,326 円（道路維持課）

[総括]

道路状況や地元要望等を検討し、道路照明灯、防護柵、道路反射鏡の設置など安全で快適な交通環境の確保に努めた。今後も交通安全施設が適正に機能するよう維持管理を行う。

[実績及び成果]

- (1) 交通安全施設改良事業費 237,454,200 円
 (国庫補助事業 712,800 円 市単独事業 236,741,400 円)

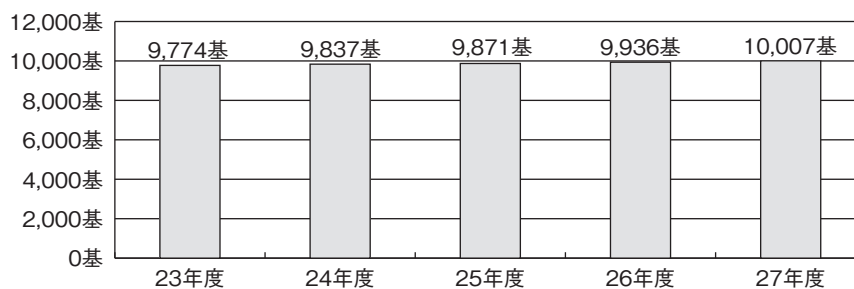
内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
道路照明灯設置	16～180W 212基	16～180W 249基
交差点等安全カラー標示	10か所	17か所
交差点等安全対策	20	20
防護柵設置	延長 1,181m	延長 1,271m
道路反射鏡設置	174基	155基
交通安全施設改良修繕	歩車道境界ブロック等	歩車道境界ブロック等
区画線設置	延長 53,874m	延長 80,115m
横断歩道橋修繕	塗裝修繕等	塗裝修繕等
路肩安全カラー標示	10か所	—
生活環境改善	照明灯・反射鏡	照明灯・反射鏡

- (2) 交通安全施設維持事業費 197,041,126 円

道路照明灯塗裝修繕	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	50基	37基

[指標]

指標名：交通安全施設(道路反射鏡)の総設置基数
 指標説明： /



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 河 川 費	1,064,522,499	122,346,091	186,500,000	30,111,981	725,564,427
2目 水辺づくり費 <親しまれる水辺づくり>	272,553,002	0	0	0	272,553,002

1 河川水路等維持管理事業費 272,553,002円 (河川課)

[総括]

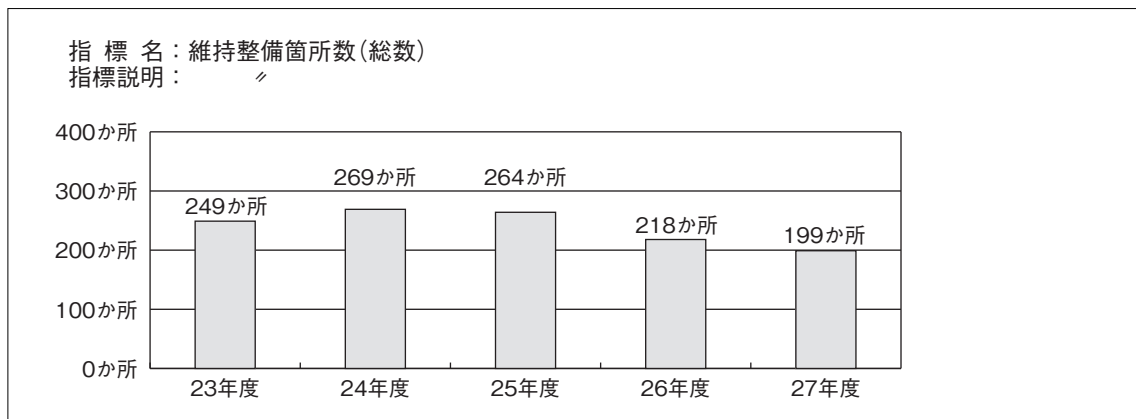
河川を市民の憩う場とし、河川環境を保全するための維持管理を行った。今後も市民や団体による河川愛護活動など、地域住民との協働により親しまれる水辺環境の保全に努めるとともに、河川水路の適切な維持管理に努める。

[実績及び成果]

(1) 維持整備事業費 272,553,002円

内 容	平成26年度		平成27年度	
補 修	116か所		73か所	
除 草	58	74,809㎡	48	58,970㎡
浚 渫	44	2,603㎡	78	3,558㎡

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 土砂災害対策費 <土砂災害対策の推進>	4,003,380	0	0	0	4,003,380

1 土砂災害対策事業費 4,003,380円 (河川課)

[総括]

がけ崩れなどの土砂災害から市民の生命と財産を守るため、県が行う急傾斜地崩壊防止工事にに対し負担金を支出した。また、土砂災害防止法に基づく土砂災害(特別)警戒区域においてハザードマップを作成し、周辺住民等に配布した。今後も地元住民の要望に基づき、工事の進捗を県に働きかけるとともに、土砂災害に関する情報提供に努める。

[実績及び成果]

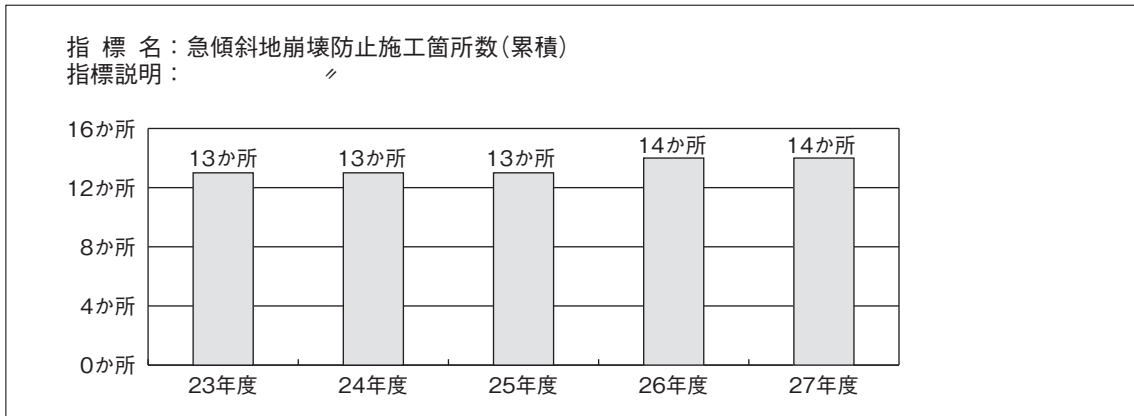
(1) 急傾斜地崩壊対策事業負担金 1,383,480円

事業主体	区分 地区名	平成26年度		平成27年度	
		事業費	市負担金	事業費	市負担金
愛知県	杉山町屋敷	11,479,320円	1,147,932円	—	—
	大崎町地下	8,999,640	899,964	4,600,800円	460,080円
	王ヶ崎町北欠	8,737,200	873,720	9,234,000	923,400

(2) 土砂災害ハザードマップ作成事業費 2,619,900円

土 砂 災 害 ハザードマップ 作 成 箇 所 数	平成26年度	平成27年度
		20か所

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 浸水対策費 <浸水対策の推進>	623,315,355	122,346,091	186,500,000	22,619,239	291,850,025

1 河川施設等維持管理事業費 207,495,947円 (河川課)

[総括]

浸水被害の防止や軽減、正常な流水機能の維持のため、排水機場、樋門・樋管、除塵機等の河川付属施設の維持管理を行った。今後も施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 排水機場維持管理適正化事業費 36,232,560円
- (2) 排水機場維持管理事業費 99,907,703円
- (3) 農業水利施設保全対策事業負担金 9,999,990円
- (4) 樋門等操作委託事業費 2,360,091円
- (5) 河川付属施設維持管理事業費 58,326,065円
- (6) 河川測量登記委託事業費 669,538円

2 河川水路等改良事業費 255,668,368円 (河川課)

[総括]

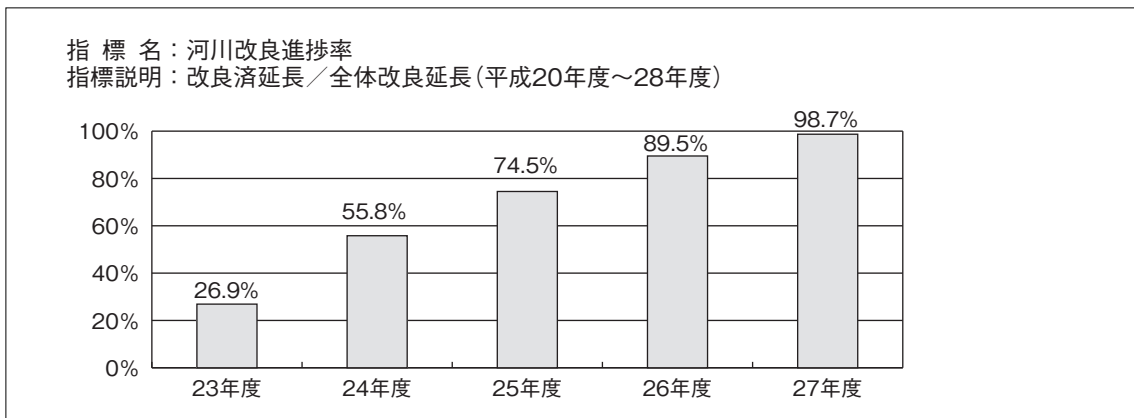
河川・水路等の氾濫による被害から市民の生命・財産を保全するため、流下能力を高める改良工事を行った。また、県補助事業を活用し、境松川の改良工事を行った。今後も氾濫による被害の防止や軽減を図っていく。

[実績及び成果]

- (1) 境松川改良事業費 98,400,000円
(県費補助事業 98,400,000円)

河 川 改 良	平成26年度	平成27年度
	工 事 延 長 126m	工 事 延 長 77m

[指 標]

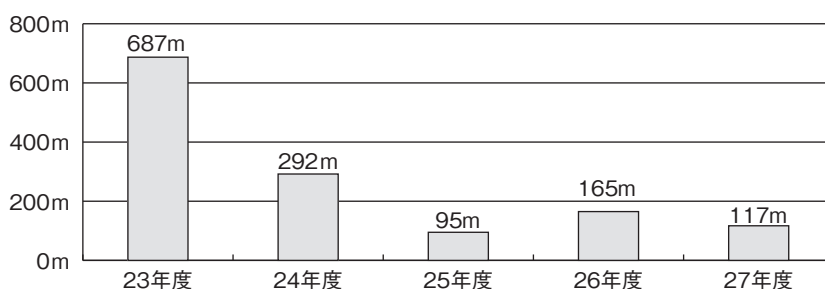


- (2) 河川改良事業費 97,472,529円

河 川 改 良	平成26年度	平成27年度
	工 事 延 長 165m	工 事 延 長 117m

[指 標]

指 標 名：河川改良整備延長
 指標説明： //

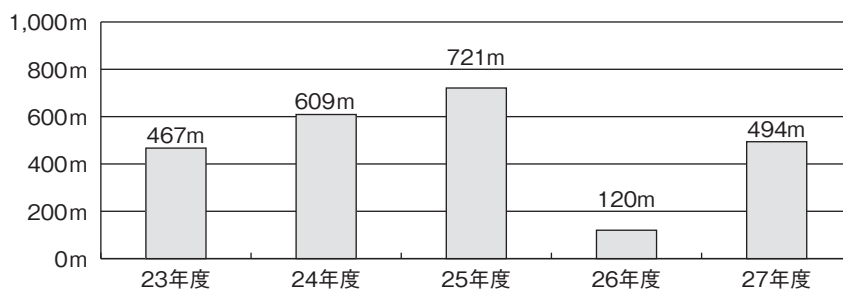


(3) 水路改良事業費 31,773,079 円

内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
水 路 改 良	工 事 延長 120m	工 事 延長 494m
用 地 取 得	—	面 積 54.82㎡

[指 標]

指 標 名：水路改良整備延長
 指標説明： //



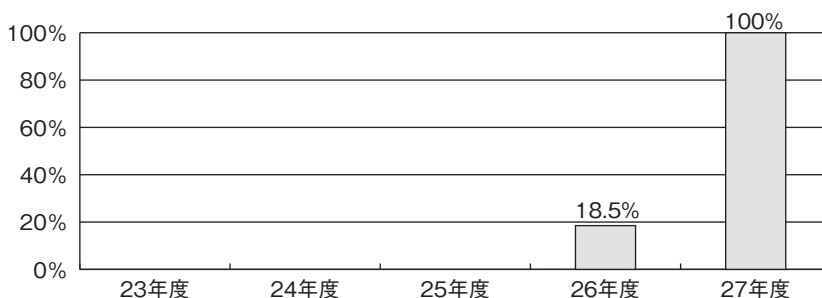
(4) 緊急水路施設整備事業費 28,022,760 円

(県費補助事業 28,022,760 円)

水 路 敷 設	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	工 事 延長 209m	工 事 延長 919m

[指 標]

指 標 名：水路整備進捗率
 指標説明：整備済延長／全体整備延長(平成26年度～27年度)



※整備延長増のため、26年度から再計算

3 大雨浸水対策事業費 82,574,640 円 (河川課)

[総 括]

都市化の進展に伴う流域環境の変化による浸水被害に対処するため、水路改良を行った。今後も関連部局との連携により浸水被害の解消を図る。

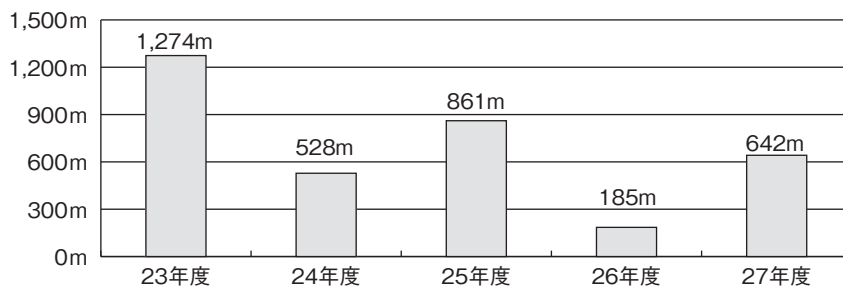
[実績及び成果]

(1) 大雨浸水対策事業費 82,574,640 円

水 路 改 良	平成26年度	平成27年度
	工 事 延 長 185m	工 事 延 長 642m

[指 標]

指 標 名：大雨浸水対策整備延長
 指標説明：〃



4 流域貯留浸透事業費 73,364,400 円 (河川課)

[総 括]

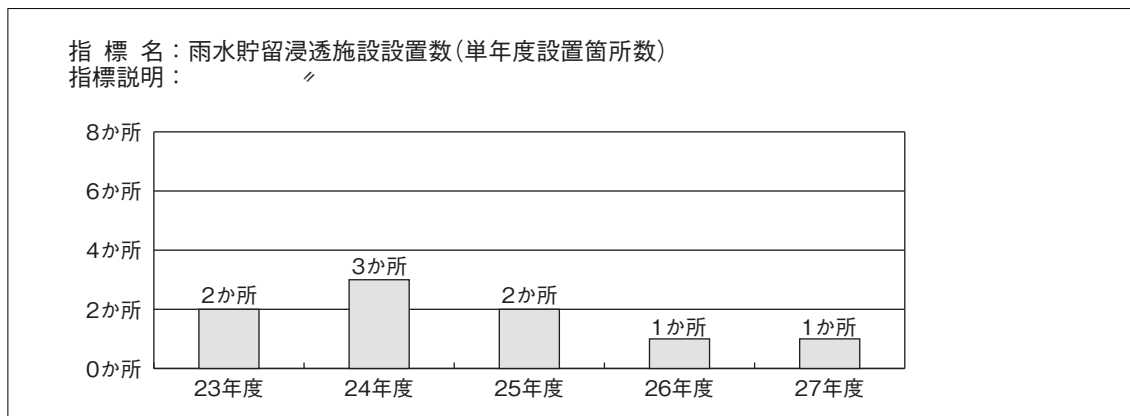
集中豪雨による浸水被害の軽減を図るため、二級河川柳生川流域の豊岡中学校において雨水流出抑制対策を行い、同流域での施設整備は完了した。今後は施設が正常に機能するように維持管理に努める。

[実績及び成果]

- (1) 流域貯留浸透事業費 73,364,400 円
 (国庫補助事業 66,000,000 円 市単独事業 7,364,400 円)

貯留施設整備	平成26年度		平成27年度	
	貯留施設工	1か所	貯留施設工	1か所

[指標]



5 ため池防災対策事業費 4,212,000 円 (農地整備課)

[総括]

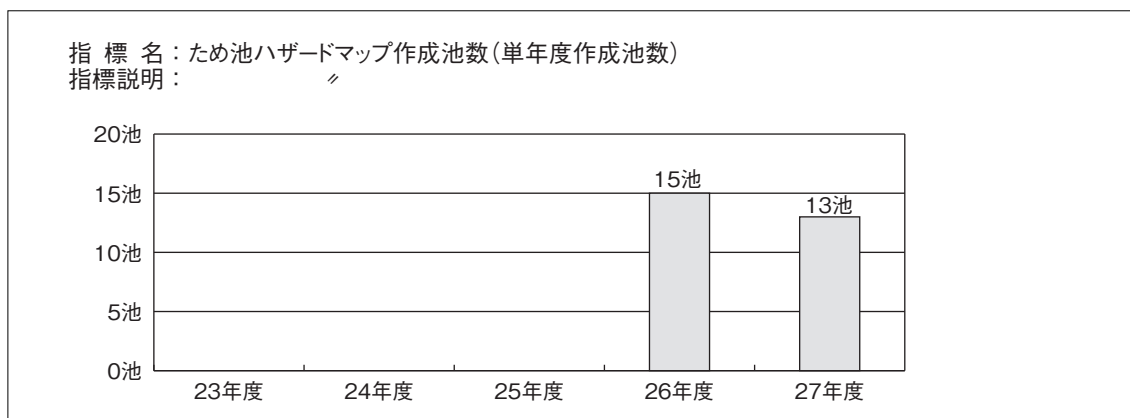
ため池の減災対策に役立てるため、ハザードマップを作成した。今後もため池災害に関する情報提供に努める。

[実績及び成果]

- (1) ため池ハザードマップ作成事業費 4,212,000 円

ため池ハザードマップ作成池数	平成26年度		平成27年度	
		15池		13池

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 建 築 費	836,639,657	44,649,904	31,000,000	447,738,636	313,251,117
2目 人にやさしいまちづくり費 <人にやさしいまちづくりの推進>	1,139,344	0	0	0	1,139,344

1 人にやさしいまちづくり推進事業費 1,119,344円 (建築指導課)

[総括]

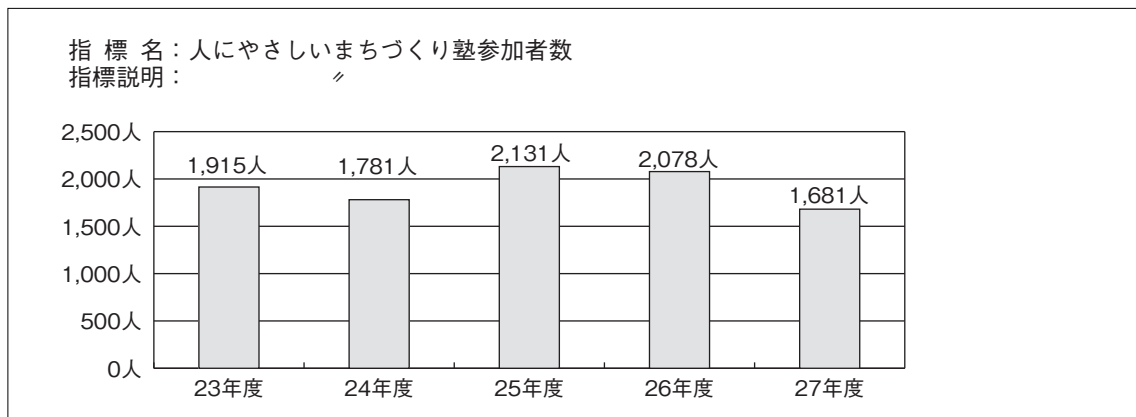
人にやさしいまちづくりを推進するため、アドバイザーグループとサポーターの協力を得て「人にやさしいまちづくり塾」を市内の小学校、高等学校、企業で開催した。また、より多くの学校などで「人にやさしいまちづくり塾」を開催するために、講師として活躍するサポーターを養成する「人にやさしいまちづくりサポーター養成講座」(全4回)を前年度に引き続き開講した。今後も誰もが暮らしやすいまちをめざし、人にやさしいまちづくりの担い手育成やバリアフリーの必要性等の普及啓発を進めていく。

[実績及び成果]

(1) 人にやさしいまちづくり推進事業費 1,119,344円

啓発事業開催回数	平成26年度	平成27年度	比較
		38回	32回

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 居住確保費 <居住の安定確保>	15,613,117	6,611,000	0	22,000	8,980,117

1 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 15,447,000円 (住宅課)

[総括]

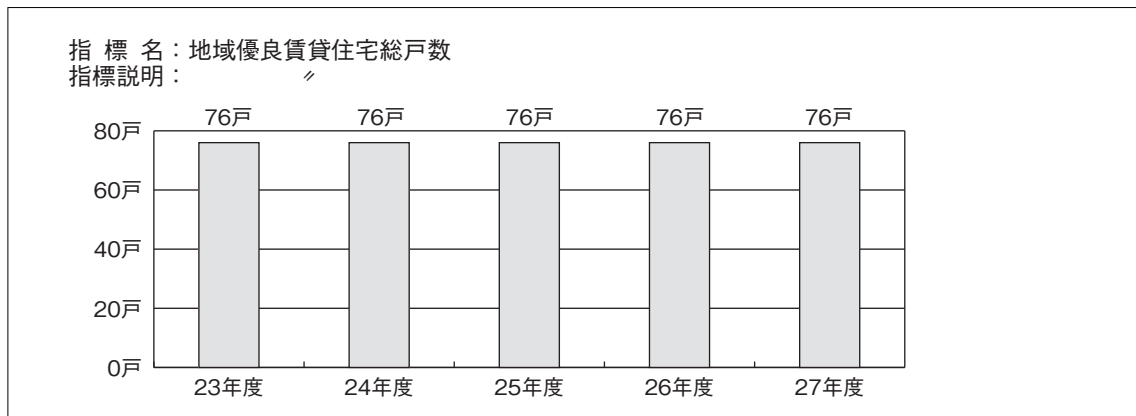
高齢者の居住の安定確保を図るため、地域優良賃貸住宅(高齢者型)整備費に助成した事業者に対して、家賃補助を実施した。今後もこの制度を活用した民間事業者による地域優良賃貸住宅の拡充を進める。

[実績及び成果]

(1) 地域優良賃貸住宅供給促進事業補助金 15,447,000円

家賃対策補助金	平成26年度	平成27年度
		15,657,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 公 営 住 宅 費 <公営住宅の住宅環境向上>	427,263,333	33,799,000	31,000,000	347,138,148	15,326,185

1 住宅維持管理事業費 384,836,686 円 (住宅課)

[総括]

市営住宅の効率的かつ効果的な維持管理を行うため計画的な工事、修繕を行った。平成27年度より指定管理者制度を導入し、入居者へのサービス向上を図るとともに、維持管理費を縮減した。

[実績及び成果]

(1) 住宅管理事業費 314,761,966 円

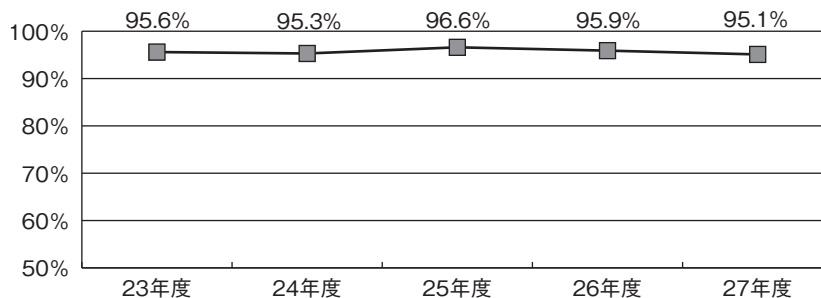
住宅管理戸数 (年度末)	平成26年度	平成27年度
		4,178戸

(2) 住宅維持補修事業費 70,074,720 円

工 事 内 容	平成26年度	平成27年度
屋 上 防 水	西部	西部
受 水 槽 改 修	西部	西部
水 道 メ ー タ ー 取 替	柳原始め6住宅	—
手 す り 改 修	草間	—
外 壁 改 修	空池	空池
漏電ブレーカー設置	柳原、草間	栄生、西部

[指 標]

指 標 名：市営住宅入居率
 指標説明：延入居戸数 / (延管理戸数 - 延入居停止戸数)



2 公営住宅建設事業費

27,393,561 円（住宅課）

[総括]

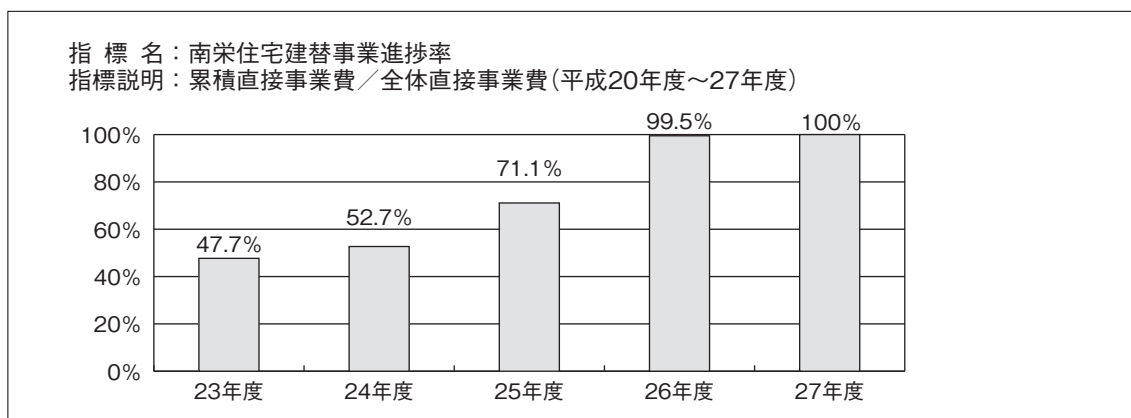
平成26年度にしゅん工した南栄住宅の入居者へ移転補償を行い、南栄住宅建替事業は完了した。また、西口住宅建替事業を進めるため、住民の移転先となる市営住宅各室の補修工事を行った。今後も建替事業の円滑な実施をめざす。

[実績及び成果]

(1) 南栄住宅建替事業費 8,555,444 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	建設工事（第2期）しゅん工 中層耐火構造 5階建 延床面積 2,984.14㎡ 建設年度 平成25年度～26年度 建設戸数 50戸 集会所建設	

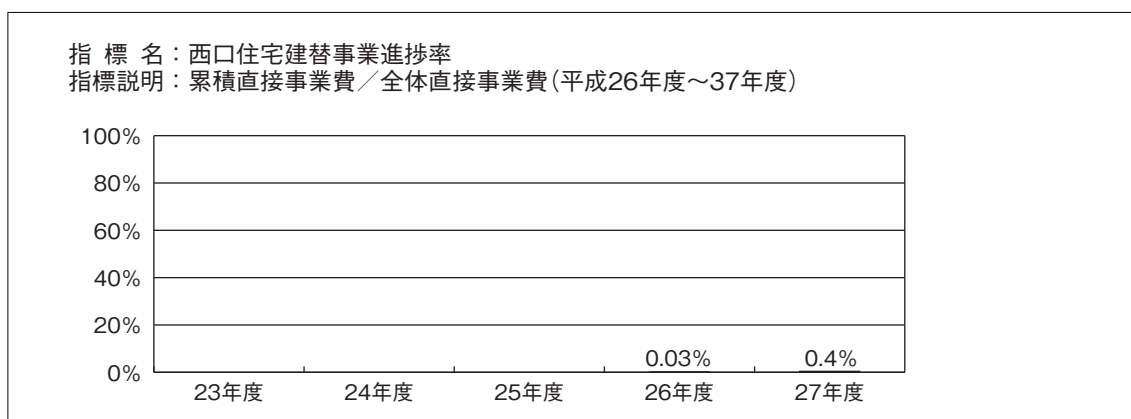
[指標]



(2) 西口住宅建替事業費 18,838,117 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	用地測量登記	

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 建築指導費 <土地、建物に関する許可等>	13,939,669	4,077,000	0	0	9,862,669

1 建築指導事務費 5,634,456 円 (建築指導課)

[総括]

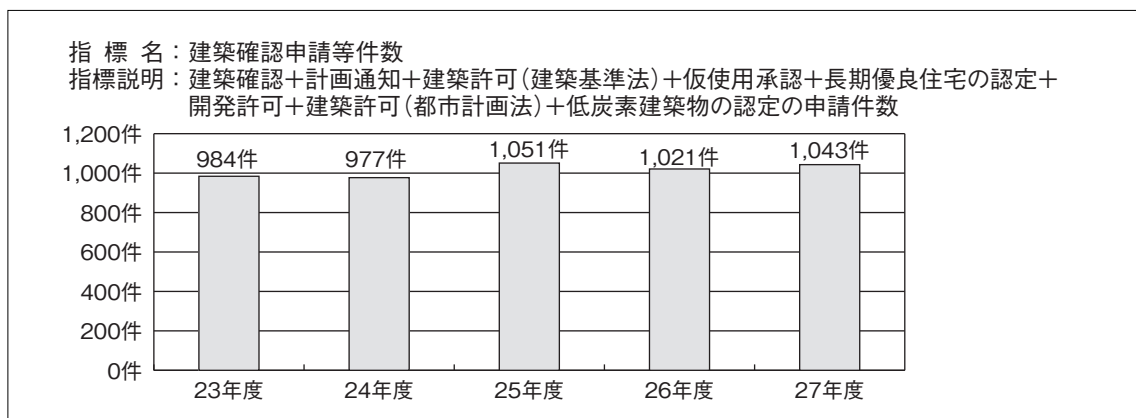
建築基準法による「確認申請」は、民間確認検査機関への申請が定着したことにより、減少傾向が進む一方で、長期優良住宅の普及の促進に関する法律に基づく「認定申請」は、制度普及により増加した。また、都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく「認定申請」も増加した。今後も各申請に対し適切な処理をすることにより、住環境の整備並びに都市の健全な発展と秩序ある市街地の形成に努める。

[実績及び成果]

(1) 建築指導事務費 5,634,456 円

種 別	区 分	件 数		比 較
		平成26年度	平成27年度	
建築確認申請等	確 認 申 請	15件	22件	46.7%
	計 画 通 知	36	23	△36.1
建築基準法による 許 可 申 請 等	建 築 許 可 申 請	18	28	55.6
	仮使用承認申請	8	2	△75.0
長期優良住宅の普及 の促進に関する法律	認 定 申 請	663	693	4.5
都市計画法による 許 可 申 請 等	開 発 許 可 申 請	23	23	0.0
	建 築 許 可 申 請	257	246	△ 4.3
都市の低炭素化の 促進に関する法律	認 定 申 請	1	6	6.0倍

[指 標]



2 空家対策推進事業費

8,305,213 円（建築物安全推進室・住宅課）

〔総括〕

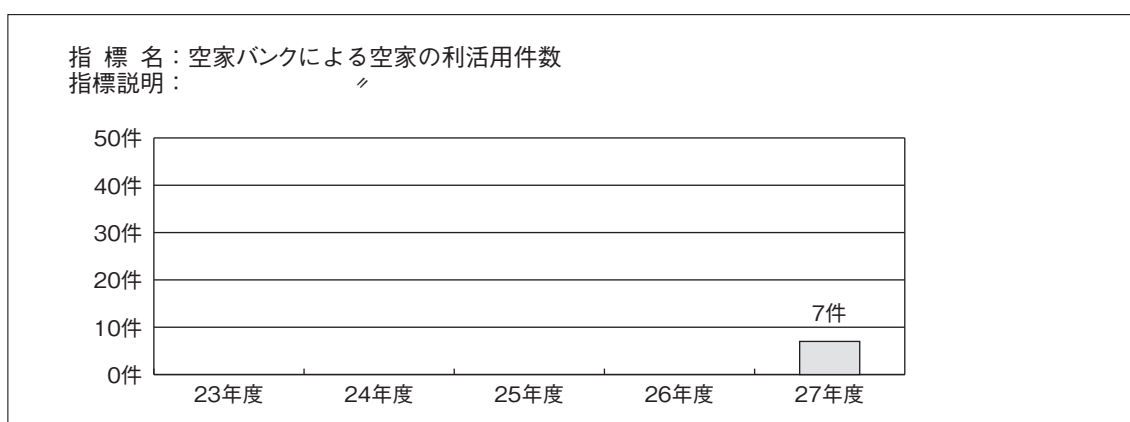
人口減少や居住形態の多様化などにより全国的に空家が増加している中、本市においても適正に管理されていない空家に関する周辺住民等からの苦情や相談が増加しているため、市内空家の実態調査を行うとともに、相談窓口の一本化や空家バンク制度及び空家利活用改修費補助金の創設を行った。今後も適正に管理されていない空家に対する指導や空家利活用の推進等、効果的な空家対策を実施していく。

〔実績及び成果〕

(1) 空家対策推進事業費 8,305,213 円

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	累 計
空家バンクによる空家の利活用件数	—	7件	7件
空家利活用改修費補助金補助件数	—	0件	0件

〔指 標〕



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 都市開発費	151,658,286	140,000	0	877,201	150,641,085
2目 総合物流費 <総合物流機能の充実>	34,417,475	140,000	0	0	34,277,475

1 港湾関連対策事業費 34,417,475円 (みなと振興課)

[総括]

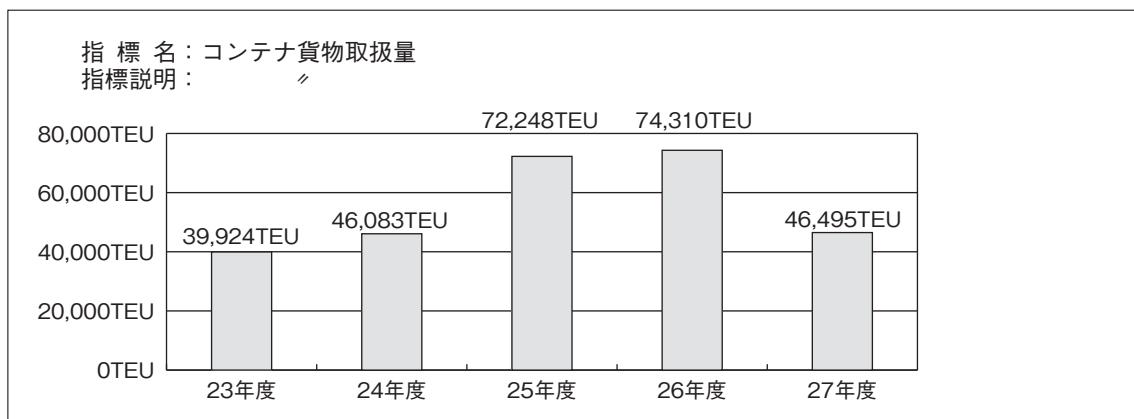
三河港の国際拠点港湾への昇格をめざし、三河港振興会が主体となり、インフラ整備やコンテナターミナルの利用促進活動を行うとともに、三河港見学会の開催などにより三河港の情報を全国に向け発信した。また、三河港を利用する企業に対し助成金制度の実施や積極的なポートセールスを展開し、コンテナ及び完成自動車取扱量の維持・増加を図った。その結果、完成輸入自動車の取扱量は平成5年以来23年連続で日本一を記録した。一方、コンテナ貨物の取扱量については、25年1月に開設したロシア航路が廃止されたこともあり減少した。そこで、これまでの助成金制度を見直すため、近隣港での助成制度の実施状況や地域の企業のコンテナ貨物の潜在的な需要などを調査した。今後も国際的な総合物流港湾として発展するために、物流基盤の整備促進活動と集荷活動を積極的に行っていく。

[実績及び成果]

- (1) 港湾関連調整事務費 5,317,475円
(2) 三河港振興会負担金 29,100,000円

内 容	平成26年度	平成27年度
運 営 費 負 担 金	100,000円	100,000円
コンテナ委員会負担金	7,500,000	7,500,000
自動車港湾委員会負担金	500,000	500,000
三河港自動車流通強化支援事業負担金	21,300,000	21,000,000
重要港湾指定50周年記念事業負担金	520,000	—

[指 標]



※ TEU : twenty-foot equivalent unit、20 フィートコンテナ換算

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3日 港 湾 費 <親しみのあるみなどの形成>	27,818,527	0	0	831,491	26,987,036

1 親しまれるみなとづくり推進事業費 454,729円 (みなと振興課)

[総括]

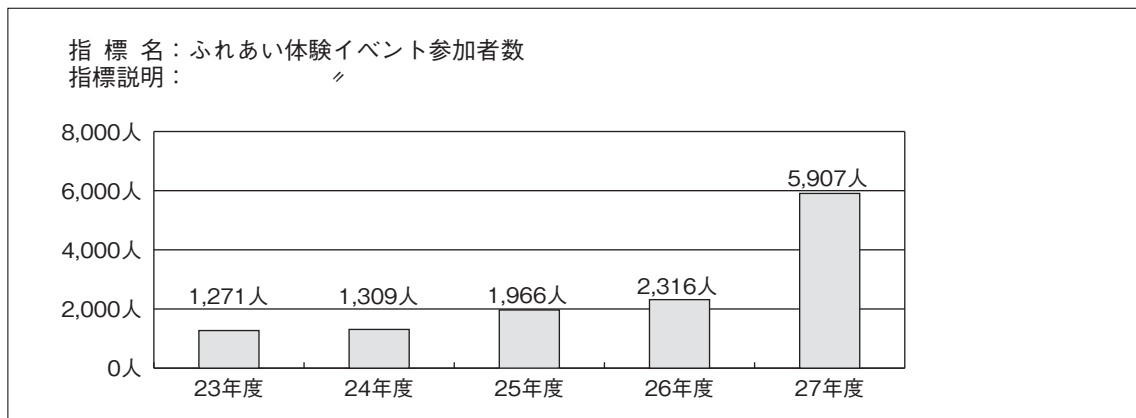
臨海部周辺の企業などと連携したイベントやポートインフォメーションセンター等で開催する講座などを通じて、港の重要性や必要性を理解してもらうため、平成22年度よりみなとにふれあう機会として、三河港の船上見学や明海地区・田原地区などの臨海部の工場見学などを行った。27年度は三河港モーターショーを他のイベントと組み合わせたこともあり、多くの方に三河港で陸揚げされる自動車をPRすることができた。今後も集積するインポーター等との連携により地域のにぎわいへとつながる産業観光への取組みを推進していく。

[実績及び成果]

(1) 親しまれるみなとづくり推進事業費 454,729円

内 容	平成26年度	平成27年度
イベント開催数	11回	13回
イベント参加者数	2,316人	5,907人

[指標]



2 ポートインフォメーションセンター管理運営費 14,926,277円 (みなと振興課)

[総括]

この地域における三河港の重要性や必要性の理解を深めてもらうとともに、港を気軽に訪れ、身近に感じてもらうためにポートインフォメーションセンターの適正な維持、管理に努めた。平成27年度は新たに公衆無線LAN整備や展示レイアウトを変更し施設の拡充を図った。今後も輸入自動車23年連続日本一の三河港をPRするシンボル施設として、適切なサービスの提供や施設のリニューアルを図り、利用者に親しまれる施設にしていく。

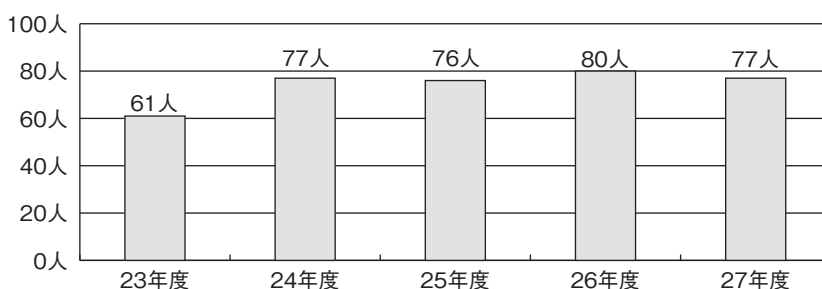
[実績及び成果]

(1) ポートインフォメーションセンター管理運営費 14,926,277円

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
開 館 日 数	359日	360日	0.3%
利 用 者 数	延 28,728人	延 27,836人	△ 3.1

[指 標]

指 標 名：ポートインフォメーションセンター 1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



3 港イベント事業費 5,500,000 円（みなと振興課）

[総 括]

三河港が地域や日本において、大切な港であることを広く理解してもらい、港への関心と親しみを高めることは三河港の振興にとって重要であるため、港を中心にフェスティバルを開催する豊橋みなとフェスティバル実行委員会へ助成した。平成 27 年度は、プレイベントとして海上保安庁音楽隊を招き、東三河地域では初公演となる「海上保安庁音楽隊&豊橋市立東部中学校吹奏楽部ジョイントコンサート」を開催するなど新しい企画を取り入れた。今後もイベントの支援を行い、にぎわいのあるみなとづくりを推進していく。

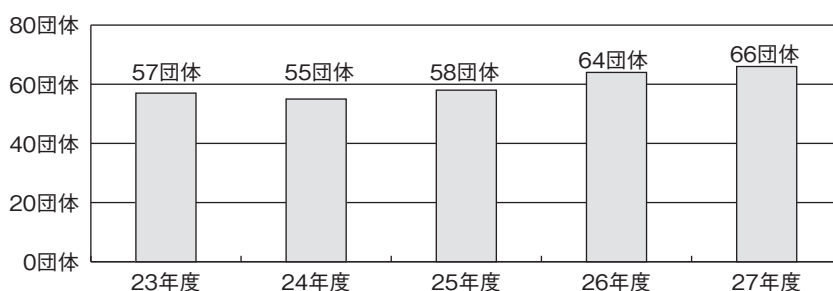
[実績及び成果]

(1) みなとフェスティバル補助金 5,500,000 円

補 助 金	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	10,800,000円	5,500,000円

[指 標]

指 標 名：みなとフェスティバル参加団体数
 指標説明：〃



4 海フェスタ東三河（仮称）開催準備事業費 6,937,521 円（みなと振興課）

[総括]

愛知県東三河地域の大切な海・川・港についての魅力や重要性を次の世代へつなげる機会とし、三河港の活性化、東三河地域全体の連携や発展に寄与するとともに、多彩で豊かな地域資源や素晴らしい観光の魅力を全国に発信し、交流人口の獲得、拡大に向かう大きな契機とするため、東三河8市町村の連携のもとに開催する海フェスタ東三河の開催準備を行った。平成27年度は大型船舶の寄港要請やシンボルマーク・標語の一般公募を行った。28年度は、海フェスタ東三河の成功に向け魅力のあるイベントを実施していく。

[実績及び成果]

(1) 海フェスタ東三河（仮称）開催準備事業補助金 6,937,521 円

補助金	平成26年度	平成27年度
	—	6,937,521円

科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 都市計画費	3,196,075,904	359,560,600	159,600,000	27,554,898	2,649,360,406
1目 都市計画総務費	1,270,603,182	2,212,000	0	5,142,087	1,263,249,095

1 都市計画推進事業費 15,090,362 円 (都市計画課)

[総括]

人口減少社会に対応するため、都市計画マスタープランに沿った立地適正化計画の基本的な方針を定めた。また、空池交差点等の整備計画の概略検討についても実施した。今後も引き続きこれらの検討を進める。

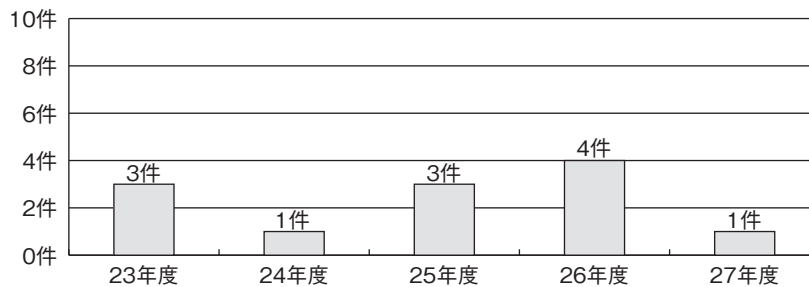
[実績及び成果]

(1) 都市計画事務費 14,669,531 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	都市計画基礎調査 都市計画道路ネットワーク検討調査	豊橋市立地適正化計画作成業務 都市計画道路構造検討調査

[指標]

指標名：都市計画審議会において議決された都市計画決定・変更件数
 指標説明：
 //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2目 公園緑地費 <公園・緑地の充実>	1,074,234,055	117,730,000	159,600,000	5,523,689	791,380,366

1 公園施設維持管理事業費 648,582,482 円 (公園緑地課)

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を確保するため、市内 535 箇所の公園・緑地・遊園・ちびっこ広場等を適正に管理するとともに、公園施設の安全点検や照明灯・遊具の更新等を行った。今後も公園施設の維持管理を計画的・効率的に行うことによりコストの低減を図るとともに、市民、NPO、事業者、行政の協働によって維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 公園維持管理事業費 532,583,893 円

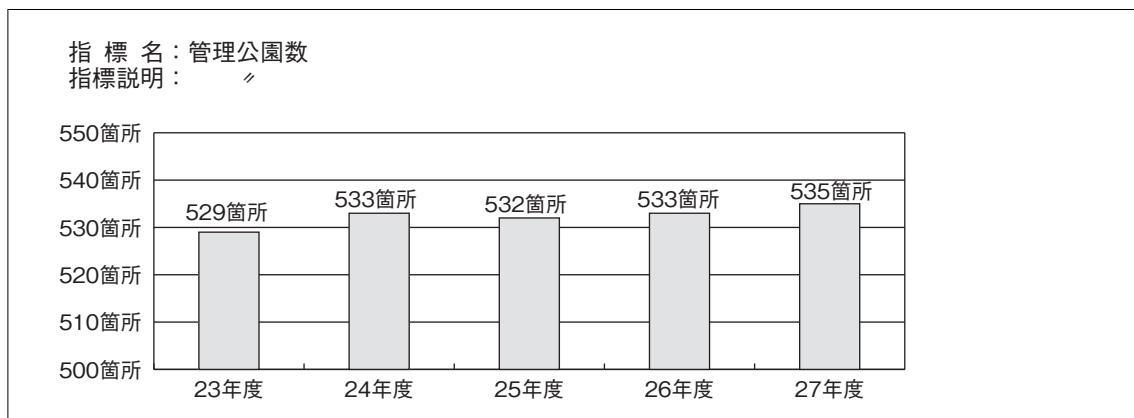
除草清掃・施設管理委託等	平成 26 年度	平成 27 年度
		高師緑地始め533箇所

(2) 公園修繕事業費 115,998,589 円

(国庫補助事業 27,260,000 円 市単独事業 88,738,589 円)

内 容	平成 26 年度	平成 27 年度
照 明 灯 修 繕	大口公園ほか	中沢公園ほか
遊 具 補 修	万場緑地ほか	小畷公園ほか
諸施設及び塗装修繕等	豊橋公園ほか	飯村公園ほか
外 柵 修 繕	前田西公園ほか	中郷公園ほか
照 明 灯 更 新	向山緑地ほか	向山緑地ほか
遊 具 更 新	松葉公園ほか	草間公園ほか

[指 標]



2 公園緑地整備事業費

150,855,284 円（公園緑地課）

[総括]

安全で、潤いのある都市空間を創出するため、牛川公園をはじめ3つの公園・広場の整備を推進した。また、土地区画整理事業による坂津公園の公共施設管理者負担金を支出した。今後も標準配置に則した公園等の整備を推進する。

[実績及び成果]

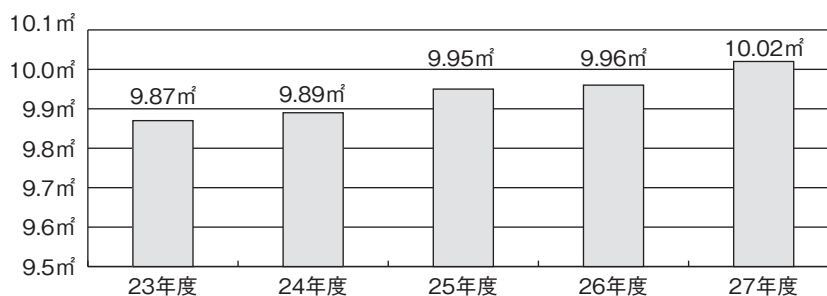
(1) 街区公園等整備事業費 134,775,978 円

(国庫補助事業 124,111,440 円 県費補助事業 2,370,350 円 市単独事業 8,294,188 円)

公園名	平成26年度	平成27年度
牛川公園ほか	公園整備	公園整備
三ツ口池広場ほか	広場整備	広場整備

[指標]

指標名：市民1人当たりの都市公園面積
 指標説明：都市公園面積／人口



(2) 公共施設管理者負担金

16,079,306 円

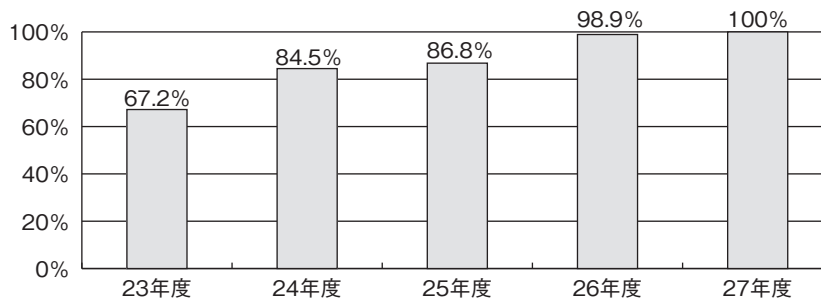
(国庫補助事業 16,079,306 円)

公園名	平成26年度	平成27年度
坂津公園	移転補償 用地 323.41㎡	移転補償
汐田公園	用地 1,722.02	—

※牛川公園については平成23年度で事業終了

[指標]

指標名：公共施設管理者負担金進捗率(牛川公園、坂津公園、汐田公園)
 指標説明：累積負担金／全体負担金(平成19年度～27年度)



3 総合スポーツ公園整備事業費 151,770,292 円（公園緑地課）

[総括]

多世代の市民がスポーツやレクリエーションに親しめる公園として整備するため、C地区の未買収用地の一部を取得した。今後は未整備地区の整備方針も含め、スポーツ施設及び災害時の広域防災活動拠点としての機能のさらなる充実を図る。

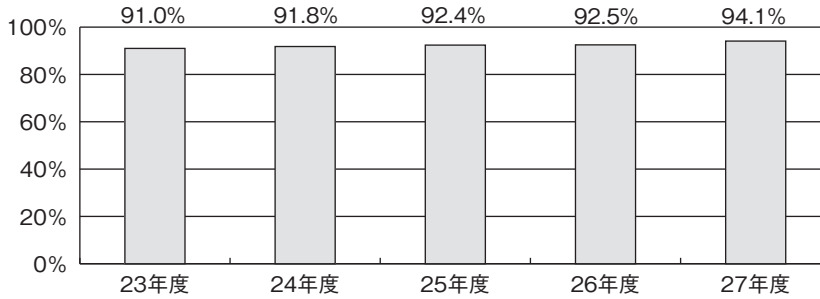
[実績及び成果]

- (1) 総合スポーツ公園整備事業費 151,770,292 円
 (国庫補助事業 139,110,000 円 市単独事業 12,660,292 円)

内 容	平成26年度	平成27年度
	境界確定測量	

[指標]

指標名：総合スポーツ公園整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成10年度～32年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 緑化推進費 < 緑化の推進 >	416,981,888	38,027,000	0	2,238,400	376,716,488

1 緑化維持管理事業費 295,680,572円 (公園緑地課)

[総括]

緑に囲まれた良好なオープンスペースを確保するとともに、地域の景観の維持を図るため、街路樹及び公園樹の剪定、刈り込み、施肥等を行った。今後も市民の安全に配慮した維持管理を推進する。

[実績及び成果]

(1) 街路樹等維持管理事業費 188,832,610円

路 線 名	平成26年度	平成27年度
		菰口町・旭町1号線始め277路線

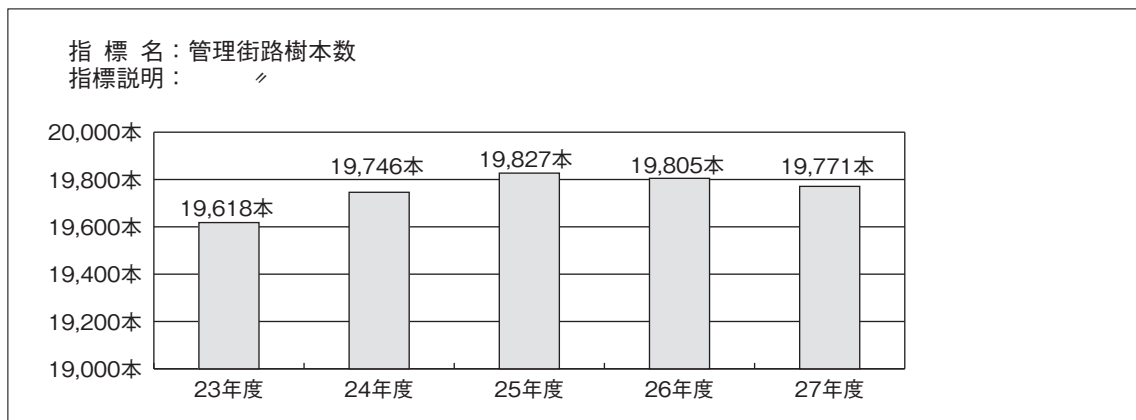
(2) 公園樹等維持管理事業費 104,492,482円

公 園 名	平成26年度	平成27年度
		牛川遊歩公園始め389公園

(3) 街路樹支柱補修等事業費 2,355,480円

路 線 名	平成26年度	平成27年度
		菰口町・旭町1号線ほか

[指 標]



2 緑化推進事業費 120,263,049円 (公園緑地課)

[総括]

市民参加型の緑化活動を推進するため、公園ガーデニング事業や花交流フェア等を開催するとともに、都市景観の向上を図るため、路面電車の軌道緑化を行った。今後も緑豊かな景観の創出、都市活動に伴う環境負荷の低減を図るため緑化を推進する。

[実績及び成果]

- (1) 街路樹等緑化推進事業費 19,516,600 円
 (県費補助事業 14,105,800 円 市単独事業 5,410,800 円)

内 容	平成26年度	平成27年度
	前田町・向山大池町17号線ほか 高木植栽 ハナミズキほか 119本 中低木植栽 サルスベリほか 22	前田町・向山大池町17号線ほか 高木植栽 ハナミズキほか 36本 地被類植付 マツバギクほか 1,718株

- (2) 公園樹等緑化推進事業費 3,010,170 円
 (県費補助事業 864,000 円 市単独事業 2,146,170 円)

植栽及び更新工事	平成26年度	平成27年度
	向山緑地ほか 中低木植栽 ソメイヨシノほか 9本	牟呂内田公園ほか 高木植栽 ソメイヨシノほか 9本

- (3) 公園ガーデニング事業費 1,102,388 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	曙公園始め2公園	向山大池町公園

- (4) 花交流フェア開催事業費 573,312 円

区 分	平成26年度	平成27年度
花壇等出展者数	66個人・団体	61個人・団体
来場者数	21,000人	21,000人

- (5) 民有地緑化推進事業補助金 0 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	2件 2,629㎡	0件

- (6) とよはし緑の日事業費 2,186,080 円

(県費補助事業 2,186,080 円)

参加者数	平成26年度	平成27年度
	100人	160人

- (7) 軌道緑化整備事業費 85,743,603 円
 (県費補助事業 65,008,993 円 市単独事業 20,734,610 円)

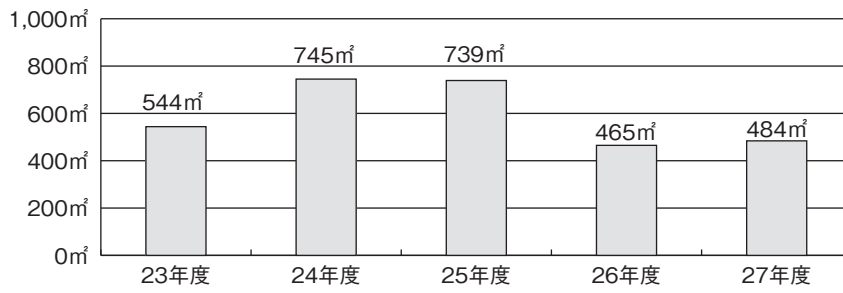
内 容	平成26年度	平成27年度
	—	329㎡

- (8) 全国都市緑化あいちフェア事業費 8,130,896 円
 (県費補助事業 2,796,000 円 市単独事業 5,334,896 円)

来場者数	平成26年度	平成27年度
	—	78,250人

[指 標]

指 標 名：街路・公園に植栽した緑被及び花壇の面積
指標説明：
〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 中心市街地再開発費 ＜中心市街地での再開発の促進＞	310,215,341	199,500,000	0	429,086	110,286,255

1 再開発推進事業費 9,398,367円 (まちなか活性課)

[総括]

駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業において、事業主体となる再開発組合の設立を支援するとともに、同事業により一体的に整備するまちなか広場(仮称)の基本計画を策定した。今後も同事業の進捗を図るほか、老朽化した街区の更新を検討している地区に対して事業化に向けた調整を行っていく。

[実績及び成果]

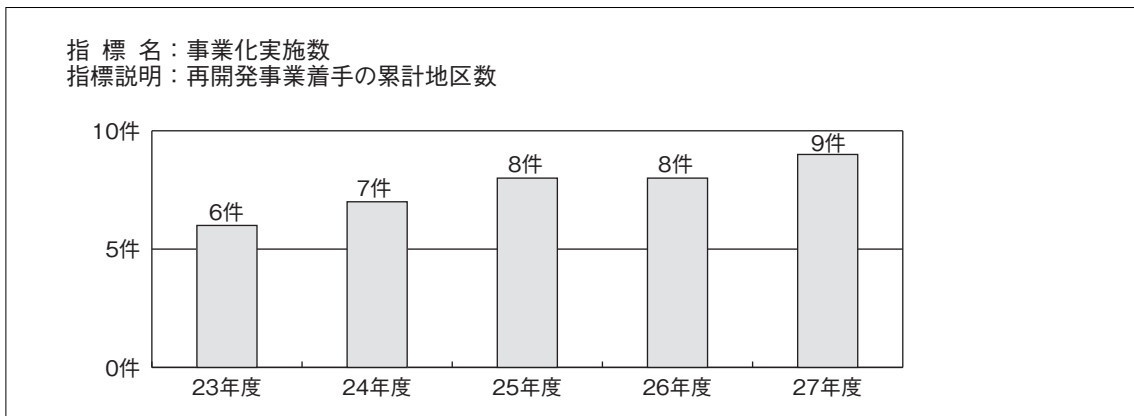
(1) 再開発推進事務費 472,167円

事業費	平成26年度		平成27年度	
		3,396,424円		472,167円

(2) まちなか広場(仮称)整備事業費 8,926,200円

内容	平成26年度		平成27年度	
		—		豊橋市まちなか広場(仮称) 基本計画の策定

[指標]



2 市街地再開発事業等補助金 266,000,000円 (まちなか活性課)

[総括]

都心居住の促進や集客施設の整備を図り、中心市街地の活性化に繋げるため、駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業の建築工事、駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業の事業計画、資金計画等の作成及び基本設計に対し助成を行った。

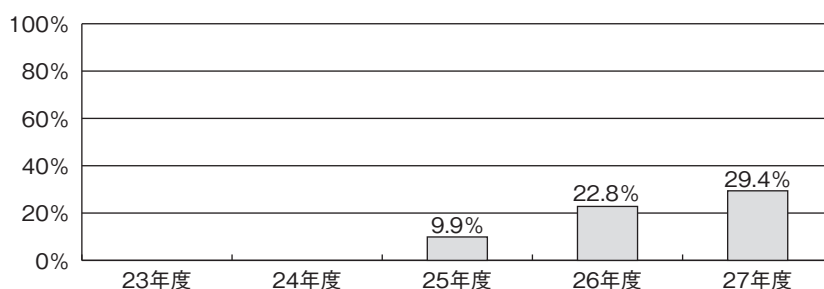
[実績及び成果]

(1) 駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業補助金 68,400,000円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		33,600,000円		68,400,000円

[指標]

指標名：駅前大通三丁目地区優良建築物等整備事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体累積事業費(平成25年度～28年度)(補助金ベース)



(2) 駅前大通二丁目地区第一種市街地再開発事業補助金 197,600,000 円

補助金	平成26年度	平成27年度
	—	197,600,000円

3 まちなか図書館（仮称）整備事業費 17,108,043 円（まちなか図書館整備推進室）

[総括]

駅前大通二丁目地区において市街地再開発事業により建設される再開発ビル内へ導入するまちなか図書館（仮称）について、平成26年度に策定した基本計画を基に、具体的なサービス、施設整備、管理運営等の内容について検討し、整理した実施計画を策定した。また、市民説明会の開催や情報紙の創刊等により、まちなか図書館（仮称）に関する理解を深めた。

[実績及び成果]

(1) まちなか図書館（仮称）整備事業費 17,108,043 円

内容	平成26年度	平成27年度
	豊橋市まちなか図書館（仮称）整備基本計画の策定	豊橋市まちなか図書館（仮称）実施計画の策定

4 中心市街地環境整備事業費 7,361,420 円（まちなか活性課）

[総括]

豊橋駅西口駅前地区において、駅利用者の利便性の向上や魅力的な駅前空間形成を図るため、権利者に対しヒアリング及びアンケート調査を行い、今後の西口駅前地区の活性化に向けた手法等の検討を行った。また、中心市街地を歩いて楽しい空間とするため、萱町通り、水上ビル通り（北側）の現況調査等を行った。

[実績及び成果]

(1) 豊橋駅西口駅前地区活性化推進事業費 5,616,000 円

内容	平成26年度	平成27年度
	—	豊橋駅西口駅前地区活性化基礎調査

(2) ストリートデザイン事業費 1,745,420 円

内容	平成26年度	平成27年度
	—	ストリートデザイン基礎調査

5 中心市街地活性化推進事務費 1,120,379 円（まちなか活性課）

[総括]

中心市街地活性化のため、中心市街地活性化基本計画の進捗状況を確認する通行量調査を実施した。今後も計画のフォローアップを行い、中心市街地の活性化に向けた取組みを着実に推進していく。

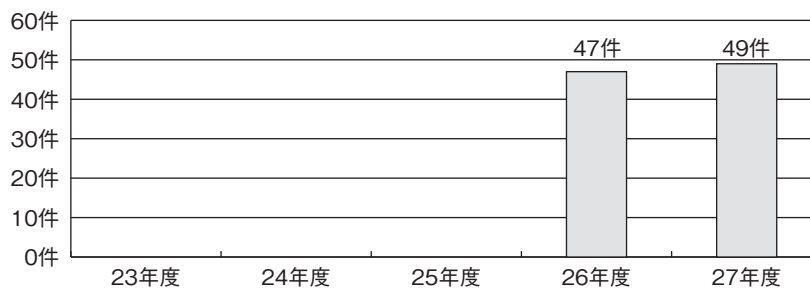
[実績及び成果]

(1) 中心市街地活性化推進事務費 1,120,379 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	豊橋駅西口駅前地区整備基礎調査	

[指標]

指標名：第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画の取組事業数
 指標説明：
 //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 まちづくり景観形成費 <調和のとれた景観の形成>	4,008,329	0	0	731,229	3,277,100

1 まちづくり景観推進事業費 4,008,329円 (都市計画課)

[総括]

歴史的なまち並み景観形成を図るため、二川宿景観形成地区の区域を拡大するとともに、地区内のまち並み景観の向上に寄与する建築行為に対し助成した。今後も調和のとれた景観形成をめざしていく。

[実績及び成果]

(1) 都市景観推進事業費 550,100円

助 成 金	平成26年度	平成27年度
		—

(2) まちづくり景観形成助成金 2,727,000円

(ア) まちづくり景観形成整備事業助成金 2,727,000円

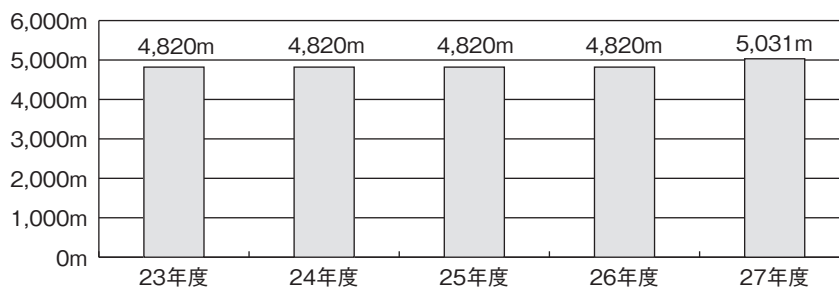
助 成 金	平成26年度	平成27年度
		6件 1,666,000円

(3) 屋外広告物対策事業費 731,229円

区 分	平成26年度	平成27年度
許 可 件 数	654件	595件
違反屋外広告物撤去件数	161	64

[指 標]

指 標 名：景観形成地区内道路延長
 指標説明： //



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 公共交通利用促進費 <公共交通の利用促進>	79,575,281	2,091,600	0	306,112	77,177,569

1 都市交通計画推進事業費 8,060,160円 (都市交通課)

[総括]

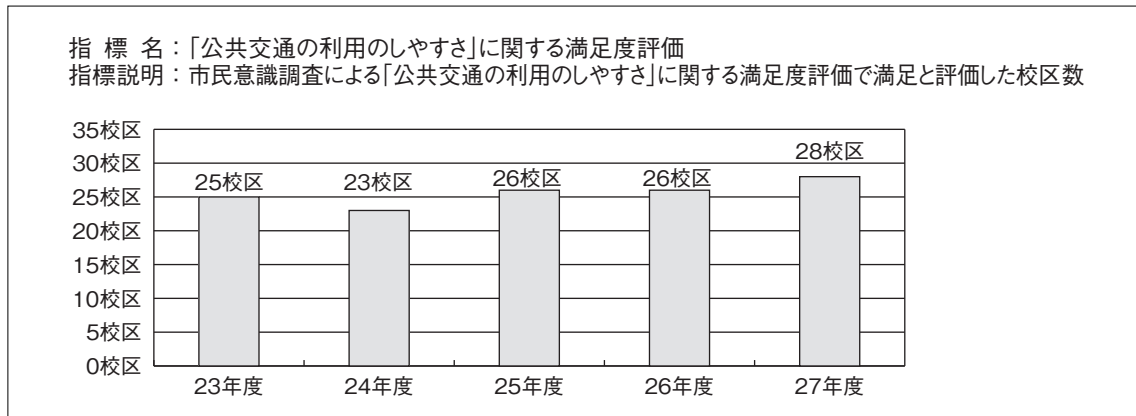
都市交通ビジョンの基本理念でもある「過度に自動車交通に依存しない都市交通体系の構築」をめざすため、都市交通計画推進に関する会議等を開催した。今後も市民等の交通に対する意識変革を促すとともに、公共交通等の利便性の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 都市交通計画推進事業費 8,060,160円

都市交通計画推進に関する会議等開催回数	平成26年度	平成27年度
		60回

[指標]



2 路線バス対策事業費 45,281,000円 (都市交通課)

[総括]

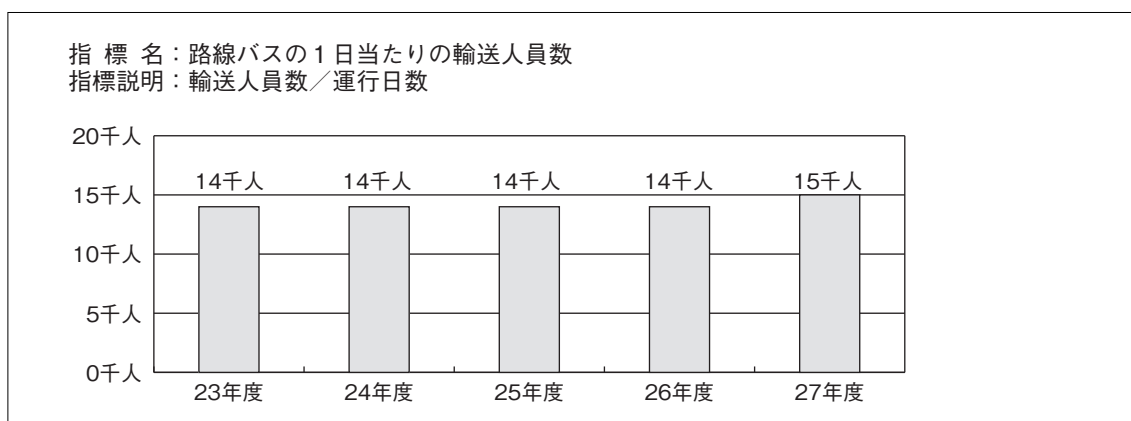
市民の移動手段を確保するため、赤字のバス路線に対して助成を行った。今後も交通事業者とともに、市民生活に欠くことのできない公共交通であるバス路線の維持を図る。

[実績及び成果]

(1) バス運行対策費補助金 45,281,000円

補助路線数	平成26年度	平成27年度
		10路線

[指 標]



3 路面電車活性化推進事業費 22,567,060 円 (都市交通課)

[総 括]

本市の基幹的な公共交通である路面電車の活性化・再生を図るため、損傷が進んだ軌道敷の整備、前畑停留場のバリアフリー化調査設計を実施した。今後も事業者とともに、安全性や快適性、シンボル性を高める取組みを進める。

[実績及び成果]

(1) 路面電車活性化推進事業費 22,567,060 円

(ア) 路面電車軌道敷整備事業補助金 19,663,330 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	前畑停留場付近交差点軌道敷整備	東田電停交差点軌道敷整備

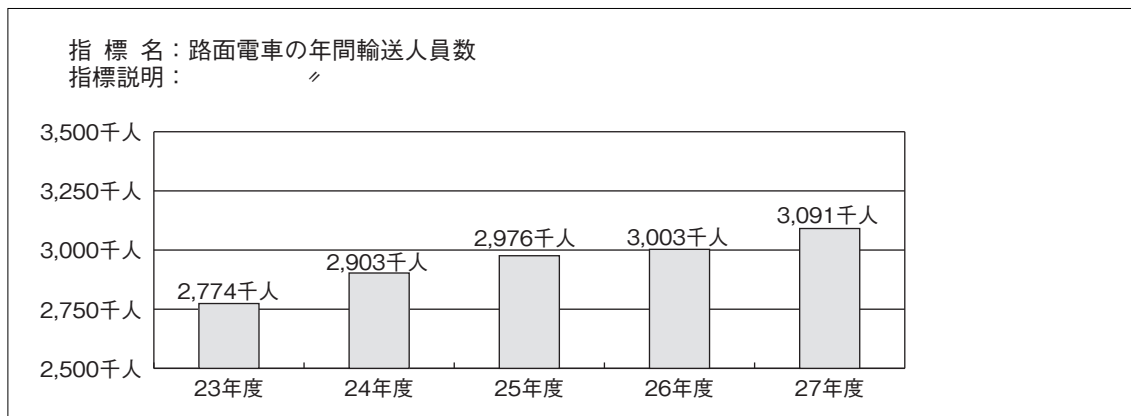
(イ) 路面電車停留場バリアフリー化測量調査業務補助金 2,340,000 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	—	前畑停留場バリアフリー化調査設計

(ウ) 路面電車活性化推進事業費 563,730 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	サイクル&ライド駐輪場の整備 (井原駐輪場)	路面電車に関する講演会の実施

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 地域公共交通対策費 <地域公共交通の確保>	40,191,368	0	0	13,184,295	27,007,073

1 地域公共交通活性化推進事業費 37,924,702 円 (都市交通課)

[総括]

地域公共交通の維持及び活性化に向けて公共交通利用促進イベント等を実施した。また、公共交通空白地域においては、日常の移動手段を確保するため、地域住民が主体となり「地域生活」バス・タクシーの実証運行事業を南部地区、前芝地区及び川北地区で実施するとともに、東部地区及び北部地区において本格運行事業を実施した。今後も地域住民とともに、「地域生活」バス・タクシー運行事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 地域公共交通利用促進事業費 37,924,702 円

(ア) 「地域生活」バス・タクシー実証運行事業費 20,428,920 円

実 施 地 区	平成26年度	平成27年度
		南部地区、前芝地区

(イ) 「地域生活」バス・タクシー運行事業補助金 15,618,456 円

実 施 地 区	平成26年度	平成27年度
		東部地区、北部地区

(ウ) 「地域生活」バス・タクシー運営経費補助金 885,746 円

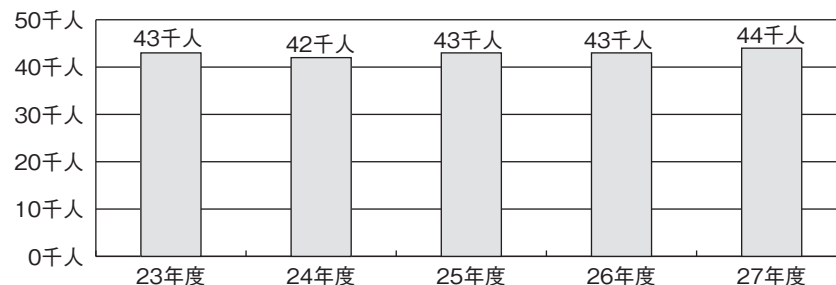
補 助 団 体 数	平成26年度	平成27年度
		6団体

(エ) 地域公共交通利用促進費 991,580 円

公 共 交 通 利 用 促 進 イベント等の参加人数	平成26年度	平成27年度
		295人

[指 標]

指 標 名：地域公共交通の1日当たりの利用者数
 指標説明：渥美線、路面電車、路線バス、「地域生活」バス・タクシーの利用者数／運行日数



2 渥美線活性化推進事業費 2,266,666 円（都市交通課）

[総括]

発生が危惧される東海・東南海地震など南海トラフを起因とする大規模地震に備えるため、交通事業者が実施する渥美線の橋梁の耐震化工事に対して助成を行った。今後も橋梁の耐震化に対する支援を継続し、大規模地震発生時における渥美線の利用者の安全性の向上を図る。

[実績及び成果]

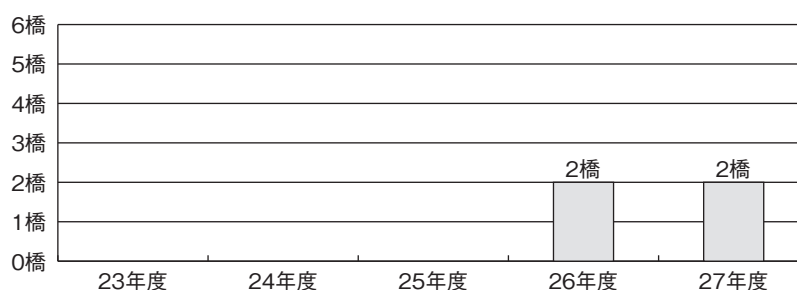
(1) 渥美線活性化推進事業費 2,266,666 円

(ア) 渥美線橋梁耐震化対策事業補助金 2,266,666 円

実施箇所	平成26年度	平成27年度
	柳生川橋梁、西海戸架道橋	植田川橋梁、植田第1避溢橋

[指標]

指標名：渥美線の耐震化実施橋梁数
 指標説明：市の助成による渥美線の耐震化実施橋梁数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 自転車利用促進費 <自転車利用の促進>	266,460	0	0	0	266,460

1 自転車利用推進事業費 266,460円 (都市交通課)

[総括]

自転車の安全性・快適性の向上を図るため、市内を走るバス車両の後方部に自転車は車道の左側通行であること、また、バス停車中は無理な追越しをしないことを周知・啓発するステッカーを貼付した。

今後も平成26年3月に策定した「豊橋市自転車活用推進計画」に基づき、市民、企業、学校、各種関係団体、国、県などとの連携・協働のもと、自転車の利用環境の整備や利用啓発活動等の取組みを進める。

[実績及び成果]

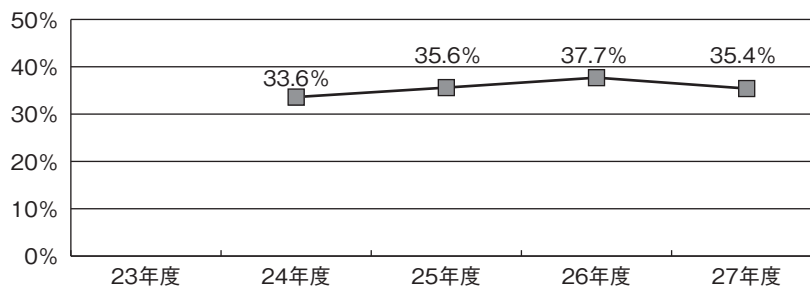
(1) 自転車利用推進事業費 266,460円

内 容	平成26年度	平成27年度
	自転車活用推進委員会等の開催(2回) 自転車通勤促進セミナーの開催 まちなか駐輪環境向上の検討	自転車活用推進委員会等の開催(2回) まちなか駐輪環境向上の検討 自転車安全・快適利用啓発用バスステッカーの貼付

[指標]

指標名：「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価

指標説明：市民意識調査による「自転車の利用のしやすさ」に関する満足度評価で満足と評価した割合



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 区画整理費	1,906,447,734	539,100,000	642,400,000	44,788,520	680,159,214
2目 市街地整備費 <良好な市街地の形成>	1,732,668,093	539,100,000	642,400,000	44,743,850	506,424,243

1 牟呂坂津土地区画整理事業費 423,493,093 円 (区画整理課)

[総括]

道路築造工事及び宅地造成工事を施工するとともに、建物、工作物、電柱、水道管等の移転・移設補償を行った。今後も地権者の理解を得ながら、事業の早期完了に向けて、建物等移転補償、道路築造、宅地造成等を計画的に進め、事業推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 牟呂坂津土地区画整理事業費 423,493,093 円
(国庫補助事業 261,142,764 円 市単独事業 162,350,329 円)

(ア) 道路築造費 21,400,200 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	延長	556m

(イ) 宅地造成費 5,233,680 円

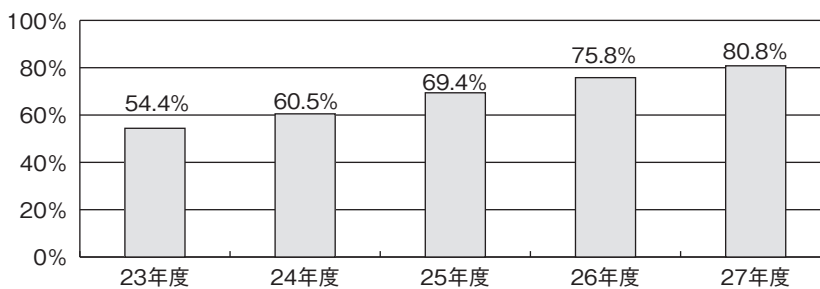
内 容	平成26年度	平成27年度
	面積	5,521㎡

(ウ) 補償費 341,027,995 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	建物 18戸 工作物、電柱 水道管移設 337m	建物 9戸 工作物、電柱 水道管移設 403m

[指標]

指標名：牟呂坂津土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成13年度～30年度)



2 組合土地区画整理推進事業費 1,306,175,000 円（区画整理課）

[総括]

土地区画整理事業の円滑な推進を図るため、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合に対し指導・監督をするとともに、助成した。また、牛川西部及び柳生川南部の各土地区画整理組合が行った事業に対し負担金を支出した。今後も各組合に対して指導を行い、早期に事業が完了するよう努める。

[実績及び成果]

(1) 牛川西部土地区画整理推進事業費 628,805,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 595,100,000 円

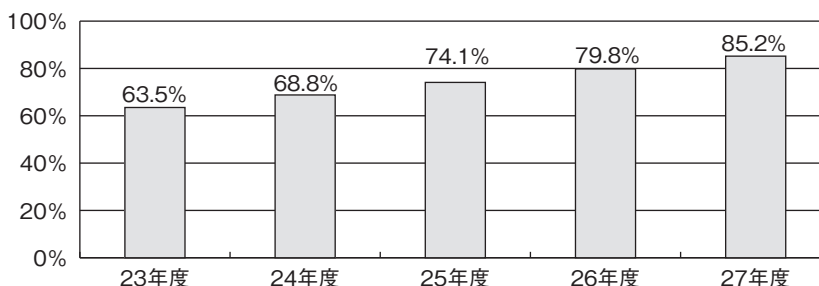
補助金	平成26年度	平成27年度
	627,600,000円	595,100,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 33,705,000 円

負担金	平成26年度	平成27年度
	23,850,000円	33,705,000円

[指標]

指標名：牛川西部土地区画整理事業進捗率
 指標説明：累積事業費／全体事業費(平成7年度～30年度)



(2) 柳生川南部土地区画整理推進事業費 677,370,000 円

(ア) 土地区画整理事業補助金 651,900,000 円

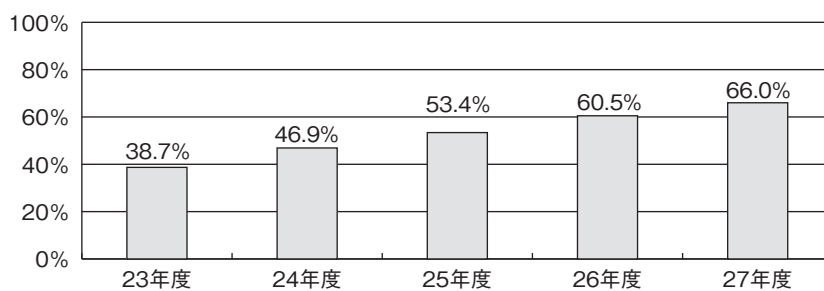
補助金	平成26年度	平成27年度
	1,051,600,000円	651,900,000円

(イ) 土地区画整理事業負担金 25,470,000 円

負担金	平成26年度	平成27年度
	26,775,000円	25,470,000円

[指 標]

指 標 名：柳生川南部土地区画整理事業進捗率
指標説明：累積事業費／全体事業費(平成14年度～33年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9 款 消 防 費	3,377,697,451	28,390,000	101,200,000	112,174,920	3,135,932,531
1 項 消 防 費	3,377,697,451	28,390,000	101,200,000	112,174,920	3,135,932,531
2 目 消 防 費 < 消防体制の充実 >	631,357,343	24,347,000	80,600,000	95,501,691	430,908,652

1 消防署所施設管理事業費 116,890,674 円 ((消) 総務課)

[総括]

東日本大震災等の過去の教訓を受け、被災直後の車両用燃料確保及び電力の確保対策として中消防署の自家用給油取扱所及び非常用発電設備の地下燃料タンクを増強することで、災害対応力の強化を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防署所施設管理事業費 116,890,674 円

(ア) 中消防署自家用給油取扱所・非常用発電設備増強工事

[中消防署自家用給油取扱所車両用燃料備蓄数量]

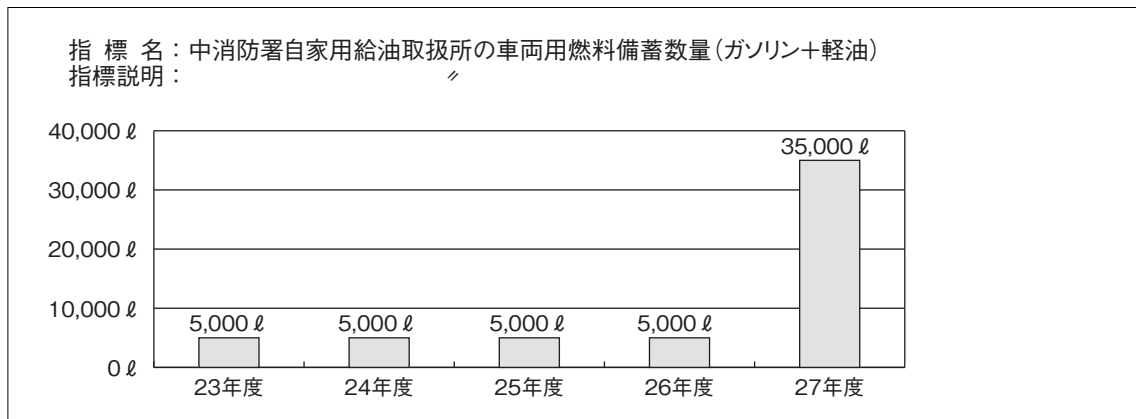
区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
ガ ソ リ ン	2,500 ℓ	22,500 ℓ
軽 油	2,500	12,500

[中消防署非常用発電設備用燃料備蓄数量]

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
重 油	1,000 ℓ	—
軽 油	—	5,990 ℓ

※地下燃料タンク増強に合わせ、燃料を重油から軽油に変更

[指 標]



2 通信指令事業費 147,914,247 円 (通信指令課)

[総括]

複雑多様化する災害から地域住民を守るため、119番緊急通報を受け高機能消防通信指令システムを活用することにより、効率的に災害発生場所を特定し、迅速な対応を図ることで、被害の軽減に努めた。また、通報内容に応じて応急手当ての口頭指導を行う等、救命率向上に努めた。今後も、119番通報の集中する大規模広域災害を想定した訓練を実施することで、東三河地域の災害対応力の強化を図る。

[実績及び成果]

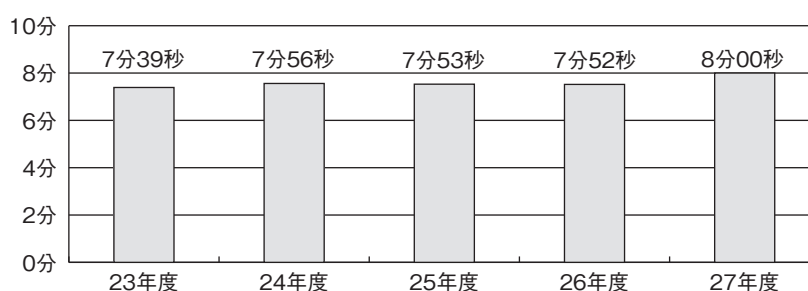
(1) 通信指令事業費 147,914,247 円

[受信内訳]

内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
119 番 通 報 件 数	19,655件	19,629件	△ 0.1%
固 定 電 話	7,844	7,496	△ 4.4
携 帯 電 話	7,897	8,295	5.0
I P 電 話	3,914	3,838	△ 1.9

[指 標]

指 標 名：119番受信から現場到着時間(災害：火災・救急・救助等)
 指標説明： /



3 警防活動費 7,703,067 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を火災から守り、被害を最小限に抑えるため、消防機械器具の整備や消防隊員の知識、技術の向上に努めた。特に、若年層消防隊員の知識・技術の向上を図るため、計画的に訓練を実施し、消防活動体制の維持・向上に努めた。また、発生が危惧される地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、今後も各種災害想定訓練を実施するなど災害対応力の強化を図る。

[実績及び成果]

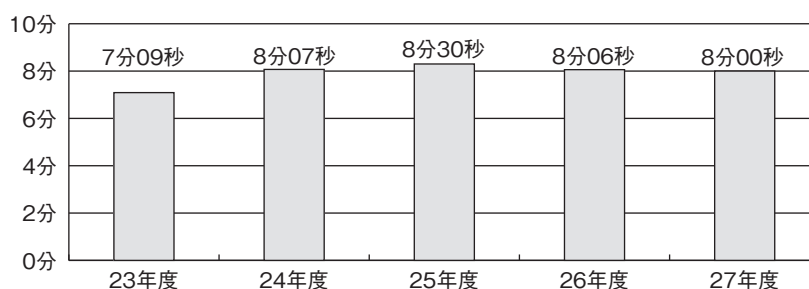
(1) 警防活動費 7,703,067 円

[火災発生状況]

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
出 火 件 数	125件	108件	△13.6%
り 災 棟 数	92棟	89棟	△ 3.3
り 災 世 帯	55世帯	55世帯	0.0
り 災 人 員	153人	133人	△13.1
焼 損 面 積 (建物)	3,904㎡	2,702㎡	△30.8
損 害 額	221,258千円	234,645千円	6.1

[指 標]

指 標 名：火災出動から放水開始までの時間
 指標説明：火災出動から先着隊の放水開始までの時間



4 消防団活動事業費 150,806,469 円 ((消) 総務課)

[総 括]

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律により、「消防団の装備の基準」が改正された。これを受け、安全靴・救命胴衣等の安全確保のための装備品を充実させるとともに、消防署との合同訓練や災害時活動マニュアル研修会を実施し、災害対応能力の向上に努めた。

「ええじゃないか消防団・消防団応援事業所」については、東三河地域市町村と連携し「ほの国消防団・消防団応援事業所」として東三河地域全体へ事業を拡大することで、より団員・家族が利用しやすい事業とし、福利厚生 の充実を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防団員管理事業費 142,202,669 円

[災害・公務出動人員]

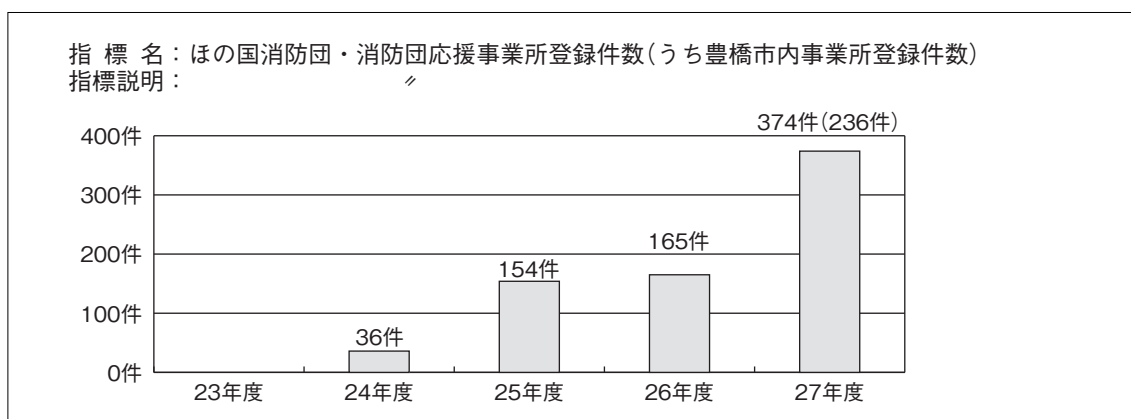
区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
災 害 出 動	4,833人	3,807人	△21.2%
公 務 出 動	10,626	10,737	1.0

(2) 消防団交付金 8,603,800 円

[交付金内訳]

区 分	平成26年度	平成27年度
消 防 団 交 付 金	800,000円	800,000円
方 面 隊 交 付 金	688,000	688,000
分 団 交 付 金	6,847,400	6,815,800
消防はしご登り保存会交付金	300,000	300,000
計	8,635,400	8,603,800

[指標]



※ 24年度～26年度は「ええじゃないか消防団・消防団応援事業所」の登録件数

5 消防団車両等設備管理事業費 71,963,215 円 ((消) 総務課)

[総括]

「消防団の装備の基準」の改正を受け、双方向の情報伝達手段確保のためのデジタル簡易無線及び救助活動用資機材を配備するとともに、消火活動用資機材のほか救助活動用資機材等を積載することが可能な多機能型消防団車両を配備し、災害対応力の強化を図った。

[実績及び成果]

(1) 消防団車両等設備管理事業費 71,963,215 円

(ア) 車両購入費

区分	平成26年度	平成27年度
多機能型消防団車両	4台	5台

(イ) 消防団救助活動用資機材

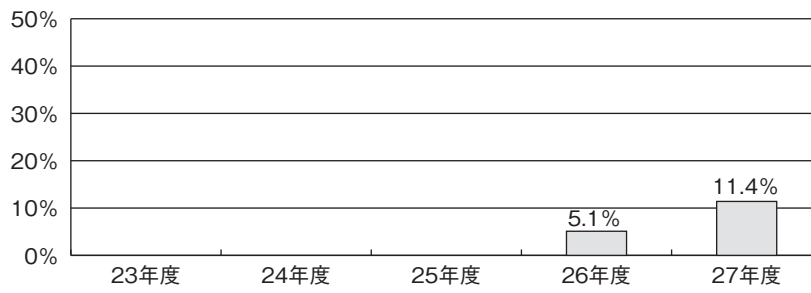
区分	平成26年度	平成27年度
エンジンカッター	—	27基
チェーンソー	—	14
夜間活動用資機材	—	38組

(ウ) 簡易デジタル無線機

区分	平成26年度	平成27年度
固定局	—	40局
携帯局	—	119

[指 標]

指 標 名：多機能型消防団車両の配備率
指標説明：多機能型消防団車両／消防団車両



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 救 急 救 命 費 <救急救命体制の充実>	62,666,433	4,043,000	20,600,000	0	38,023,433

1 救急事業費 58,054,229 円 (消防救急課)

[総括]

救命率の向上を図るため、救急救命士の養成や処置範囲の拡大への対応、また、医療機関との連携強化など救急救命体制の充実に努めるとともに、市民や事業所と協働した救命講習を実施し応急手当の普及啓発に努めた。今後救急に対する市民ニーズに応えるため、救急の高度化と応急手当の普及啓発を推進し救急救命体制の充実強化を図る。

[実績及び成果]

(1) 救急高度化事業費 43,538,066 円

[研修派遣者数]

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
救 急 救 命 士	救 急 救 命 士 養 成	1人	1人	0.0%
	除細動プロトコール	1	6	6倍
	気管挿管運用試験	1	1	0.0%
	薬剤投与運用試験	1	6	6倍
救 急 隊 員 資 格 取 得		14	25	78.6%

(2) 応急手当普及啓発事業費 14,275,949 円

[救命講習受講者数]

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
応 急 手 当 指 導 員		32人	43人	34.4%
応 急 手 当 普 及 員		37	45	21.6
上 級 救 命		81	57	△29.6
普 通 救 命		4,322	4,387	1.5
初 級 救 命		7,035	6,698	△ 4.8

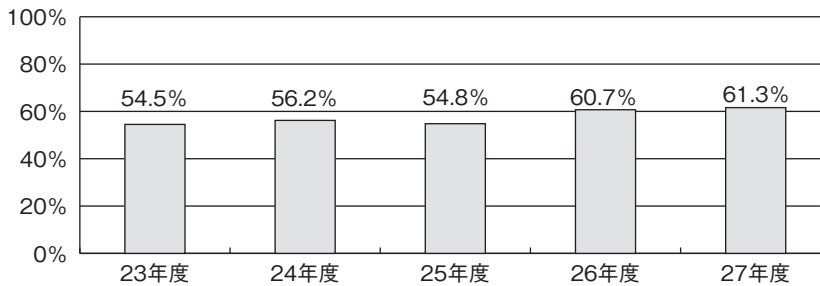
(3) 救急活動費 240,214 円

[救急発生状況]

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
急 病		9,204件	9,415件	2.3%
一 般 負 傷		1,708	1,745	2.2
交 通 事 故		1,377	1,331	△ 3.3
労 働 災 害		142	114	△19.7
運 動 競 技		104	108	3.8
加 害		60	67	11.7
そ の 他		1,686	1,730	2.6
計		14,281	14,510	1.6

[指 標]

指 標 名：心肺停止傷病者に対するバイスタンダーの処置率(胸骨圧迫)
 指標説明：通報時、心肺停止状態の傷病者に対しバイスタンダーが応急処置を施した割合
 ※バイスタンダー…救急現場に居合わせた人



2 救助事業費 4,612,204 円 (消防救急課)

[総 括]

市民の生命、身体及び財産を災害から守るため、救助隊員の知識、技術の向上に努めるとともに、近年多発する集中豪雨に伴う河川の氾濫や都市型水害等に対応するため水難用救助資機材の充実を図った。今後も、発生が危惧される地震等の大規模災害や複雑多様化する災害に対応するため、救助隊員の育成と救助活動の充実強化を図る。

[実績及び成果]

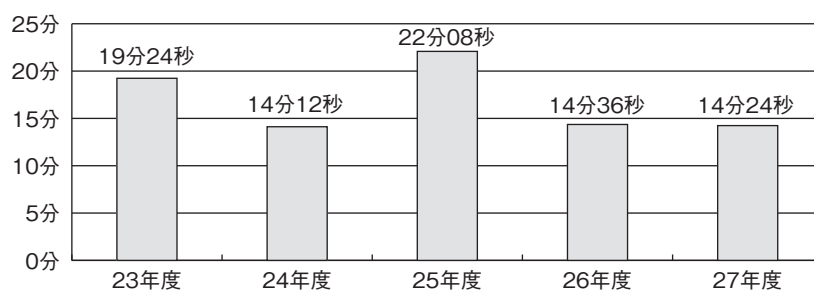
(1) 救助事業費 4,612,204 円

[救助発生状況]

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
火 災	建 物	46件	50件	8.7%
	建 物 以 外	6	7	16.7
火 災 以 外 の 事 故	交 通	66	41	△ 37.9
	水 難	7	4	△ 42.9
	自 然 災 害	1	0	皆減
	機 械 に よ る	7	7	0.0%
	建 物 等 に よ る	32	30	△ 6.3
	ガ ス 及 び 酸 欠	1	0	皆減
	破 裂	0	0	0.0%
	そ の 他	45	40	△ 11.1
計		211	179	△ 15.2

[指 標]

指 標 名：現場到着から救助完了までの時間
指標説明：救助隊の現場到着から救助完了までの時間



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 火災予防費 <火災予防対策の推進>	11,434,601	0	0	1,000,000	10,434,601

1 火災予防対策事業費 11,434,601円 (予防課)

[総括]

火災予防対策の推進及び防火意識の高揚を図るため、各種研修会の開催、防火教育訪問授業及び秋・春の火災予防運動を展開した。また、豊橋まつり等でキャンペーンを実施し、住宅用火災警報器の設置促進に努めた。今後も、引き続き火災予防対策の推進を図るとともに、防火対象物の違反是正に向けた査察体制の強化及び街頭消火器の未整備地域への設置促進を図る。

[実績及び成果]

(1) 火災予防啓発事業費 4,371,232円

[火災予防啓発行事等開催回数]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
啓 発 イ ベ ント	4回	6回	50.0%
講 習 会	11	10	△ 9.1
計	15	16	6.7

(2) 防火教育普及啓発事業費 54,069円

[防火教育受講者数]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
女性防火クラブ研修	337人	385人	14.2%
小学校訪問授業	1,122	1,318	17.5
老人クラブ防火教室等	301	308	2.3
計	1,760	2,011	14.3

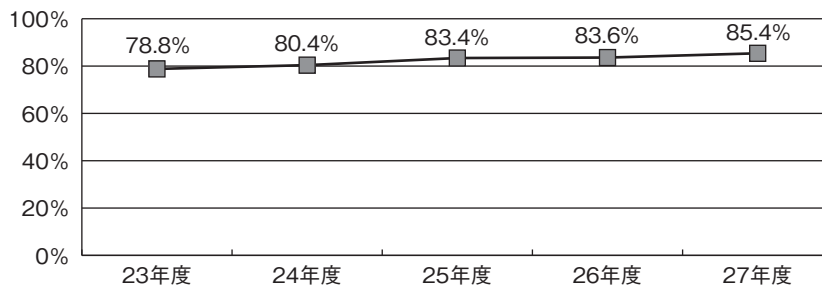
(3) 街頭消火器設置費等補助金 7,009,300円

[補助内訳]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
消 火 器 更 新	961件	926件	△ 3.6%
収 納 箱 更 新	450	454	0.9
薬 剤 更 新	18	24	33.3
火災使用薬剤詰替 (街頭消火器)	20	3	△85.0
火災使用薬剤詰替 (一般消火器)	36	14	△61.1
計	1,485	1,421	△ 4.3

[指 標]

指 標 名：住宅用火災警報器設置率
指標說明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10款 教 育 費	11,816,813,962	352,560,832	1,455,100,000	1,829,528,052	8,179,625,078
1 項 教 育 総 務 費	2,458,779,512	26,137,672	246,900,000	59,598,825	2,126,143,015
3 目 教 育 活 動 推 進 費 <個に応じた教育の推進>	443,983,200	8,664,000	0	196,361	435,122,839

1 教育相談事業費 149,348,891 円 (学校教育課)

[総括]

外国人児童生徒教育相談員等による教育相談や学校生活適応指導など、外国人児童生徒や保護者に対する支援の充実に努めた。平成27年度は、初期支援対応外国人(フィリピン)児童生徒教育相談員を配置し、日本に来たばかりの外国人児童に対する支援を充実させた。また、児童生徒にかかわる教育上の問題について、教育支援コーディネーターの調整のもと、教育相談員や臨床心理士による教育相談、心理判定員による発達検査に基づいた就学相談を実施するとともに、生活サポート非常勤講師の配置や適応指導教室の運営を通して、不登校傾向にある児童生徒の早期発見、対応及び学校復帰に向けた支援を行った。今後も学校や関係機関と連携を図りながら、児童生徒の支援のため効果的な教育相談活動に努める。

[実績及び成果]

(1) 外国人児童生徒教育相談事業費 69,210,226 円

区 分	平成26年度	平成27年度
外国人児童生徒教育相談コーディネーター	相談件数 1,579件	相談件数 1,606件
外国人児童生徒教育相談員	学校常駐 5人 学校巡回 10	学校常駐 5人 学校巡回 11
外国人児童生徒対応スクールアシスタント	延 4,118時間	延 4,138時間
登録バイリンガルボランティア	延 1,369	延 1,951

(2) 教育相談活動事業費 39,925,298 円

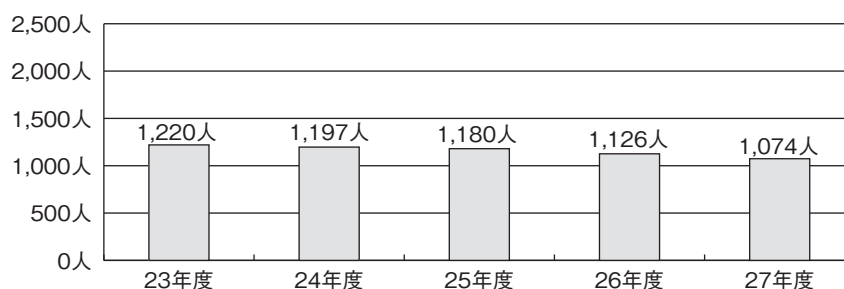
区 分	平成26年度	平成27年度
教育支援コーディネーターによる相談	559件	655件
教育相談員による相談 (学校訪問、にじの子相談等)	3,424	3,351
心理カウンセラー相談	780	866
心理判定員相談	437	387
メンタルフレンド派遣	5月～3月 72回	5月～3月 84回

(3) 不登校対策支援事業費 40,213,367 円

区 分	平成26年度	平成27年度
適応指導教室活動事業費	2か所 183日 延 2,441人	2か所 180日 延 2,149人
生活サポート支援事業費	非常勤講師 12	非常勤講師 12
不登校対策推進協議会補助金	担当者学習会 8月 2回	担当者学習会 8月 2回
	補助金 116,950円	補助金 104,476円

[指標]

指標名：教育相談員1人当たりの児童生徒数
 指標説明：市立小中学校児童生徒数 / (外国人児童生徒教育相談員数 + 教育相談員数)



2 生徒指導対策事業費 117,600円 (学校教育課)

[総括]

生徒指導担当者の情報交換会や管理職対象の研修会において、いじめを見逃さず、早期に対応するために、教職員一人ひとりがいじめを認知していくことや、いじめに対して一つひとつ解消していく組織的な対応の重要性について啓発を行った。進路指導では、キャリア教育と連携しながら、生徒が将来の目標を定め、自分にとって最適な進路選択ができるよう支援を行った。今後もいじめ、不登校、暴力行為等の問題行動を未然に防ぐため、自己存在感や自己有用感を高め、共感的人間関係を育むための支援を行っていく。

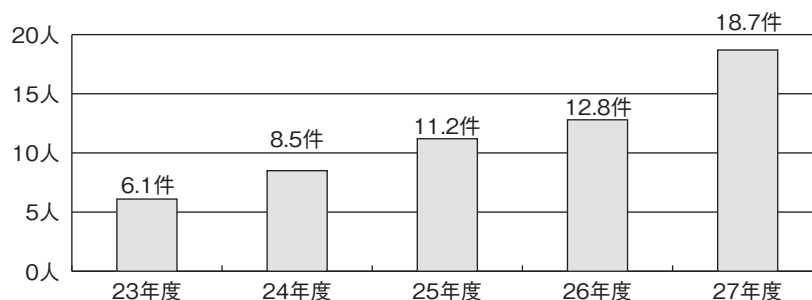
[実績及び成果]

(1) 生徒指導対策事業費 117,600円

区分	平成26年度	平成27年度
生徒指導	夏季教員研修会 8月 1回	夏季教員研修会 8月 1回
	夏季生徒会研修会 8 1	夏季生徒会研修会 8 1
進路指導	進路のてびきの発行	進路のてびきの発行

[指標]

指標名：1校当たりのいじめ、暴力行為の発生件数
 指標説明：いじめ、暴力行為の発生件数 / 小中学校数 (74校)



3 教育諸活動支援事業費

144,207,295 円（学校教育課）

[総括]

児童生徒の健全な育成と豊かな人間性を培うため、学校生活を支援する活動、創造力や豊かな感性・表現力を高める活動、子どもたちの科学技術に対する夢と情熱を育む活動、体力・競技力の向上を図る活動など教育活動の支援を行った。また、児童生徒が郷土への関心を深め、郷土を愛し、郷土に誇りを持つことができるよう郷土学習推進委員会を中心に郷土の偉人や遺跡等の調査・研究を行った。さらに、次代を担う子どもたちの感性を磨き、豊かな心を醸成する目的で、多彩で優れた芸術の鑑賞・体験の機会を提供した。今後も児童生徒がいきいきと学ぶことができるような教育活動を提供するため、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 行事開催事業費

9,364,246 円

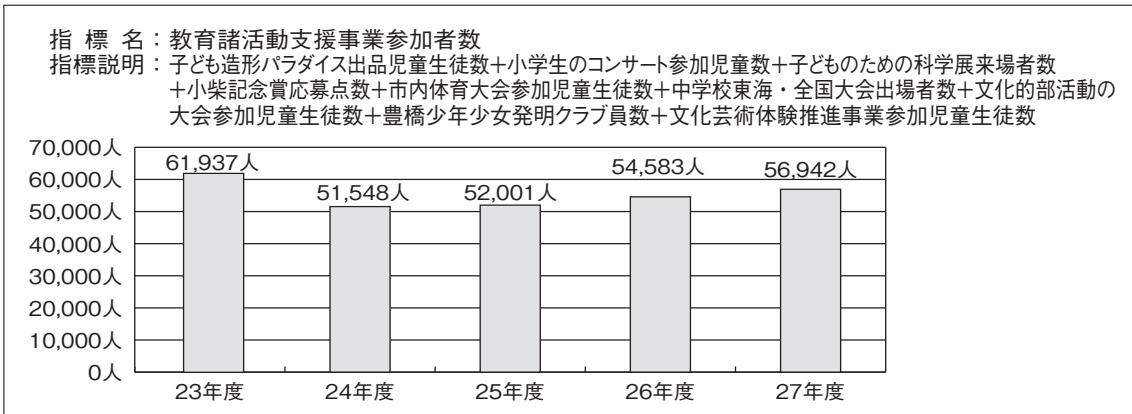
区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
子ども造形パラダイス補助金	開催日	26.10.18~19	開催日	27.10.17~18
	補助金	4,754,294円	補助金	5,338,862円
小学生のコンサート補助金	開催日	26.8.2	開催日	27.8.1
	補助金	2,097,327円	補助金	2,464,152円
子どものための科学展開催費補助金	開催日	26.10.18~19	開催日	27.10.17~18
	来場者数	5,276人	来場者数	7,505人
	補助金	752,244円	補助金	1,070,379円
小柴記念賞補助金	応募点数	188点	応募点数	323点
	補助金	490,605円	補助金	490,853円

(2) 教育活動支援事業費

134,843,049 円

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
新入学児童学級対応等支援事業費	支援員	58人	支援員	63人
体育的部活動支援事業費		20,848,011円		25,844,735円
学校体育連盟補助金	1団体	19,008,324	1団体	20,698,307
中学校東海・全国大会出場補助金	14校(121人)	1,839,687	13校(170人)	5,146,428
文化的部活動支援事業費	26	5,676,502	25	4,668,733
少年少女発明クラブ補助金	クラブ員 72人	400,000	クラブ員 83人	400,000
郷土学習推進事業費	「郷土の偉人」編集	135,744	「郷土の偉人」編集・発行	321,160
文化芸術体験推進事業費	—		参加児童生徒5,437人	5,326,730

[指標]



4 授業・学習支援事業費

31,683,354 円（学校教育課）

[総括]

児童生徒への効果的な学習支援を行うため、「授業・学習支援センター」において、コーディネーター1名と選書スタッフ2名が連携し、子どもの調べ学習や教員の授業づくりの支援を進めた。また、引き続き27名の学校図書館司書を小中学校へ配置するとともに、新たに学校図書館司書への研修を実施し、学校図書館機能の充実に努めた。今後も教員のニーズを把握し、有効に利用できるように努め、児童生徒の豊かな学習環境の実現をめざす。

[実績及び成果]

- (1) 授業・学習支援センター推進事業費 8,622,459 円

学校貸出冊数	平成26年度	平成27年度
	14,474冊	15,015冊

- (2) 学校図書館活動推進事業費 22,872,634 円

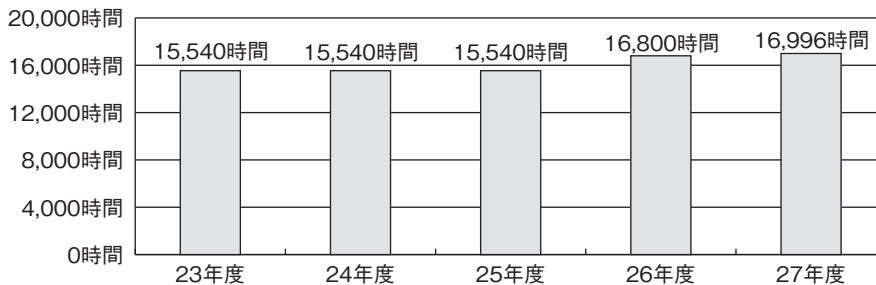
司書配置	平成26年度	平成27年度
	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)	27名を全小中学校(74校)に配置 (3校担当20名、2校担当7名)

- (3) 小・中学校読書活動推進事業費 188,261 円

図書購入	平成26年度	平成27年度
	65冊	80冊

[指標]

指標名：学校図書館司書活動時間数
 指標説明：〃



5 小中一貫教育推進事業費 4,947,072 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

義務教育9年間におけるつながりのある一貫した教育を行うため、「小中一貫教育推進委員会」を設置し、小中一貫校開校へ向けた準備を行った。また、小中学校間の円滑な接続及び学力向上のため、小学校高学年を対象に理科・図工・音楽などの教科について教科担任制を高豊中学校区に導入した。

[実績及び成果]

- (1) 施設隣接型教育研究事業費 142,584 円

小中一貫教育推進委員会開催数	平成26年度	平成27年度
	—	2回

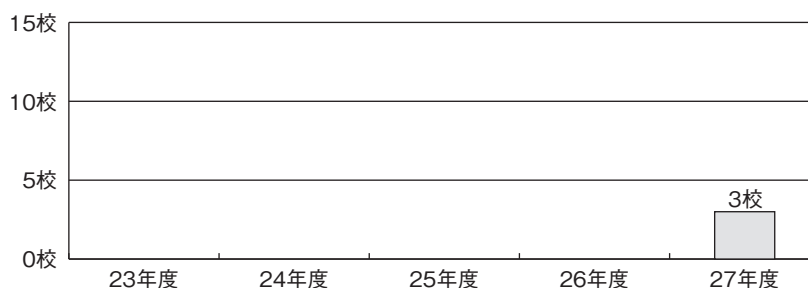
- (2) 施設分離型教育研究事業費 4,804,488 円

教科担任の非常勤講師人数	平成26年度	平成27年度
	—	2人

[指標]

指標名：教科担任制実施校数

指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 時代対応教育推進費 <時代に対応した教育の推進>	337,986,094	2,061,934	0	0	335,924,160

1 国際理解教育推進事業費 115,815,718円 (学校教育課)

[総括]

小学校では、学級担任と小学校英語スクールアシスタントや外国人英語指導員による、英語に親しむ活動を中心とした「英会話」の授業を各クラス年間20時間行うことで、児童の英語への関心や意欲を高めることができた。中学校では、英語科教員と外国人英語指導員による「英会話」の授業を各クラス年間35時間行った。夏休みを利用した英語活動では定員を増やし、授業外で生きた英語を使うことのできる機会を拡充した。また、小中学校の英語教育における連携を進めるため、新たに小学校5年生から中学校1年生まで使用する副教材を作成した。今後も引き続き英語教育の充実を図るため、小中学校での連携を進める。

[実績及び成果]

(1) 英会話のできる豊橋っ子育て事業費 115,815,718円

(ア) 小・中学校外国人英語指導員活動費

外国人英語指導員 コーディネーター及び 外国人英語指導員の配置	平成26年度		平成27年度	
		74校	23人	74校

(イ) 小学校英語スクールアシスタント

内 容	平成26年度		平成27年度	
		52校	延 4,452時間	52校

(ウ) 夏休み小学生英語活動費

内 容	平成26年度		平成27年度	
		14日間	547人	14日間

(エ) 夏休み中学生英語活動費

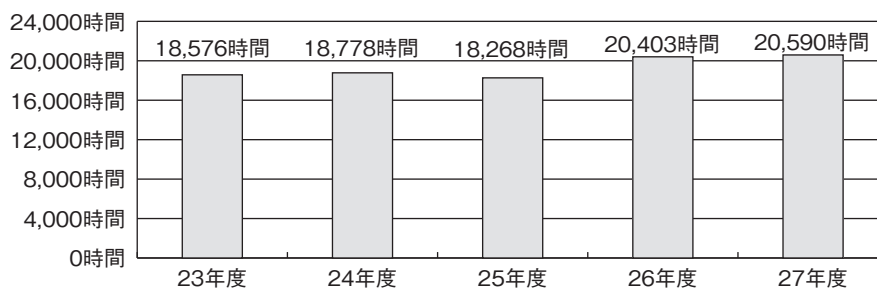
内 容	平成26年度		平成27年度	
		10日間	60人	10日間

(オ) 土曜英会話チャレンジ費

内 容	平成26年度		平成27年度	
		5日間	30人	5日間

[指標]

指標名：外国人英語指導員活動時間数
指標説明： /



2 情報教育推進事業費 215,315,250 円（学校教育課）

[総括]

情報化社会を生きぬく子どもたちに、コンピュータの技能を身につけさせたり、情報モラルやセキュリティに関する意識を高めさせることができた。また、高山小学校、牛川小学校及び石巻中学校において、引き続きタブレット型コンピュータを活用した授業についての検証を進めた。今後も教育の情報化に対応した実践を進める。

[実績及び成果]

(1) 情報教育推進事業費 215,315,250 円

(ア) 小学校情報教育推進事業費 126,336,685 円

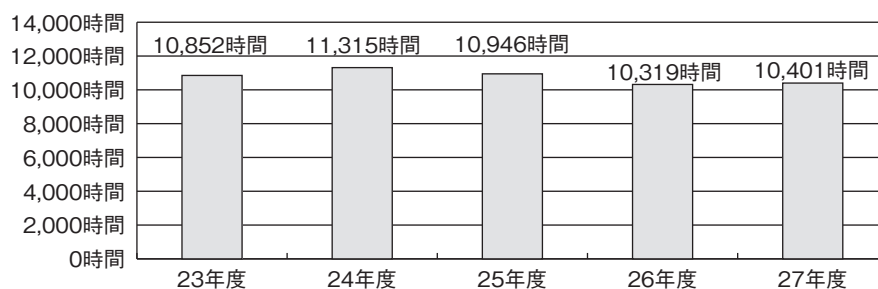
区 分	平成26年度		平成27年度	
	台数	金額	台数	金額
学習用コンピュータ費	1,980台	64,123,698円	1,980台	94,292,892円
コンピュータネットワークシステム費		22,221,828		22,210,233
学校図書館管理用コンピュータ費	52	8,843,256	52	9,739,168
研究指定校タブレット型コンピュータ購入費	96	9,990,000	—	—
タブレット型コンピュータ費	—	—		94,392

(イ) 中学校情報教育推進事業費 88,978,565 円

区 分	平成26年度		平成27年度	
	台数	金額	台数	金額
学習用コンピュータ費	908台	75,928,320円	908台	75,928,320円
コンピュータネットワークシステム費		8,888,724		8,806,281
学校図書館管理用コンピュータ費	22	3,741,372	22	4,120,412
タブレット型コンピュータ費	—	—		123,552

[指標]

指標名：小・中学校学習用コンピュータ利用時間数
 指標説明：〃



3 安全教育推進事業費 697,464 円（学校教育課）

[総括]

児童生徒の日常的な安全管理の充実を図るとともに、「危険を予測し、回避する能力」や「安全確保に関する実践的な能力や態度、望ましい習慣」を育てていくために「生活安全・交通安全・災害安全（防災）」の3領域にわたる安全教育の充実を図った。今後も各学校の安全教育を支援していくことで、安全教育のさらなる充実を図る。

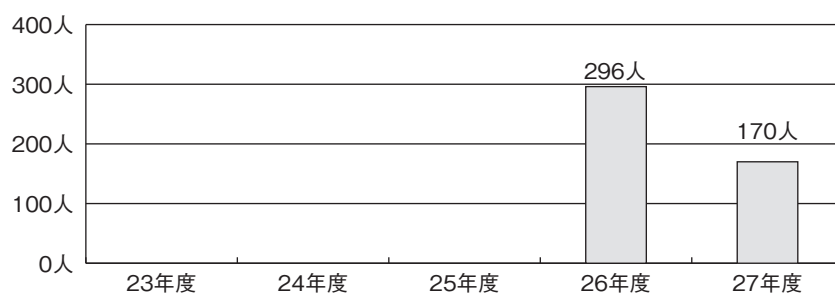
[実績及び成果]

(1) 安全教育推進事業費 697,464 円

内 容	平成26年度		平成27年度	
	回数	金額	回数	金額
学校安全研究委員会	4回		4回	

[指 標]

指 標 名：安全主任研修会参加者数
指 標 説 明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 教職員研修費 <教職員の力量向上>	91,900,230	0	0	594,000	91,306,230

1 教育会館管理運営事業費 83,904,881 円 (学校教育課)

[総括]

教職員の研修、教育情報の収集、教育機器・教材の提供及び情報教育の場としての機能を果たすとともに、教育相談や就学相談を行い学校や家庭での問題に対応した。また、教員免許状更新講習を引き続き実施し、教育の実情に即した講習内容とすることにより教員の資質の向上を図るとともに、受講者の事務手続等の負担軽減を行った。今後も教職員のニーズを的確に把握し、施設を有効に利用できるように努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理等運営事業費 13,463,338 円

[利用状況]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
開 館 日 数	359日	360日	0.3%
教 職 員 施 設 利 用 者 数	延 22,636人	延 23,235人	2.6
一 般 施 設 利 用 者 数	延 13,103	延 11,000	△16.0
計	延 35,739	延 34,235	△ 4.2

[各種活動]

区 分	平成26年度	平成27年度
コ ン ピ ュ ー タ 研 修	153時間 参加人員 667人	156時間 参加人員 589人
視 聴 覚 教 育 研 究	研究活動、教材・資料の作成	研究活動、教材・資料の作成
教 材 等 貸 出 利 用	映像教材貸出 370本	映像教材貸出 324本

(2) 教職員研修事業費 5,647,892 円

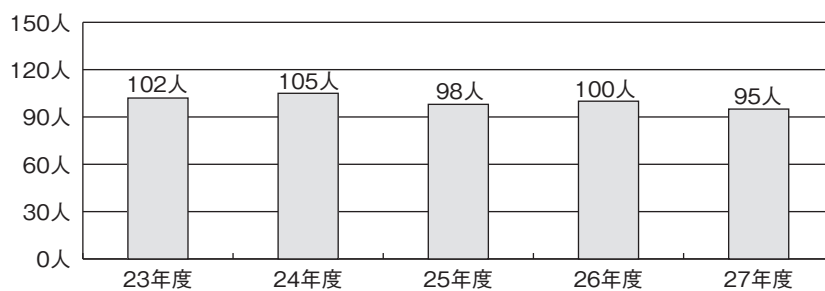
区 分	平成26年度	平成27年度
基 本 研 修	98回 参加人員 2,139人	114回 参加人員 2,455人
職 務 研 修	69 〃 2,342	69 〃 2,272
課 題 ・ 専 門 研 修	101 〃 4,137	91 〃 3,846
社 会 体 験 研 修 等	34か所 〃 44	42か所 〃 51

(3) 教員免許状更新講習事業費 553,638 円

内 容	平成26年度		平成27年度	
	45講座	受講人員 175人	45講座	受講人員 198人

[指 標]

指 標 名：教育会館1日当たりの利用者数
指 標 説 明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 特色ある学校推進費 <特色ある学校づくりの推進>	10,067,937	0	0	0	10,067,937

1 学校づくり推進事業費 9,733,451 円 (学校教育課)

[総括]

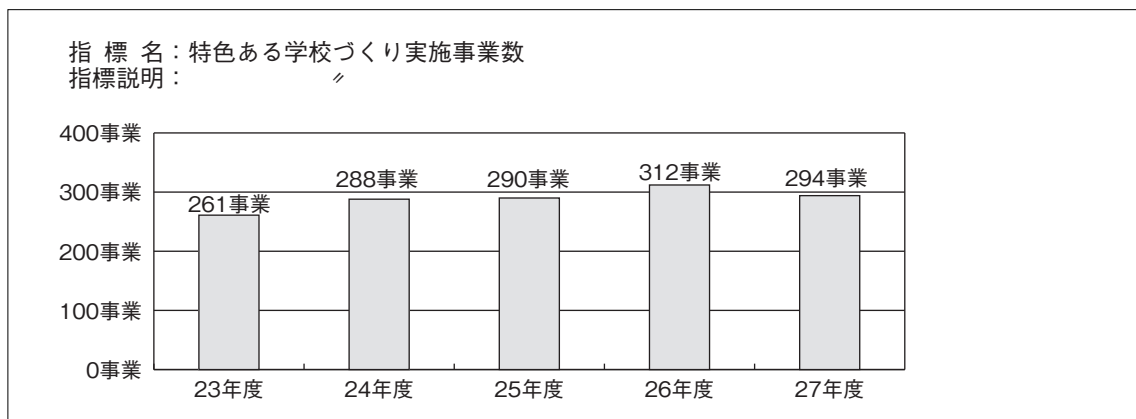
各学校が「生きる力」を育む特色ある学校づくりを主体的に推進し、豊かな心と実践力のある児童生徒を育成するため、学校行事や総合的な学習の時間等への支援を行った。また、市内を流れる川の総称を「母なる豊川」とし、児童生徒並びに地域の人々が川の自然、川と人の関わりについて考え、川を大切にするための教育活動を地域ぐるみで実施した。今後も各学校の事業企画内容を評価・検討し、各事業内容の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 学校づくり推進事業費 9,733,451 円

区 分	平成26年度		平成27年度	
母なる豊川活用事業費	参加校	30校	参加校	29校
特色ある学校づくり推進事業費補助金	74校	9,796,792円	74校	9,723,456円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 教育機会充実費 ＜教育機会の充実＞	782,174,263	15,411,738	156,100,000	36,947,835	573,714,690

1 くすのき特別支援学校教育推進事業費 295,734,349円 (教育政策課)

[総括]

きめ細やかな特別支援教育を実施するため、平成27年4月にくすのき特別支援学校を開校し、初年度となる27年度には就労支援体制を整えるため、就労支援推進員を配置したほか、就労学習を行うための農園整備工事に着手した。また、豊橋市・田原市における特別支援教育のセンター的機能として「くすのき相談センター」を設置し、訪問、来所相談を実施したほか、市内の小中学校から5名の教員をくすのき特別支援学校に配置し、教員の教育力向上を図るなど特別支援教育のサポートを実施した。今後も積極的に社会参加・自立を目指す人材を育成するため、教育環境の向上や就労支援の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 204,193,565円 (5月1日現在)

区 分	平成26年度	平成27年度
学 級 数	—	42学級
児 童 ・ 生 徒 数	—	216人

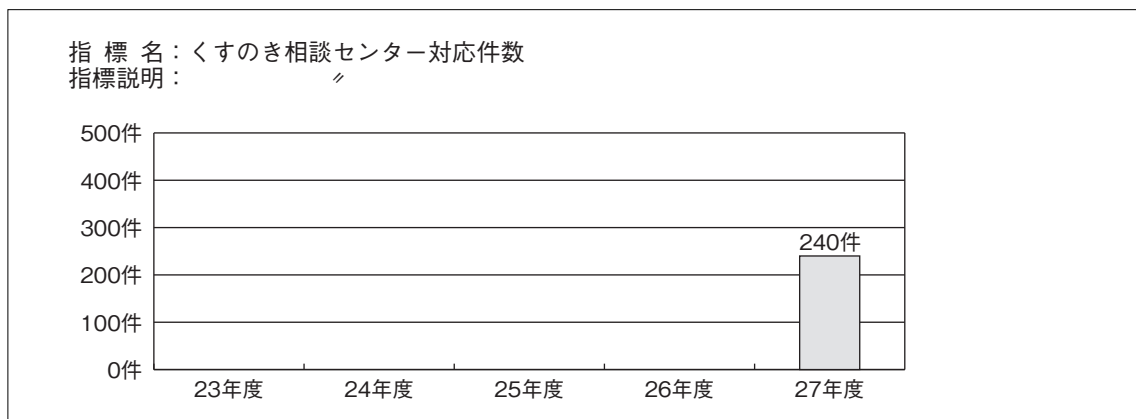
[施設整備] 113,223,910円

内 容	平成26年度	平成27年度
	—	農園整備工事 学校用地購入

(2) 教育活動事業費 81,765,343円

区 分	平成26年度	平成27年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	—	617冊
校務・学習・図書管理用コンピュータ費	—	116台 9,710,280円
企業向け学校見学会実施回数	—	1回
専門分野における高等学校との共同学習実施回数	—	3
就労支援におけるサテライト実習実施回数	—	14

[指 標]



2 市立高等学校教育推進事業費 172,049,985 円（教育政策課）

〔総括〕

働きながら学ぶことができる学校としての教育環境づくりを進めた。特に、発達障害や不登校の生徒に対応するため、心理カウンセラーによる心のケアの充実を図ったほか、進学、就職に向けてキャリア教育を実施した。また、非構造部材耐震対策工事等を実施し、災害への対策強化を図った。今後も、生徒一人ひとりの特性を伸ばすとともに、自ら学ぶ主体性を確立させるなど特色ある教育内容の充実を図り、東三河の定時制高校の中心的役割を果たしていく。

〔実績及び成果〕

(1) 管理事業費 69,678,305 円 (5月1日現在)

区 分	平成26年度	平成27年度
学 級 数	22学級	22学級
生 徒 数	699人	693人

〔施設整備〕 59,473,440 円

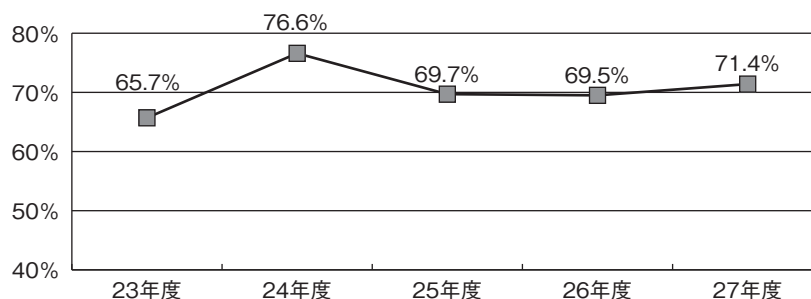
内 容	平成26年度	平成27年度
	体育館照明（LED）改修工事 校舎内部改修工事 一般補修工事	非構造部材耐震対策工事 太陽光発電システム無停電電源装置 設置工事 一般補修工事

(2) 教育活動事業費 61,098,994 円

区 分	平成26年度		平成27年度	
学校図書館蔵書数	6,661冊		6,831冊	
定時制教育教科書給与費	13人	51,330円	25人	117,880円
学習用コンピュータ費	42台	3,041,220	42台	3,256,524
心理カウンセラー相談開催日数	64日		65日	
キャリア教育研修開催回数	5回		6回	
外国人生徒教育支援日数	205日		205日	

〔指 標〕

指 標 名：市立高等学校卒業資格取得率
 指標説明：卒業者数／入学者数



3 家政高等専修学校教育推進事業費 79,927,810 円（教育政策課）

[総括]

服飾・調理に関する専門的な知識・技能の習得や、生涯を通じて必要となる教養を深めることをめざした教育環境づくりを進めた。特に卒業後の就職・進学に向け、生徒一人ひとりの個性や将来の夢を尊重した進路指導に努め、就職・進学率の向上を図った。とりわけ、キャリア教育研修においては、実地見学や講師を招いた実践的な講座に力を入れた。また、進路選択に対する不安感や悩みへの対処として、心理カウンセラーを活用した専門的な見地からの支援にも取り組んだ。今後も次代を担う人材育成のため、教育環境の向上や教育内容の充実に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 2,975,095 円 (5月1日現在)

区 分	平成26年度	平成27年度
学 級 数	3学級	3学級
生 徒 数	106人	108人

[施設整備] 349,768 円

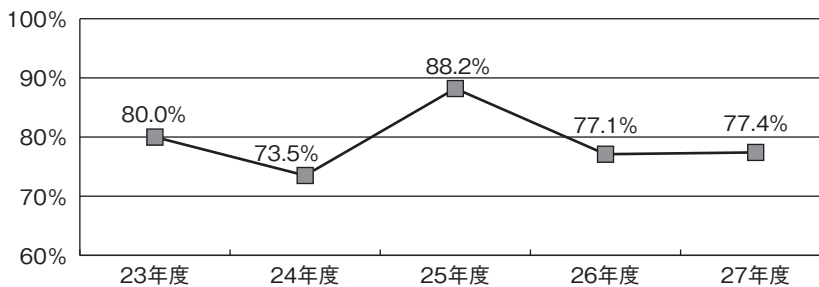
内 容	平成26年度	平成27年度
	太陽光発電システム無停電電源装置設置工事 体育館照明（LED）改修工事 一般補修工事	一般補修工事

(2) 教育活動事業費 27,037,433 円

区 分	平成26年度	平成27年度
学校図書館蔵書数	3,033冊	2,553冊
学習用コンピュータ費	41台 1,705,302円	41台 2,468,664円
心理カウンセラー相談開催日数	20日	20日
キャリア教育研修開催回数	7回	10回

[指 標]

指 標 名：家政高等専修学校就職、進学率
 指標説明：(就職者数+進学者数)／卒業生徒数



4 私学振興事業費

45,110,450 円（教育政策課）

[総括]

運営費補助金等により、私立学校の運営の円滑化及び教育環境を向上させるとともに、授業料補助金を見直し、私立学校に在籍する生徒に係る就学上の経済的負担の更なる軽減を図った。今後もこれらの施策実施においては、国、県の動向を踏まえ、私立学校の教育的意義などを考慮した対応に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 私学運営費補助金 9,537,650 円

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
	対象人員	補 助 額	対象人員	補 助 額
私立高等学校（3校）	3,320人	6,154,000円	3,457人	6,203,750円
外国人学校（3校）	360	3,324,000	371	3,333,900
計	3,680	9,478,000	3,828	9,537,650

(2) 私立高等学校授業料補助金 33,748,100 円

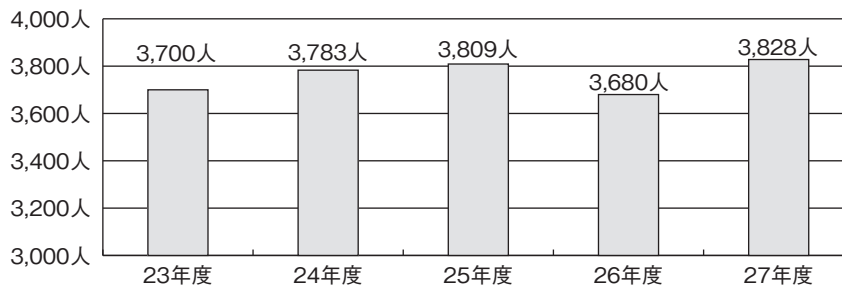
内 容	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
	対象人員	補 助 額	対象人員	補 助 額
	2,169人	32,708,400円	2,182人	33,748,100円

(3) 私立専修学校等授業料補助金 1,824,700 円

内 容	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
	対象人員	補 助 額	対象人員	補 助 額
	154人	1,804,812円	147人	1,824,700円

[指 標]

指 標 名：私立高等学校、外国人学校在籍者数
 指標説明：〃



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 科学教育推進費 <科学教育の推進>	396,119,354	0	90,800,000	21,553,671	283,765,683

1 自然史博物館事業費 179,739,351 円 (自然史博物館)

[総括]

自然に親しみ、正しい知識を深めるとともに、大切にすることを目的に、自然科学に関する常設展示に加え、資料収集、調査研究活動に取り組み、教育普及活動として、大型映像システムにより「ダイナソートラベラーズ」、「恐竜トリケラトプス」、「ダーウィンミステリー」等を上映したほか、自然史トーク、学習教室、企画展、特別企画展「天空を制した巨大翼竜と鳥たち」及びイベント「教員のための博物館の日2015in豊橋」等を開催した。今後も市民ニーズに応えるため、来館者サービスの向上につながる行事の実施及び老朽化した設備・展示物等の更新を図る必要がある。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 47,358,449 円

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
開 館 日 数	312日	314日	0.6%
入 館 者 数	延 536,613人	延 611,271人	13.9

(2) 教育普及活動事業費 34,745,795 円

区 分	平成26年度	平成27年度
学 習 教 室	10回 参加人員 296人	11回 参加人員 265人
自 然 史 ト ー ク	12 “ 465	12 “ 594
解 説 会	12 “ 308	12 “ 260
出 前 授 業 等	71 “ 2,622	71 “ 1,935
大 型 映 像	1,036 観覧者数 28,594	1,189 観覧者数 36,462
企 画 展	「教授を魅了した大地の結晶-北川隆司鉱物コレクション-」 “ 124,868 26.4.19~6.1 (39日間)	「日本の生物多様性とその保全」 “ 58,095 27.5.16~6.21 (32日間)
	「毛皮~フラットスキン標本となつたけものたち~」 “ 36,987 26.11.15~12.14 (26日間)	「豊橋周辺の第四紀化石」 “ 31,179 27.6.27~7.19 (20日間)
	「ダンボール・アニマルワールドinのんぱいパーク」 “ 27,010 26.11.21~11.30 (9日間)	「日本のトンボ・愛知県のトンボ」 “ 32,848 27.11.14~12.13 (26日間)
	「干支展 アンモーンの石」 “ 27,242 26.12.20~27.1.18 (23日間)	「干支展 サル」 “ 41,333 27.12.19~28.1.17 (23日間)
	「オニ」 “ 18,293 27.2.7~3.1 (20日間)	「ナキウサギ」 “ 36,087 28.2.6~3.6 (26日間)
「平成26年度の新標本、新発見」 “ 47,090 27.3.7~3.29 (20日間)	「新着資料展2015年度」 “ 55,122 28.3.12~3.31 (17日間)	
シ ン ポ ジ ウ ム 等	「東三河のジオパークへ向けて」 26.10.5 参加人員 74	「教員のための博物館の日2015in豊橋」 27.7.29 参加人員 484 「豊橋周辺の第四紀化石」 27.7.19 “ 60

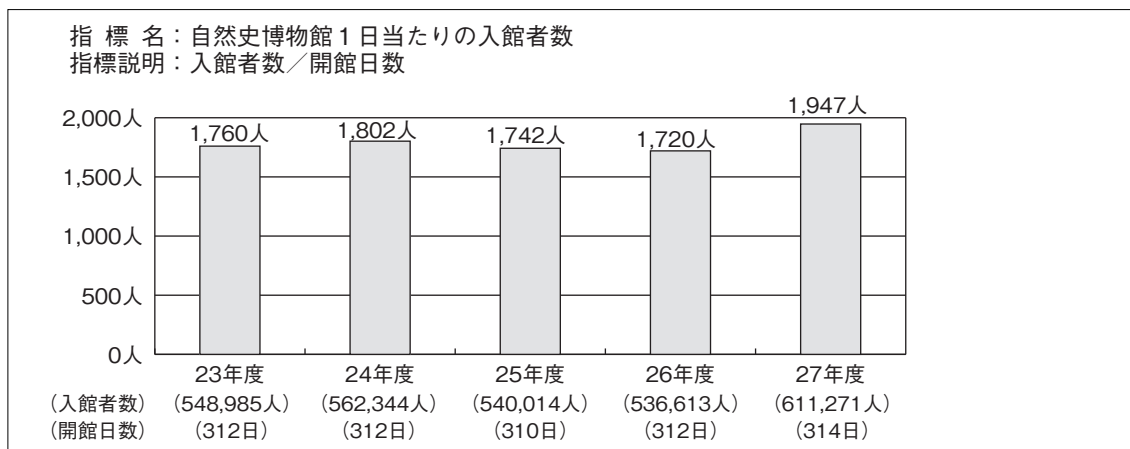
(3) 資料収集・調査研究活動事業費 3,518,400 円

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
博物館資料	購 入	—	—
	製作委託	鳥類・哺乳類の剥製骨格標本製作 33点	哺乳類等の剥製骨格標本製作 4点
	採集・寄贈	1,974点 (総数 504,816点)	21,642点 (総数 526,458点)
	図 書 等	1,185冊 (総数 38,988冊)	1,097冊 (総数 40,085冊)
研究発表(調査研究)		48件	61件

(4) 特別企画展開催事業費 8,577,272 円

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
特 別 企 画 展		「大地のめぐみとその魅力」	「天空を制した巨大翼竜と鳥たち」
		26.7.11～8.31 (46日間)	27.7.10～8.30 (46日間)
		展示数 470点 観覧者数13,138人	展示数 421点 観覧者数21,832人
関 連 行 事		1. ミッションをクリアして、宝石探しに挑戦! 参加人員 13,006人	1. ふわふわ鳥を作ろう 参加人員 21,380人
		2. 東三河のジオサイト かるた大会 〃 174	2. 鳥凧を作ってみよう! 〃 12
		3. 起震車による防災教室 〃 178	

[指 標]



2 自然史博物館整備事業費 125,254,528 円 (自然史博物館)

[総 括]

新生代展示室を一層魅力的な展示室にするため、改装に着手した。今後は、展示物製作を計画的に進め、利用者の利便性及び学習環境の向上に努める。

[実績及び成果]

(1) 自然史博物館整備事業費 125,254,528 円

内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	新生代展示室展示物実施設計委託等	新生代展示室展示物製作委託等

3 石巻自然科学資料館運営事業費 475,809 円（自然史博物館）

[総括]

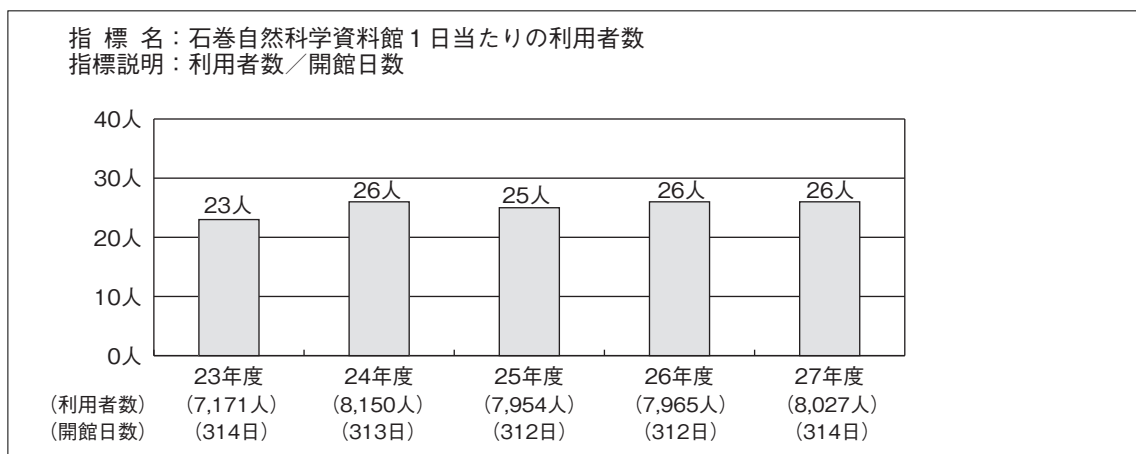
石巻山周辺のハイキングや自然を観察するためのビジターセンターとしての機能を果たしており、この地域で観察できる地質と動植物等を紹介している。また、「石巻山自然観察路マップ」を配布し、利用者の利便性の向上を図った。今後も広範囲な利用者の確保と施設のPR活動に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 石巻自然科学資料館運営事業費 475,809 円

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
開 館 日 数	312日	314日	0.6%
利 用 者 数	延 7,965人	延 8,027人	0.8

[指 標]



4 科学教育センター事業費 90,649,666 円（科学教育センター）

[総括]

視聴覚教育センター及び地下資源館の適正な管理運営に努めるとともに、視聴覚教育センターでは、わくわく体験活動での実験学習、プラネタリウム学習や展示学習による児童の科学能力の向上、さらに市民への学習教室（ワークショップ、ICT講座、ゆめたまご科学講座、星空観望会など）の充実、展示会として企画展「実験ショー パラダイス 2015」の開催、科学実験装置の製作・展示など、最先端の科学情報等の提供に努めた。地下資源館では、資源やエネルギーをはじめとした科学を楽しむことを目的に、市民への学習教室（おもしろサイエンスの日、ワークショップ、実験ショーなど）を開催するとともに、主に小中高校生を対象に、開館35周年を記念して2014年にノーベル物理学賞を受賞した天野浩先生による講演会やNHKのサイエンス番組に出演している「サイエンスガールズ」によるワークショップやライブショーなどを開催した。今後もサイエンス・ボランティアの協力を得ながら、子どもから大人まで楽しめる魅力ある行事を開催し、施設利用者の増加を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 視聴覚教育センター運営事業費 36,273,430 円

[利用状況]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
開 館 日 数	309日	311日	0.6%
入 館 者 数	延 96,234人	延 87,921人	△ 8.6

〔施設整備〕

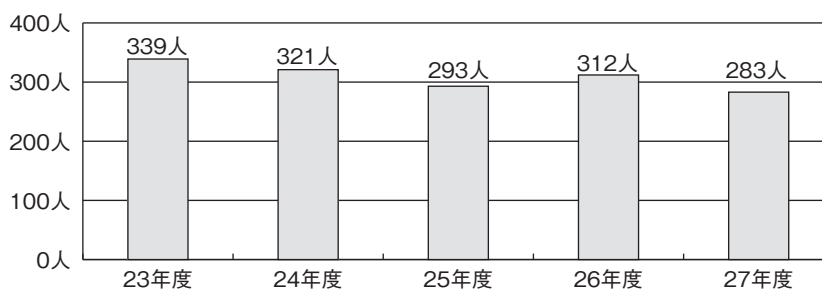
内 容	平成26年度	平成27年度
	トイレ改修工事等	

〔各種活動〕

区 分	平成26年度	平成27年度
わくわく体験活動(小学校4年生)	5月～10月 参加人員 3,268人	4月～11月 参加人員 3,280人
プラネタリウム投映	784回 観覧者数27,545	782回 観覧者数22,232
学 習 教 室	6月～3月(71回)参加人員 2,155	4月～3月(66回)参加人員 2,328
星 空 観 望 会	5月～2月(8) ♪ 1,009	4月～3月(8) ♪ 534
展 示 会	2回 入場者数41,273	1回 入場者数23,331

〔指 標〕

指 標 名：視聴覚教育センター1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



(2) 地下資源館運営事業費 17,551,604 円

〔施設整備〕

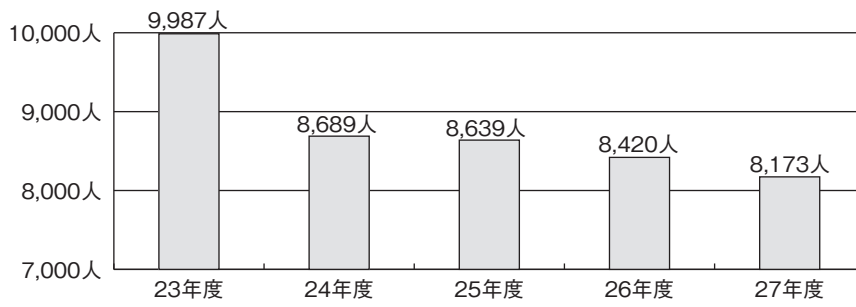
内 容	平成26年度	平成27年度
		—

〔各種活動〕

区 分	平成26年度	平成27年度
学 習 教 室	4月～3月(269回)参加人員8,420人	4月～3月(288回)参加人員 8,173人
巡 回 展	—	「太陽のふしぎ」 入場者数10,534 28.1.2～3.1.3 (63日間)
資源をくらしに生かす 創 意 工 夫 展	26.10.11～11.9 (26日間) 応募点数2,514点 入場者数14,395	27.10.10～11.8 (26日間) 応募点数3,285点 ♪ 14,582

[指 標]

指 標 名：実験・講座等参加者数
指 標 説 明：年間の実験・講座等参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
2項 小 学 校 費	1,822,195,602	131,471,104	418,300,000	7,806,939	1,264,617,559
1目 学 習 環 境 確 保 費 ＜豊かな学びの場としての学習環境の確保＞	1,822,195,602	131,471,104	418,300,000	7,806,939	1,264,617,559

1 小学校管理事業費 283,630,902円 (教育政策課)

[総括]

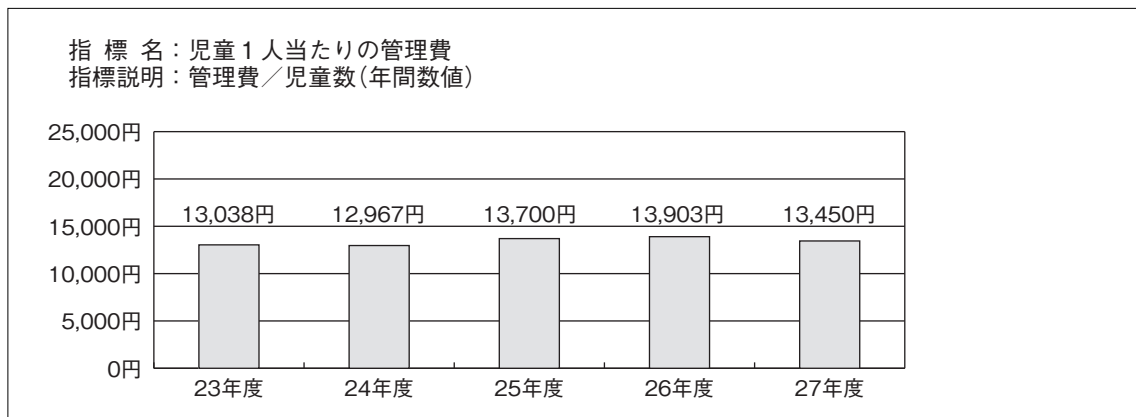
小学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算を導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 283,630,902円 (5月1日現在)

区 分	平成26年度	平成27年度
学 校 数	52校	52校
学 級 数	801学級	803学級
児 童 数	21,322人	21,088人

[指 標]



2 小学校教育推進事業費

294,309,904 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

開かれた学校づくりを推進するため、学校から地域社会への情報（教育目標、活動内容、行事日程など）発信を積極的に進めた。また、児童が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンの設置や、計画的に木の机・椅子及び図書閲覧用木製機の導入を行ったほか、新たに10校に対し、木製教壇の導入を行った。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

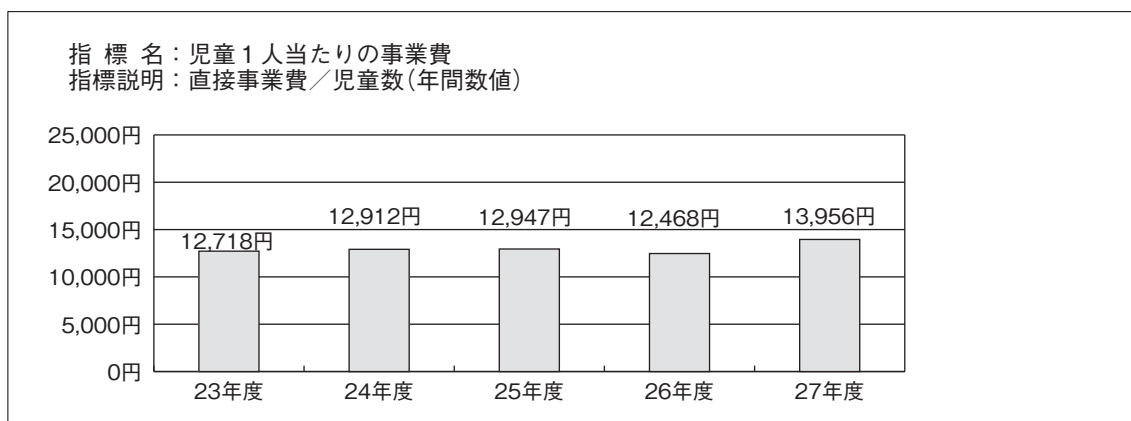
(1) 教育活動事業費 262,841,932 円

区 分	平成26年度	平成27年度
学校図書館蔵書数	434,594冊	448,455冊
学校新聞発行部数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 189,640部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 175,298部
学校評議員数	370人	393人
緑のカーテン設置数	52校	52校
木の机・椅子購入数	750組	50組
図書閲覧用木製機購入数	12台	96台
木製下駄箱購入数	52	76
木製教壇購入数	—	61

(2) 情報管理システム管理運営事業費 31,467,972 円

校務用コンピュータ費	平成26年度		平成27年度	
	1,216台	31,441,840円	1,214台	31,467,972円

[指標]



3 小学校校舎等増改築事業費 254,581,704 円（教育政策課）

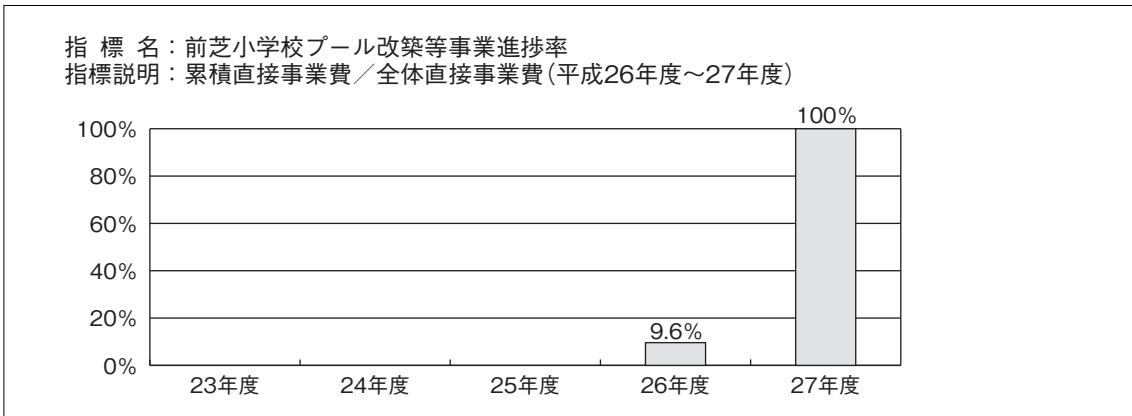
[総括]

施設隣接型の小中一貫校をめざし、前芝小学校のプールを小中兼用とするための改築工事等を実施した。また、高根小学校では、児童数増加に伴う学校施設の狭あい化及び施設老朽化に対応するための校舎等改築に向け、基本設計や用地取得等を行った。

[実績及び成果]

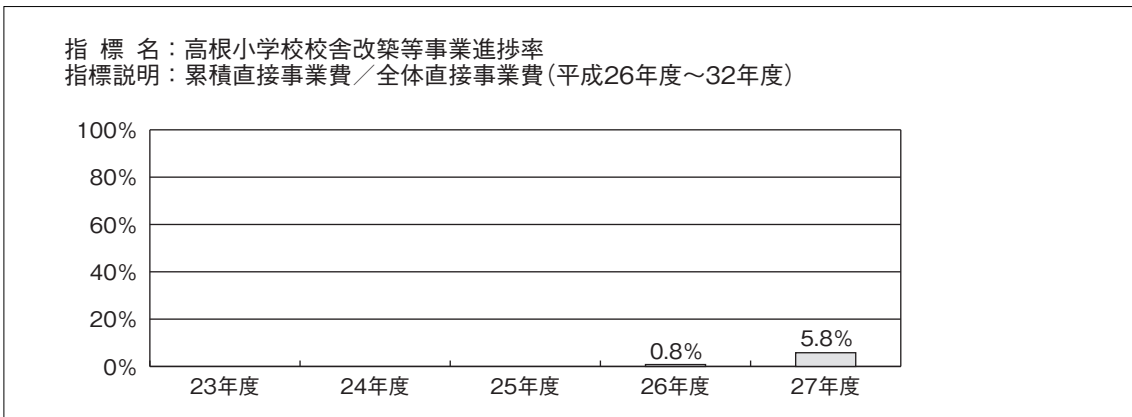
- (1) 前芝小学校プール改築等事業費 161,980,343 円
 - (ア) プール改築工事 25m・9コース 146,600,000 円
 - (イ) 小中連絡通路設置工事等 15,380,343 円

[指標]



- (2) 高根小学校校舎改築等事業費 92,601,361 円
 - (ア) 基本設計等 32,600,330 円
 - (イ) 用地取得費 60,001,031 円

[指標]



4 小学校校舎等大規模改造事業費 116,734,176 円（教育政策課）

[総括]

児童が安心して学習できる環境づくりのため、施設の耐久性を高める工事として、岩西小学校屋内運動場の改造を大規模かつ効率的に実施した。今後も施設の経年劣化への対応として、更新時期の平準化を考慮しながら効果的・効率的な維持管理に努めていく。

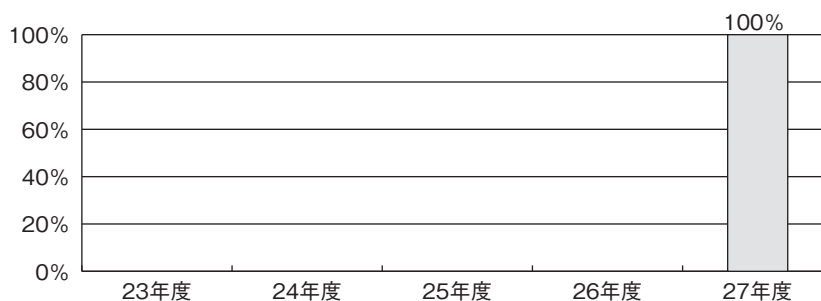
[実績及び成果]

(1) 岩西小学校屋内運動場改造事業費 116,734,176 円

内 容	区分・構造	延床面積	改造内容
	屋内運動場 鉄骨造2階建	839㎡	外・内部改修

[指標]

指標名：岩西小学校屋内運動場改造事業進捗率
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成27年度)



5 小学校環境整備事業費

484,544,257 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、16校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、15校で今後実施予定である校舎等の大規模改造工事の実施設計を行った。また、環境教育の教材として、向山小学校にペレットストーブを設置したほか、3校に大型木製遊具を整備した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

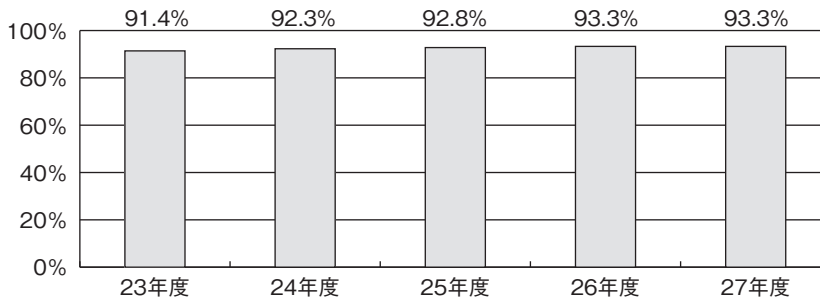
[実績及び成果]

区 分	平成26年度	平成 27 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	41校	38校	
非構造部材耐震対策工事 （外壁改修等）	11	16	岩田、東田、新川、下地、高師、磯辺、 大崎、植田、牛川、多米、栄、玉川、石巻、 細谷、二川、老津
トイレ改造工事	1	—	
大規模改造事業 実施設計	1	15	豊、東田、大村、津田、牟呂、吉田方、 幸、下条、天伯、大清水、前芝、玉川、 谷川、細谷、賀茂
ペレットストーブ設置	1	1	向山
防犯カメラ設置	—	4	八町、つつじが丘、旭、杉山
下水道切替工事等	34	23	八町、松山、下地、大村、津田、汐田、高師、中野、 磯辺、牛川、多米、岩西、飯村、栄、天伯、向山、 嵩山、石巻、小沢、二川、老津、杉山、賀茂
(2) 運動場等整備事業費	7	6	
大型木製遊具設置	—	3	幸、飯村、二川南
校庭芝生整備等	6	3	鷹丘、下条、西郷
(3) プール施設整備事業費	4	8	
プール槽防水工事等	4	8	岩田、羽根井、野依、岩西、旭、西郷、 谷川、小沢
(4) 一般補修事業費	52	52	全校

[指標]

指標名：小学校施設整備事業進捗率

指標説明：（耐震化進捗率＋強化ガラス化整備率＋校内LAN整備率＋トイレ改造整備率）／4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項 中 学 校 費	1,043,466,344	60,958,056	286,500,000	1,753,706	694,254,582
1目 学 習 環 境 確 保 費 ＜豊かな学びの場としての学習環境の確保＞	1,043,466,344	60,958,056	286,500,000	1,753,706	694,254,582

1 中学校管理事業費 201,714,750円 (教育政策課)

[総括]

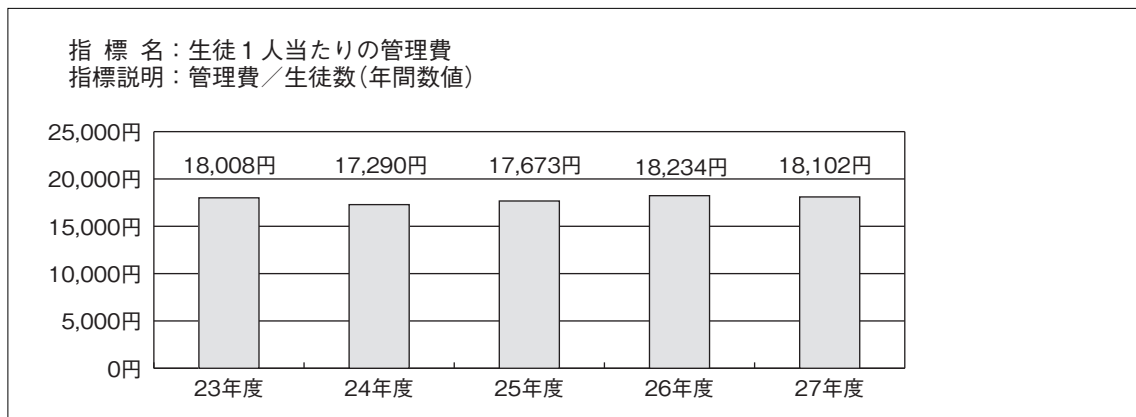
中学校の財産全般を適切に維持管理することにより、安全安心な学校づくりと良好な学習環境の確保を図った。今後も、各学校の自主自律と適切な学校経営を実現するため、学校配当予算を導入している総額裁量制予算の効率的な執行など、限られた予算の有効活用に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 管理事業費 201,714,750円 (5月1日現在)

区 分	平成26年度	平成27年度
学 校 数	22校	22校
学 級 数	370学級	368学級
生 徒 数	11,345人	11,143人

[指標]



2 中学校教育推進事業費 171,364,607 円（教育政策課・学校教育課）

[総括]

開かれた学校づくりを推進するため、学校から地域社会への情報（教育目標、活動内容、行事日程など）発信を積極的に進めた。また、生徒が環境問題に関心を持てるよう全校で緑のカーテンを設置した。今後も更なる教育環境の向上に努めていく。

[実績及び成果]

(1) 教育活動事業費 153,573,179 円

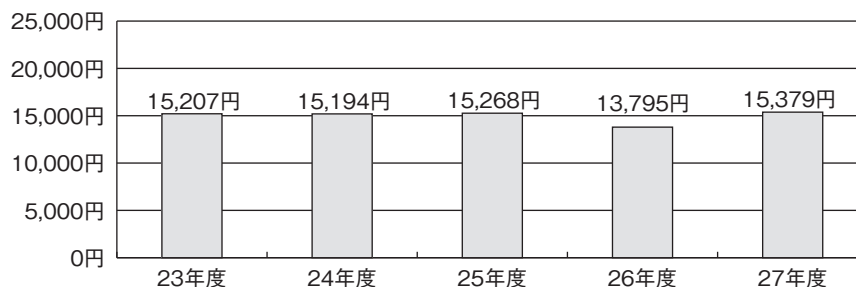
区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
学 校 図 書 館 蔵 書 数	308,566冊	314,009冊
学 校 新 聞 発 行 部 数	年2回以上(全世帯配布または回覧) 131,200部	年2回以上(全世帯配布または回覧) 118,976部
学 校 評 議 員 数	156人	157人
緑のカーテン設置数	22校	22校

(2) 情報管理システム管理運営事業費 17,791,428 円

校務用コンピュータ費	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
	758台	17,893,880円	731台	17,791,428円

[指 標]

指 標 名：生徒 1 人当たりの事業費
 指標説明：直接事業費／生徒数(年間数値)



3 中学校校舎等増改築事業費 165,018,773 円（教育政策課）

[総括]

前芝中学校は柔剣道場が整備されておらず、運動場の規模も小さく、多様化する教育に対応することが困難な状況であったため、平成 26 年度には、柔剣道場を併設した屋内運動場改築等を行い、27 年度は部室棟の改築と運動場の改修を行い本事業は完了した。

[実績及び成果]

(1) 前芝中学校屋内運動場改築等事業費 165,018,773 円

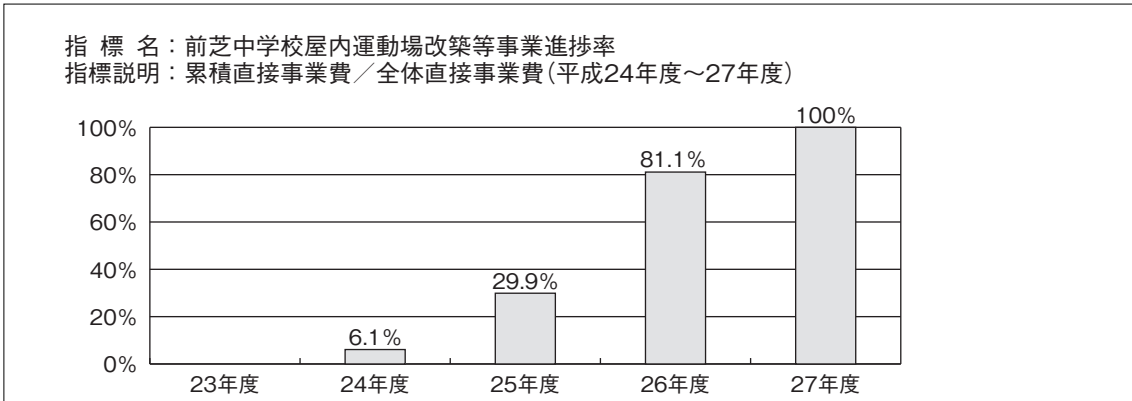
(ア) 部室棟改築工事 42,120,000 円

内 容	区分・構造	延床面積
		部室棟 鉄筋コンクリート造 2 階建

(イ) 運動場改修工事 73,915,200 円

(ウ) プール解体工事等 48,983,573 円

[指 標]



※平成 27 年度の全体事業費にて、24 年度から再算定

4 中学校環境整備事業費

343,613,365 円（教育政策課）

[総括]

各学校施設の経年劣化や不良箇所に対応するため、11校で非構造部材耐震対策工事（外壁改修等）を実施したほか、南部中学校で今後実施予定である校舎等の大規模改造工事の実施設計を行った。また、前芝中学校に防犯カメラを設置し、防犯対策を強化した。今後も計画的に環境整備を行い、学校施設の維持保全に努めていく。

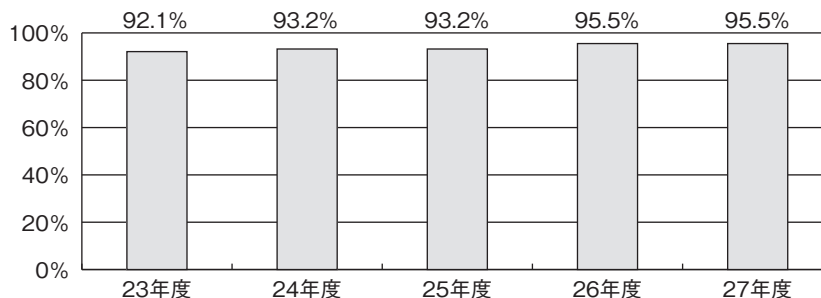
[実績及び成果]

区 分	平成26年度	平成 27 年 度	
		規模等	学 校 名
(1) 校舎等改修事業費	15校	17校	
非構造部材耐震対策工事 (外壁改修等)	3	11	豊岡、豊城、東陵、牟呂、吉田方、高師台、南稜、北部、石巻、二川、高豊
大規模改造事業実施設計	—	1	南部
防犯カメラ設置	—	1	前芝
トイレ改造工事	2	—	
雨水ろ過装置改修工事等	11	8	東部、東陽、牟呂、南部、高師台、本郷、南稜、五並
(2) プール施設整備事業費	1	5	東部、東陽、豊城、南部、章南
(3) 一般補修事業費	22	22	全校

[指標]

指標名：中学校施設整備事業進捗率

指標説明：(耐震化進捗率+強化ガラス化整備率+校内LAN整備率+トイレ改造整備率)÷4



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4項 社会教育費	2,232,002,650	117,994,000	423,000,000	218,601,064	1,472,407,586
2目 生涯学習活動費 <生涯学習活動の促進>	8,387,302	0	0	2,532,000	5,855,302

1 生涯学習推進事業費 8,387,302円 (生涯学習課)

[総括]

生涯学習に関する政策の方向性を明らかにするため、平成23年度から10年間の計画期間で策定した「生涯学習推進計画」の中間見直しを行った。また、多様化する市民の学習ニーズに対応するため、引き続き市内3大学や東三河市町と連携した講座を開催するとともに、地域の課題解決に向け、防災や地域をより深く知るための講座を開催した。さらに大清水まなび交流館開館記念イベント等を実施したほか、地域の教育力向上により教育活動の活性化を図るため、地域教育リーダー養成事業を実施し、指導的役割を担う人材の育成を図った。今後も多彩な学習機会の提供に向けた取組みを図っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習市民大学事業費 6,902,278円

区 分	平成26年度			平成27年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
一般コース	70	2,351人	401回	83	2,233人	451回	地区市民館ほか
高齢者コース	22	2,111	152	23	1,833	163	〃

(2) 生涯学習啓発事業費 418,000円

(ア) 生涯学習情報紙発行事業費 418,000円

発行部数	平成26年度	平成27年度
		年2回 (公共施設等配布) 延 20,000部

(3) 生涯学習活動事業費 1,067,024円

(ア) 大清水まなび交流館開館記念イベントの開催 223,960円

参加者	平成26年度	平成27年度
	—	115人

(イ) 大清水まなび交流館活動発表等 89,680円

参加者	平成26年度	平成27年度
	—	700人

(ウ) 生涯学習活動推進大会開催費補助金 374,372円

補助金	平成26年度	平成27年度
	437,870円	374,372円

(エ) 生涯学習サポートボランティア事業費 9,500円

地区市民館生涯学習サポートボランティア活動回数	平成26年度	平成27年度
	28回	19回

(オ) 地域教育リーダー養成事業費 85,605 円

実施内容・回数	平成26年度	平成27年度
	講演会等 10回	講演会等 4回

(カ) 企業内生涯学習活動事業費 0 円

実施企業数・回数	平成26年度	平成27年度
	4企業 5回	1企業 1回

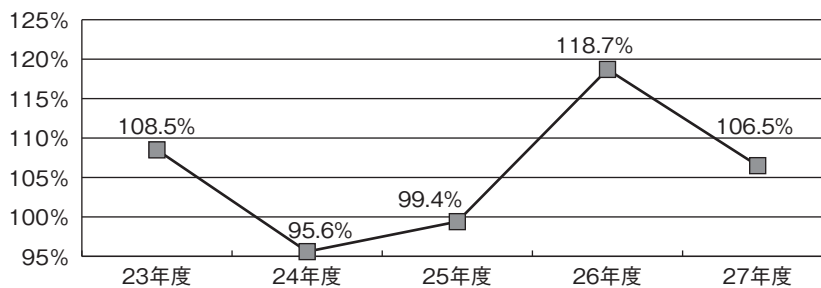
(キ) 生涯学習フェスティバル開催事業費 23,743 円

実施内容・講座数	平成26年度	平成27年度
	体験講座 5講座	体験講座 6講座

(ク) 生涯学習推進計画中間見直し 260,164 円

[指標]

指標名：生涯学習市民大学定員充足率
 指標説明：参加者数／募集定員



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 家庭教育等推進費 ＜家庭教育・地域教育の推進＞	16,517,981	1,107,000	0	259,650	15,151,331

1 家庭教育事業費 3,229,498 円 (生涯学習課)

[総括]

家庭教育に関する学習支援を充実させるため、家庭教育講座を実施するとともに、学校、地域と連携した子育て学習講座等を開催した。今後も学校や家庭、地域の連携を図り、地域ぐるみで子どもを育てる活動を支援するなど、効果的な家庭教育を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 家庭教育講座事業費 301,998 円

区 分	平成26年度			平成27年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
家庭教育講座	5	97人	25回	6	40人	26回	地区市民館

(2) 子育て学習講座事業費 2,927,500 円

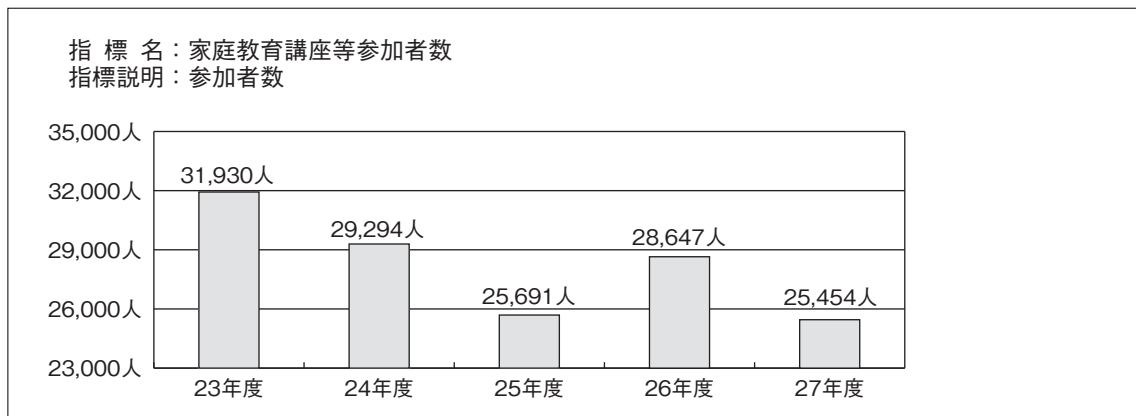
(ア) 講座開催事業費 340,000 円

区 分	平成26年度			平成27年度			
	事業数	参加者	回数	事業数	参加者	回数	開催場所
子育て学習講座	45	3,293人	45回	45	3,290人	45回	小学校
思春期家庭教育講座	4	1,441	4	1	600	1	豊岡中学校

(イ) 地域いきいき子育て促進事業費 2,587,500 円

内 容	平成26年度			平成27年度			
	事業数	延参加者	回数	事業数	延参加者	回数	開催場所
地域いきいき子育て促進事業	52	22,074人	671回	52	21,524人	731回	校区市民館ほか

[指標]



※平成26年度までは、幼児ふれあい教室及びパパママ子育て講座の参加者数含む

2 地域教育推進事業費

5,352,700 円（生涯学習課）

[総括]

子どもから大人までが参加できる特色のある講座を地域で開催することにより、地域コミュニティの連帯感を育み、社会教育の充実を図った。今後も地域の意向に沿った事業を展開することにより、社会教育を通じたコミュニティ活動の推進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 生涯学習推進セミナー事業費 315,800 円

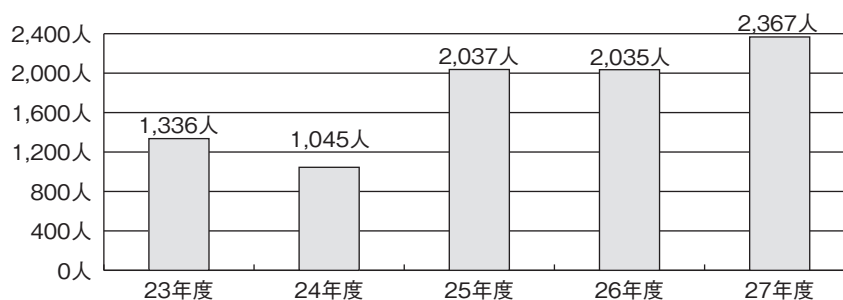
内 容	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		
	延参加者	回 数	延参加者	回 数	開催場所
生涯学習推進セミナー	2,035人	31回	2,367人	28回	校区市民館ほか

(2) 成人式開催事業費 5,036,900 円

内 容	平成 2 6 年度			平成 2 7 年度			
	校 区	参加者	開催か所	校 区	参加者	開催か所	開催場所
成 人 式	51	3,730人	46か所	51	3,819人	46か所	小学校体育館ほか

[指 標]

指 標 名：生涯学習推進セミナー参加者数
 指標説明： /



3 子ども・若者交流活動促進事業費 550,713 円（生涯学習課）

[総括]

親子や家族の交流、自然体験活動の充実を図るため、「自然体験プログラム遊びイベント21」を実施した。また、同年代の子ども同士の交流、防災・自然環境学習を目的として、青少年センターや自然史博物館等と連携した「くろしおチャレンジプログラム」を実施した。今後も青少年の体験活動機会を充実し、交流活動の促進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 交流体験学習活動費 459,588 円

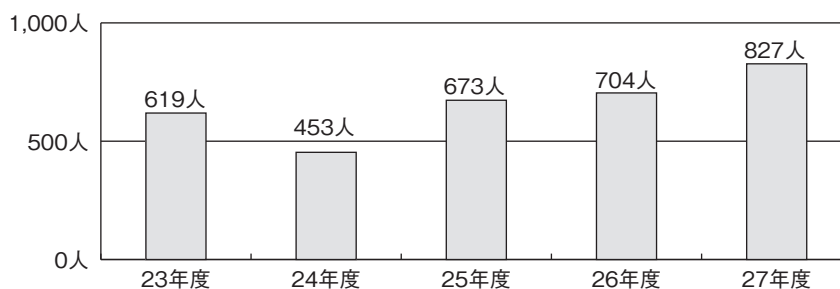
内 容	平成26年度		平成27年度		
	回 数	参加者	回 数	参加者	開催場所
自然体験プログラム遊びイベント21	21回	623人	21回	733人	少年自然の家
くろしおチャレンジプログラム	3	81	4	94	野外教育センター

(2) 青少年指導者養成派遣事業費 91,125 円

区 分	平成26年度		平成27年度		
	回 数	参加(派遣)者	回 数	参加(派遣)者	開催場所
キャンプ指導員養成講座	1回	6人	3回	8人	少年自然の家
キャンプ指導員派遣事業	1	1	0	0	〃

[指 標]

指 標 名：子ども・若者交流活動促進事業への参加者数
 指標説明：参加者数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 生涯学習等施設費 ＜生涯学習・社会教育施設の充実＞	243,820,303	0	0	25,474,046	218,346,257

1 地区市民館管理運営事業費 243,820,303円 (生涯学習課)

[総括]

市民の生涯学習施設として利用されている地区市民館を指定管理者とともに適切に管理・運営し、利用促進に努めた。また、施設及び周辺の防犯対策のため、南稜地区市民館に続き全21館に防犯カメラを設置した。今後も市民ニーズを把握しながら施設や設備等の充実を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 地区市民館管理運営事業費 (22館) 243,820,303円

[利用状況]

区 分	平成26年度			平成27年度			比 較 (延利用人員) %
	延件数 件	延利用人員 人	延図書貸出 冊	延件数 件	延利用人員 人	延図書貸出 冊	
二川地区市民館	2,108	76,373	44,870	2,030	75,989	48,436	△ 0.5
豊岡 〃	1,404	31,244	3,015	1,365	31,053	2,507	△ 0.6
東陽 〃	1,583	40,908	5,010	1,604	44,179	5,196	8.0
南稜 〃	—	—	—	1,463	33,386	—	皆増
青陵 〃	2,241	79,035	52,480	2,212	80,853	52,444	2.3
杉山 〃	933	22,180	1,158	1,115	25,529	1,130	15.1
石巻 〃	1,558	52,734	20,101	1,549	54,669	21,162	3.7
羽根井 〃	1,810	30,119	639	1,798	29,639	518	△ 1.6
吉田方 〃	1,571	26,356	595	1,471	25,790	635	△ 2.1
五並 〃	523	16,947	1,092	548	15,606	1,002	△ 7.9
牟呂 〃	1,626	57,691	11,530	1,550	56,748	10,923	△ 1.6
高豊 〃	741	18,188	676	688	15,739	424	△13.5
北部 〃	1,684	33,501	7,153	1,693	34,184	8,000	2.0
南部 〃	1,867	60,687	32,612	1,772	64,105	28,831	5.6
豊城 〃	1,824	45,660	2,274	1,912	47,766	1,893	4.6
中部 〃	1,487	30,649	1,209	1,387	31,855	1,544	3.9
高師台 〃	1,725	39,684	2,691	1,737	40,231	2,758	1.4
東部 〃	1,278	31,547	1,716	1,296	32,864	1,372	4.2
東部地区市民館飯村分館	3,570	73,677	2,450	3,731	77,498	2,169	5.2
南陽地区市民館	1,548	28,825	980	1,641	26,439	1,309	△ 8.3
本郷 〃	1,217	30,156	1,655	1,262	30,266	1,247	0.4
東陵 〃	1,642	56,790	3,093	1,703	55,834	3,743	△ 1.7
計	33,940	882,951	196,999	35,527	930,222	197,243	5.4

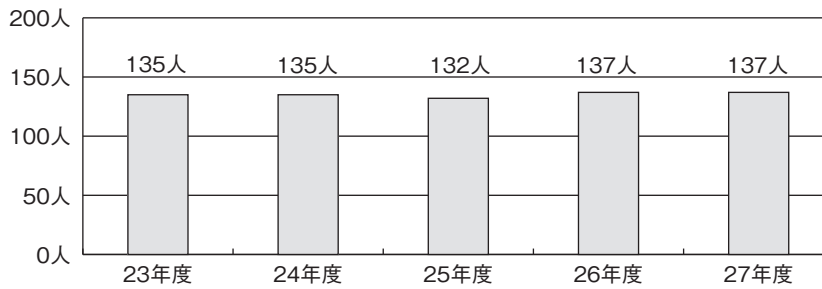
※南稜地区市民館は施設の建替えに伴い平成26年度は休館

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	解体工事(前芝) 施設案内看板撤去工事(前芝) 冷暖房機設置(高豊、高師台)	

〔指 標〕

指 標 名：地区市民館1館1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／(開館日数×地区市民館数)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5目 図書館費 < 図書館の充実 >	478,846,321	0	0	1,934,474	476,911,847

1 中央図書館事業費 345,462,031 円 (図書館)

[総括]

データベースや Web 資料など電子化された情報資源活用のために、国立国会図書館のデジタル送信サービスやタブレット端末の導入により、紙と電子媒体による図書館サービスのハイブリッド化を推進した。また、新たに音楽 CD の貸出しを開始し、利用者サービスの向上に努めたほか、「食道楽豊橋版」の刊行及び関連イベントの開催により、郷土作家の偉業を広く市民に紹介し、郷土資料に対する愛着や誇りの醸成に取り組んだ。さらに、図書館基本構想策定に向け基本的な考え方をまとめたほか、「第3次子ども読書活動推進計画」を策定した。今後も貴重な資料や有益な図書の収集に努めるとともに、多様化・高度化する図書館へのニーズに対応するため、適切なサービスの提供や環境の整備に努める。

[実績及び成果]

[利用状況等]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
開 館 日 数	288日	291日	1.0%
入 館 者 数	延 399,735人	延 386,698人	△ 3.3
館 外 貸 出 人 数	延 205,968	延 204,191	△ 0.9
館 外 貸 出 冊 数	延 1,060,172冊	延 992,213冊	△ 6.4
館外貸出人数(CD)	—	延 5,418人	皆増
館外貸出点数(CD)	—	延 10,066点	皆増
蔵 書 冊 数	660,850冊	665,574冊	0.7
() 内は司文庫で再掲	(34,362)	(34,459)	(0.3)
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	7,398枚	6,298点	—

[資料購入状況]

区 分	内 容	平成26年度	平成27年度	比 較
図 書	一 般	7,515冊	7,893冊	5.0%
	児 童	3,507	2,601	△25.8
	参 考	312	376	20.5
	郷 土	104	121	16.3
	計	11,438	10,991	△ 3.9
逐次刊行物	雑 誌 等	239種	243種	1.7
	新 聞	22	22	0.0
	追 録	8	8	0.0
視聴覚資料	C D、 D V D 等	62枚	52点	—

- (1) 施設管理費 26,182,717 円
(2) 児童図書業務費 12,260,526 円
(ア) 第3次子ども読書活動推進計画の策定 1,165,320 円
(3) 一般図書業務費 41,341,570 円
(ア) 図書館基本構想の策定 1,519,560 円

- (4) レファレンス業務費 3,250,551 円
 (5) 郷土・司文庫等図書業務費 2,771,280 円
 (ア) 司文庫図書等購入費 754,332 円

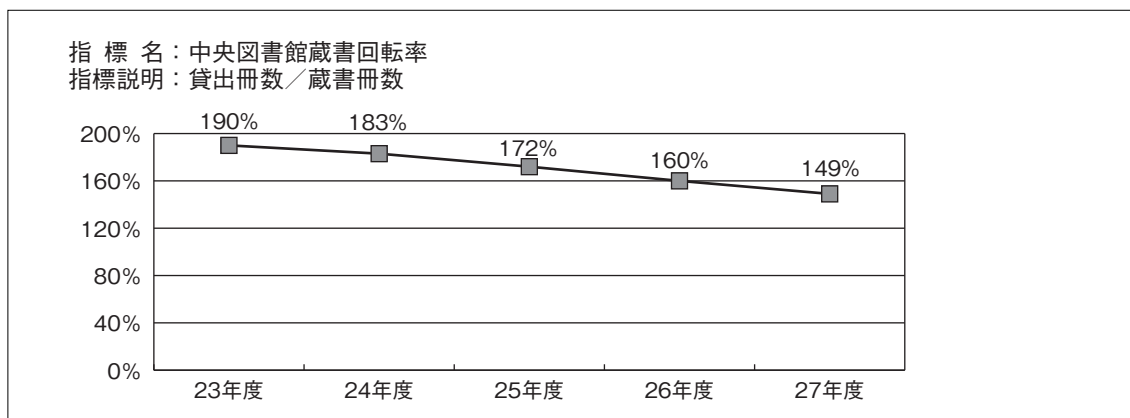
区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
図 書 購 入	120冊	97冊	△19.2%

- (イ) 和装本整備事業費 566,049 円
 (6) AV・CD電子図書業務費 1,813,443 円
 (7) 行事開催業務費 10,994,864 円

区 分	平成26年度		平成27年度	
資 料 展 覧 (司文庫展、「平和を求めて」展等)	8回	延 13,888人	8回	延 17,012人
資 料 展 関 連 行 事	—		9回	延 752
市 民 向 け 講 座	7講座	延 330	6講座	延 365
ボランティア等育成講座、研修	7講座	延 405	7講座	延 376
講 演 会 、 コ ン サ ー ト	5回	延 416	1回	延 180
映 画 上 映 会	3回	延 217	5回	延 259
図 書 館 子 ども フェ スタ	4～5月	延 419	4～5月	延 1,329
夏休み子どもフェスティバル	7月	延 286	7月	延 253
図 書 館 ま つ り	12月(2日間)	延 5,100	12月(1日間)	延 3,699
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート)	48回	配付数 3,258セット (絵本、絵本袋)	48回	配付数 3,340セット (絵本、絵本袋)
初めての絵本との出会い事業 (豊橋版ブックスタート) 赤ちゃん広場	35回	延 4,289人	36回	延 2,968人
お は な し の へ や	444回	延 7,888	439回	延 7,370
図 書 館 へ 行 こ う	10校	延 623	9校	延 448
調 べ 学 習 コ ン ク ー ル	27校	延 319	24校	延 307
村 井 弦 斎 関 連 行 事	13回	延 800	(資料展関連行事に含む)	

- (8) カウンター窓口業務費 20,408,428 円

[指 標]



2 向山図書館事業費

39,927,732 円（図書館）

[総括]

市民がより身近で図書館サービスを利用できるよう、ネットワーク館（図書館システム設置分室）と連携した配本業務に努めた。また、利用者が興味を引くテーマごとに選書したセット本を循環させる図書交換業務を充実させ、市民館での図書室利用促進を図った。さらに、平成27年度から名称を配本センターから「向山図書館」とすることで、配本機能に加え図書館機能の充実をPRした。今後もネットワーク館の拡大など、広範な市域の利用者への充実した読書環境の提供に努める。

[実績及び成果]

[利用状況等]

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
開 館 日 数		288日	291日	1.0%
入 館 者 数		延 150,479人	延 149,856人	△ 0.4
館外貸出人数	向 山 図 書 館	延 73,295	延 73,550	0.3
	分 室	延 88,652	延 85,906	△ 3.1
	計	161,947	159,456	△ 1.5
館外貸出冊数	向 山 図 書 館	延 338,917冊	延 323,382冊	△ 4.6
	分 室	延 295,753	延 287,983	△ 2.6
	計	634,670	611,365	△ 3.7
蔵 書 冊 数		272,411	267,349	△ 1.9

[資料購入状況]

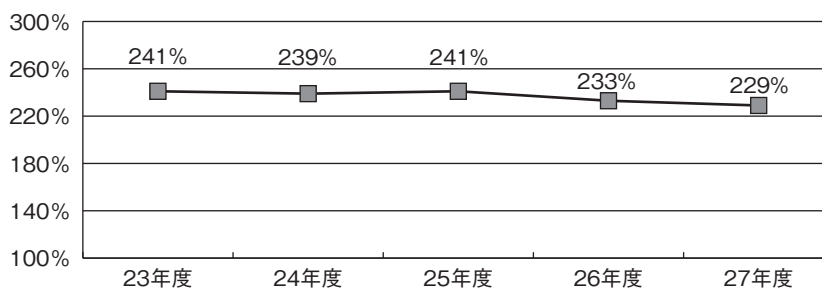
区 分	内 容	平成26年度	平成27年度	比 較
図 書	一 般	5,438冊	4,744冊	△12.8%
	児 童	2,762	3,509	27.0
	参 考	1	3	3.0倍
	郷 土	3	9	3.0倍
	計	8,204	8,265	0.7%
逐次刊行物	雑 誌	51種	49種	△ 3.9
	新 聞	10	10	0.0

(1) 配本業務費 35,598,987 円

(2) カウンター窓口業務費 4,328,745 円

[指 標]

指 標 名：向山図書館・分室蔵書回転率
 指標説明：貸出冊数／蔵書冊数



3 大清水図書館事業費

46,267,357 円（図書館）

〔総括〕

複合施設として整備を進めてきた大清水まなび交流館が、平成 27 年 4 月に全施設開館により本格的に運用を開始し、大清水図書館は市民館や窓口センターと連携し、地域の住民に充実した図書館サービスを提供した。

また、複合施設であることを活かし、より多くの住民が図書に触れ、親しむためのきっかけになるようなイベントを行い、地域・市民の読書活動推進を図った。

〔実績及び成果〕

〔利用状況等〕

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
開 館 日 数	—	288日
入 館 者 数	—	延 278,792人
館 外 貸 出 人 数	—	延 60,052
館 外 貸 出 冊 数	—	延 288,719冊
館外貸出人数（C D）	—	延 476人
館外貸出点数（C D）	—	延 786点
蔵 書 冊 数	—	55,808冊
視 聴 覚 資 料 所 蔵 数	—	319点

〔資料購入状況〕

区 分	内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
図 書	一 般	—	4,184冊
	児 童	—	1,271
	参 考	—	15
	郷 土	—	18
	計	—	5,488
逐次刊行物	雑 誌 等	—	130種
	新 聞	—	10
視聴覚資料	C D、D V D 等	—	77点

(1) 施設管理費 5,788,210 円

(2) 図書業務費 15,263,696 円

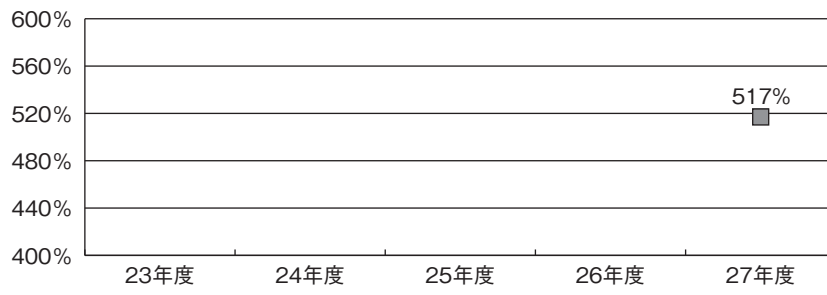
(3) 行事開催業務費 370,311 円

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
開 館 記 念 イ ベ ン ト	—	3回 延 283人
市 民 向 け 講 座	—	1回 延 39
講 演 会	—	1回 延 105
ミ ナ ク ル ま つ り	—	11月(1日間) 延 257
お は な し の へ や	—	46回 延 1,182

(4) カウンター窓口業務費 24,845,140 円

[指 標]

指 標 名：大清水図書館蔵書回転率
指標説明：貸出冊数／蔵書冊数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6目 子ども・若者施設費 <子ども・若者の育成施設の充実>	100,109,810	0	0	2,330,726	97,779,084

1 青少年教育施設管理運営事業費 100,109,810 円 (生涯学習課)

[総括]

利用者の安全性向上を図るため、青少年センターの高圧受変電設備、非常用発電装置等の修繕を行った。また、指定管理者による適正な管理・運営を行うとともに、出張形式の防災啓発事業など指定管理者のノウハウを活かした自主事業を実施した。少年自然の家と野外教育センターでは施設の一体運営管理の推進により効率化に努めるとともに、利用促進を図った。引き続き、青少年団体の活動拠点として、施設の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 青少年センター管理運営事業費 58,098,700 円

[利用状況]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
遊 戯 室	延 1,756人	延 1,974人	12.4%
展 示 室	延 2,396	延 2,532	5.7
研 修 棟	延 10,298	延 12,157	18.1
宿 泊 棟	延 810	延 954	17.8
運 動 広 場	延 5,739	延 4,183	△27.1
体 育 室	延 14,625	延 15,388	5.2
音 楽 室	延 4,213	延 4,979	18.2
大 研 修 室	延 6,646	延 7,932	19.3
そ の 他	延 12,506	延 10,630	△15.0
計	58,989	60,729	2.9

[施設整備]

内 容	平成26年度	平成27年度
		—

(2) 少年自然の家管理運営事業費 12,747,178 円

[利用状況]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
管 理 棟 (日帰り)	延 5,382人	延 6,026人	12.0%
宿 泊 棟	延 3,243	延 3,793	17.0
キ ャ ン プ 場	延 652	延 373	△42.8
計	9,277	10,192	9.9

(3) 野外教育センター管理運営事業費 14,372,470 円

〔利用状況〕

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
本 館（日 帰 り）	延 5,142人	延 5,919人	15.1%
宿 泊 室	延 5,440	延 5,791	6.5
計	10,582	11,710	10.7

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	—	本館給湯設備改修工事

(4) 神田ふれあいセンター管理運営事業費 3,335,462 円

〔利用状況〕

内 容	平成26年度	平成27年度	比 較
利 用 者 数	延 2,972人	延 3,287人	10.6%

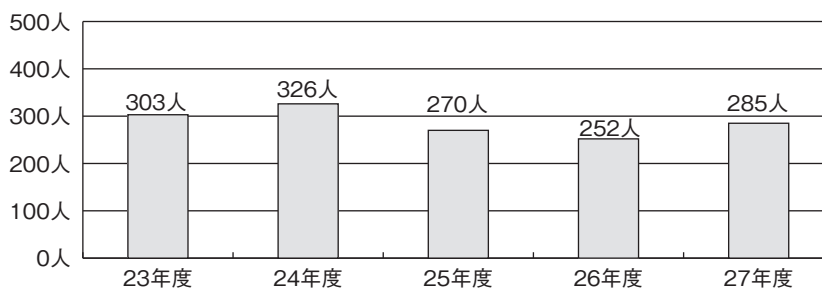
(5) 江比間野外活動センター管理負担金 11,556,000 円

〔利用状況〕

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
宿 泊 利 用	延 1,971人	延 2,049人	4.0%
日 帰 研 修	延 4,433	延 5,144	16.0
キ ャ ン プ 利 用	延 965	延 921	△ 4.6
内 豊 橋 市 利 用 人 数	延 1,078	延 1,669	54.8

〔指 標〕

指 標 名：青少年教育施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
7目 美術博物館費 <美術博物館の充実>	839,590,903	0	423,000,000	74,885,171	341,705,732

1 美術博物館事業費 241,139,793 円 (美術博物館)

[総括]

美術博物館が収蔵する資料を公開した「『新』収蔵品展」、郷土の美術、歴史を紹介した「豊橋美術展」及び「『軍隊と豊橋』展」、また、著名な画家の作品を紹介した「岡本太郎と中村正義『東京展』」及び「生誕120年 武井武雄の世界展」、子どもから大人まで楽しめる「模型の魅力展－タミヤとファインモールドー」など、多彩な展覧会を開催し集客を図った。さらに、展覧会に合わせて講演会やワークショップ等を開催した。今後も市民に幅広く受け入れられる企画展や講座等の開催に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 47,314,226 円

[利用状況]

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較
開 館 日 数	309日		285日		△ 7.8%
企 画 展	10件	延 78,251人	10件	延 68,224人	△12.8
共 催 展	5	延 13,802	6	延 12,439	△ 9.9
一 般 展	77	延 92,352	69	延 74,728	△19.1
公 開 講 座 等	56	延 5,569	33	延 9,209	65.4
計	189,974		164,600		△13.4

(2) 展覧会事業費 51,017,842 円

(ア) 展覧会開催事業費 47,818,502 円

平成 26 年度		平成 27 年度		入場者数 比較
展覧会名	延入場者数	展覧会名	延入場者数	
豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	3,950人	豊橋市美術博物館 「新」収蔵品展	4,308人	9.1%
第 36 回 豊 橋 美 術 展	3,621	第 37 回 豊 橋 美 術 展	3,945	8.9
第 64 回 豊 橋 市 民 展	2,906	第 65 回 豊 橋 市 民 展	3,530	21.5
開館 35 周年記念 安野光雅「旅の絵本」の世界展	10,927 (1回 78人)	岡本太郎と中村正義「東京展」	10,113 (1回 80人)	—
豊橋の金工展	3,686 (1回 40人)	「軍隊と豊橋」展	4,844 (1回104人)	—
ジョルジュ・ルオー展	7,566 (1回 87人)	生誕120年 武井武雄の世界 展	5,310 (2回 50人)	—
開館 35 周年記念 ウツワ美術館所蔵「近代日本の絵画名品展」	9,790 (2回 79人)	模型の魅力展 —タミヤとファインモールド—	13,607 (1回141人)	—
小松コレクション 「中村正義展」	7,749 (1回 38人)	収蔵品展 color rooms	4,213	—
第 6 回 トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展	4,456	大般若経展	3,685 (2回130人)	—
常 設 展	23,600	常 設 展	14,669	△37.8
延439日	78,251 (6回 322人)	延396日	68,224 (7回 505人)	△12.8

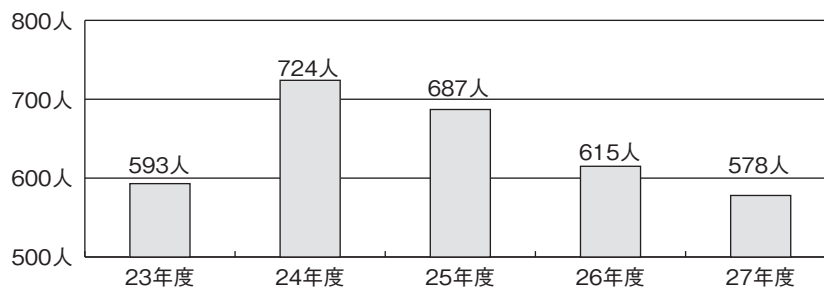
※ () は記念講演会等の開催回数及び参加人数で外書き

(3) 資料収集事業費 9,968,070 円

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度
美 術 資 料	清水登之作 洋画 「紐育イースト・サイドの人々」等 12点	戸谷成雄作 彫刻 「(森)シリーズ湿地帯」等 3点
歴 史 資 料	「三河国渥美郡吉田宿地 六町文書」等 8件	「工女約定証綴」等 6件

[指 標]

指 標 名：美術博物館 1 日当たりの利用者数
指 標 説 明：利用者数／開館日数



2 民俗資料収蔵室運営事業費 4,146,774 円（美術博物館）

〔総括〕

民俗資料収蔵室として活用する旧多米小学校は、昭和 19 年に建てられた市内に残る唯一の木造校舎で、当時のたたずまいを思い起こさせる歴史的な価値を備えており、民俗資料を活用した小学生の体験教室にも利用されている。また、映画「早咲きの花」のロケ地として使用されたことをきっかけとして、当時の教室の様子を再現している。今後、将来に向けての保存及び活用方法を検討し、利用者の拡大を図る。

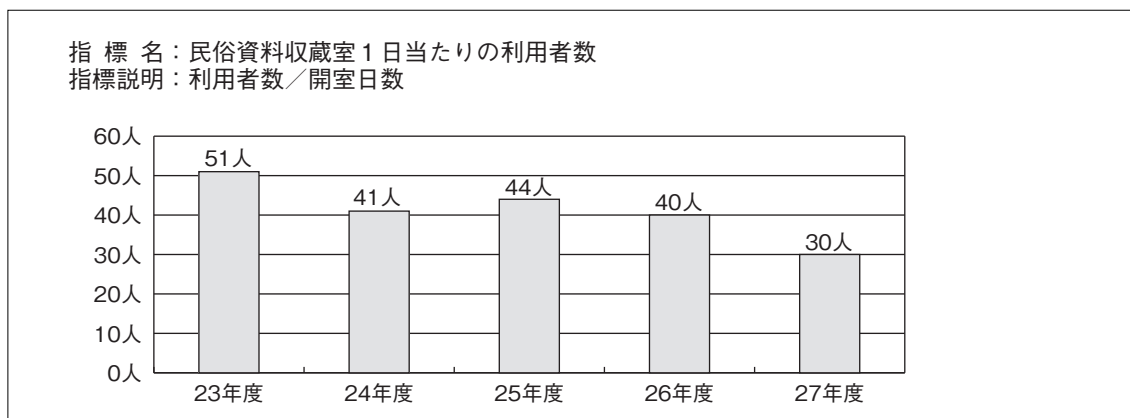
〔実績及び成果〕

(1) 民俗資料収蔵室運営事業費 4,146,774 円

〔利用状況〕

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
開 室 日 数	152日	164日	7.9%
延 入 室 者 数	6,091人	4,955人	△18.7

〔指 標〕



3 美術博物館収蔵庫等整備事業費 589,585,280 円（美術博物館）

〔総括〕

美術博物館の美術・歴史資料の適切な保管・活用に必要な収蔵庫及び展示室を増築するため、平成 26 年度から 2 か年で実施した建設工事が完了した。今後、平成 28 年 10 月の供用開始に向けて整備を進め、施設の機能充実と利用者の利便性及び鑑賞環境の向上に努める。

〔実績及び成果〕

(ア) 収蔵庫等建設工事 589,529,840 円
 2 か年継続事業の最終年度 総事業費 913,028,760 円

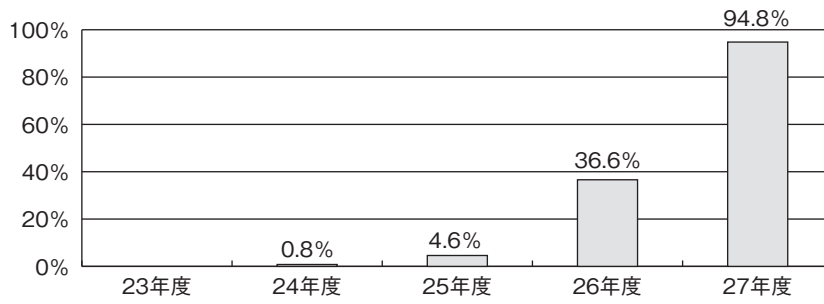
構 造	鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び一部鉄骨造 平家建一部2階建
内 容	収蔵庫、展示室、機械室等
延 床 面 積	1,543㎡

(イ) 収蔵庫等整備事務費 55,440 円

[指 標]

指 標 名：美術博物館収蔵庫等整備事業進捗率

指標説明：実施事業費／総事業費(平成24年度～平成28年度)



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
8目 文化財保護費 <文化財保護活動の推進>	297,545,010	116,887,000	0	97,203,489	83,454,521

1 文化財保護事業費 297,545,010円 (美術博物館)

[総括]

市内に所在する埋蔵文化財の発掘調査や指定・登録文化財に関する各種調査、指定文化財の修理費に対する助成や普及・活用のための事業を行った。また、文化財センターを活用した展示や講座の開催、国史跡瓜郷遺跡の土地買い上げを進めた。今後も年ごとの発掘調査事業や指定文化財の修理に適切に対応し、文化財保護活動を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 文化財調査事業費 287,637,007円

(ア) 市内遺跡発掘調査

内 容	平成26年度	平成27年度
	見丁塚遺跡の緊急発掘調査及び高師石塚古墳・普門寺旧境内の確認調査	

(イ) 史跡瓜郷遺跡公園整備 用地購入費

内 容	平成26年度	平成27年度
	史跡瓜郷遺跡の指定地内の土地購入手続き	

(ウ) 牛川西部地区緊急発掘調査

内 容	平成26年度	平成27年度
	西側遺跡・眼鏡下池北遺跡の発掘調査	

(エ) 牟呂坂津地区緊急発掘調査

内 容	平成26年度	平成27年度
	境松遺跡・若宮遺跡ほかの発掘調査	

(オ) 報告書作成業務

内 容	平成26年度	平成27年度
	埋蔵文化財調査報告書第132・133・134・135集の作成	

(カ) 埋蔵文化財緊急発掘調査

内 容	平成26年度	平成27年度
	奈木1号墳や橋良遺跡、吉田城址の緊急発掘調査、北田遺跡ほかの試掘確認調査	

(キ) 指定天然記念物植生調査

内 容	平成26年度	平成27年度
	葦毛湿原・ナガバノイシモチソウ自生地の植生調査や回復作業	

(ク) 指定文化財建築調査

内 容	平成26年度	平成27年度
	市指定有形文化財（愛知大学公館）の建築調査	市指定有形文化財（愛知大学公館）の建築調査報告書の作成

(ケ) 馬越長火塚古墳群測量業務

内 容	平成26年度	平成27年度
	—	国史跡指定の意見具申のため、指定予定の一部の土地を測量

(2) 文化財保存事業補助金 1,399,000 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	野依八幡社シダレザクラの樹勢回復及び正宗寺花鳥山水図の保存修理	玉泉寺のナギの樹勢回復及び臨済寺所蔵文化財の保存修理

(3) 文化財保存活用事業費 8,509,003 円

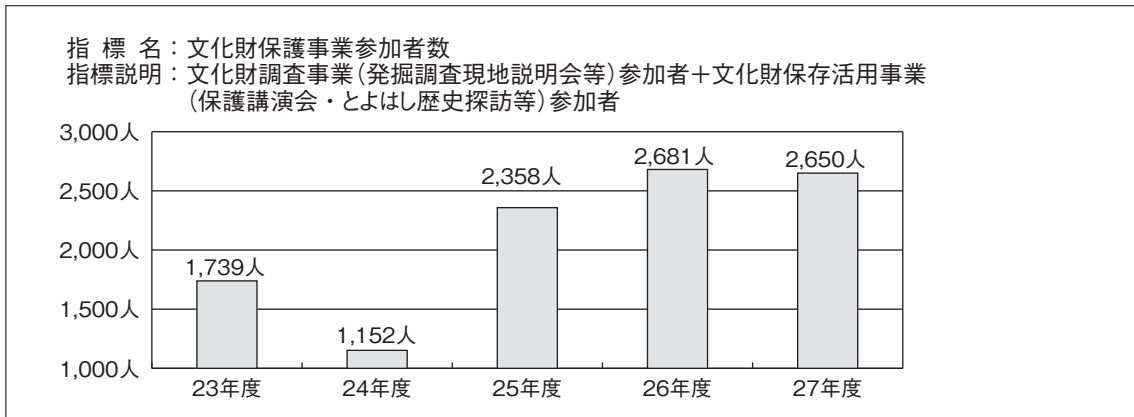
(ア) 文化財センター展示公開等事業費

内 容	平成26年度	平成27年度
	「縄文時代の食卓展」をはじめ、4回の企画展を開催	「発見 発掘 豊橋考古速報展」をはじめ、4回の企画展を開催

(イ) とよはし歴史探訪等開催事業費

内 容	平成26年度	平成27年度
	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見学、勾玉づくりなど体験講座を開催	文化財めぐりや史跡めぐりなど現地見学、勾玉づくりなど体験講座を開催

[指 標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
9目 歴史的建造物保護費 <歴史的建造物の保存と活用>	118,006,705	0	0	13,946,159	104,060,546

1 二川宿本陣資料館事業費 81,570,128円 (美術博物館)

[総括]

東海道を中心とした江戸時代の交通、地域の歴史や文化を紹介するため、常設展示をはじめ、「東『貝』道五十七次展」、「本陣に泊まった大名たちⅡ」、「忠臣蔵浮世絵展」、などの企画展、「体験講座」、「ひなまつり」などを開催したほか、地元住民が主体となって開催する「大名行列」への助成、展示資料収集、調査研究活動に取り組んだ。今後もより多くの市民に来館してもらえるような魅力的な企画展の開催に努めるとともに、イベント等開催にあたって地域住民との更なる連携に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 32,379,936円

[利用状況]

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
開 館 日 数	311日	312日	0.3%
延 入 館 者 数	35,064人	50,732人	44.7

(2) 展覧会事業費 12,421,821円

(ア) 展覧会開催事業費 8,536,954円

平成26年度		平成27年度	
区 分	延入館者数	区 分	延入館者数
お化け浮世絵展	6,458人	東「貝」道五十七次展	5,203人
旅セヨ乙女	5,801	本陣に泊まった大名たちⅡ	7,487
午年から未年 干支と新春の遊び展	2,793	忠臣蔵浮世絵展	3,664
常設企画展 2回	5,506	常設企画展 2回	6,146
記念講演会等 2	89	記念講演会等 3	123
計	20,647	計	22,623

(イ) 琴のしらべ開催等事業費 636,591 円

平成26年度		平成27年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数等
五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,132人	五月人形展－端午の節句－	会期中入館者 2,350人
琴のしらべ・本陣茶会	入館者 319	琴のしらべ・本陣茶会	入館者 326
ほんじん講座	受講者 35	ほんじん講座	受講者 43
七夕の節句	会期中入館者 962	七夕の節句	会期中入館者 843
本陣体験講座「ゆかたを着よう」	参加者 10	本陣体験講座「ゆかたを着よう」	参加者 16
本陣体験講座「和本を作ろう」	参加者 15	本陣体験講座「和本を作ろう」	参加者 36
菊の節句－重陽－	会期中入館者 1,495	菊の節句－重陽－	会期中入館者 1,346
本陣古文書講座	参加者 149	本陣古文書講座	参加者 158
春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 1,200	春の七草展－人日の節句－	会期中入館者 1,252
ひなまつり	会期中入館者 9,251	ひなまつり	会期中入館者 21,644
本陣句会	応募者 94	本陣句会	応募者 122

(3) 資料収集事業費 996,160 円

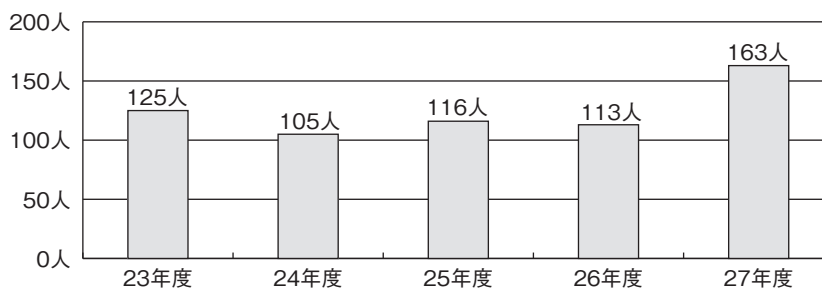
内 容	平成26年度	平成27年度
	浪花大湊一覧等 7点	美人東海道 三島等 9点

(4) 二川宿本陣まつり（大名行列）開催事業補助金 4,500,000 円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	4,500,000円	4,500,000円

[指 標]

指 標 名：二川宿本陣資料館1日当たりの入館者数
 指標説明：入館者数／開館日数



2 二川宿本陣資料館周辺整備事業費 24,992,713 円（美術博物館）

[総括]

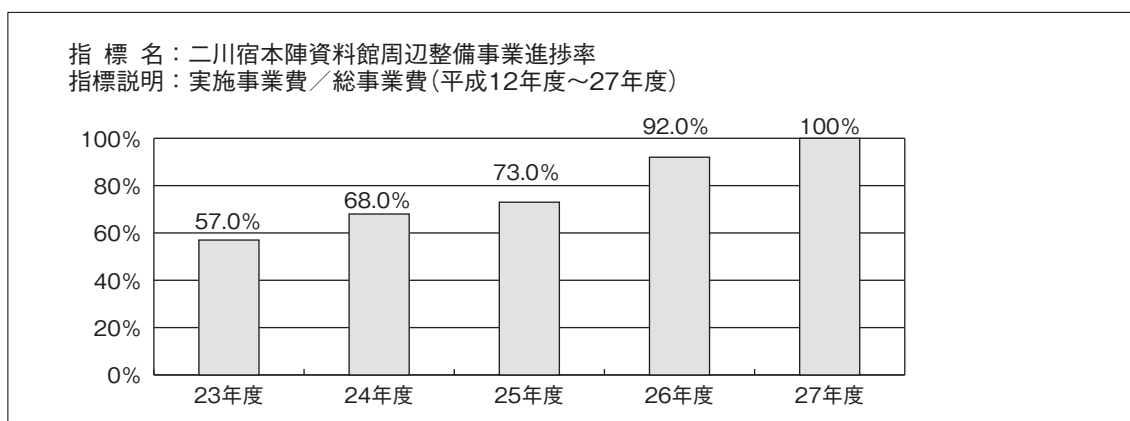
平成 24 年度から 3 か年で改修復原工事を実施した豊橋市指定有形文化財である商家「駒屋」について、情景展示・展示ケースの製作設置や二川宿案内サインの整備などの開館準備を行い、平成 27 年 11 月 1 日より一般公開した。

[実績及び成果]

(1) 商家「駒屋」整備事業費 24,992,713 円

内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	改修復原工事等	

[指標]



3 商家「駒屋」事業費 11,443,864 円（美術博物館）

[総括]

商家「駒屋」を生涯学習、地域の交流、観光の拠点となる体験型施設とし、民間ならではの手法を取り入れて事業展開するために指定管理者制度を導入した。また、商家「駒屋」の開館を周知するため平成 27 年度当初より関連イベントを行い、11 月 1 日に開館記念式典・イベントを開催した。今後は、本陣及び旅籠屋「清明屋」と連携しながら二川宿の歴史文化を発信するとともに、来館者へのサービスを向上させ集客に努める。

[実績及び成果]

(1) 施設管理事業費 8,511,259 円

[利用状況]

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
開 館 日 数	—	128日	皆増
延 入 館 者 数	—	84,620人	皆増

[主なイベント開催状況]

平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
区 分	延入館者数等	区 分	延入館者数
—	—	懐かしの二川写真展	会期中入館者 15,219人
		人日の節句	入 館 者 498
		ひなまつり	会期中入館者 38,087

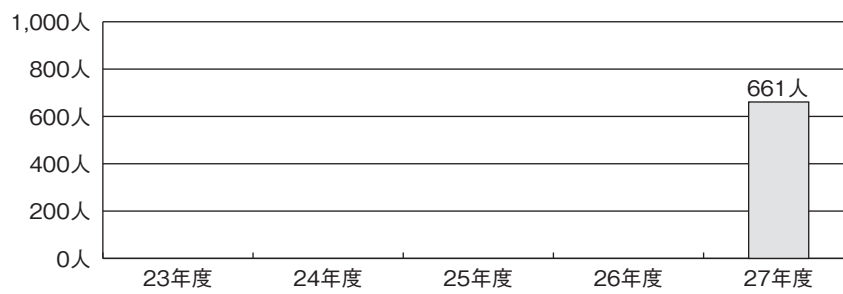
(2) イベント等事業費

2,932,605 円

内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	—	開館記念式典・イベントの開催等

[指 標]

指 標 名：商家「駒屋」1 日当たりの入館者数
指標説明：入館者数／開館日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5項 保健給食費	3,522,697,551	0	66,000,000	1,517,351,224	1,939,346,327
2目 子どもの健康増進費 <子どもの心と体の健康増進>	3,424,427,401	0	66,000,000	1,517,351,224	1,841,076,177

1 学校保健事業費 175,156,381 円 (保健給食課)

[総括]

児童生徒及び教職員の健康状態を把握し、疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒が安全かつ健康的な学校生活を送れるよう学校環境の衛生管理を行った。今後も各学校や関係機関と連携し、効率的・効果的な健康診断の実施や、学校環境調査後、基準超過校への事後措置の徹底を図っていく。

[実績及び成果]

(1) 学校健康診断事業費 140,517,017 円

(ア) 学校医、学校歯科医、学校薬剤師報酬 102,114,800 円

区 分		人 員	
		平成26年度	平成27年度
学 校 医	内 科	76人	77人
	耳 鼻 科	15	15
	眼 科	14	14
学 校 歯 科 医		81	82
学 校 薬 剤 師		38	39
計		224	227

(イ) 健康診断費 38,402,217 円

区 分	対 象	平成26年度	平成27年度	比 較
検 便	児 童	31,554人	31,420人	△ 0.4%
検 尿	児 童 生 徒	33,869	34,091	0.7
心 電 図 検 査	小中高各1年・小4年・その他	11,132	10,813	△ 2.9
就 学 時 健 診	入 学 予 定 児	3,452	3,541	2.6
教 職 員 健 診	全 員	8,035	8,222	2.3

(2) 学校保健会補助金 649,700 円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
	648,999円	649,700円

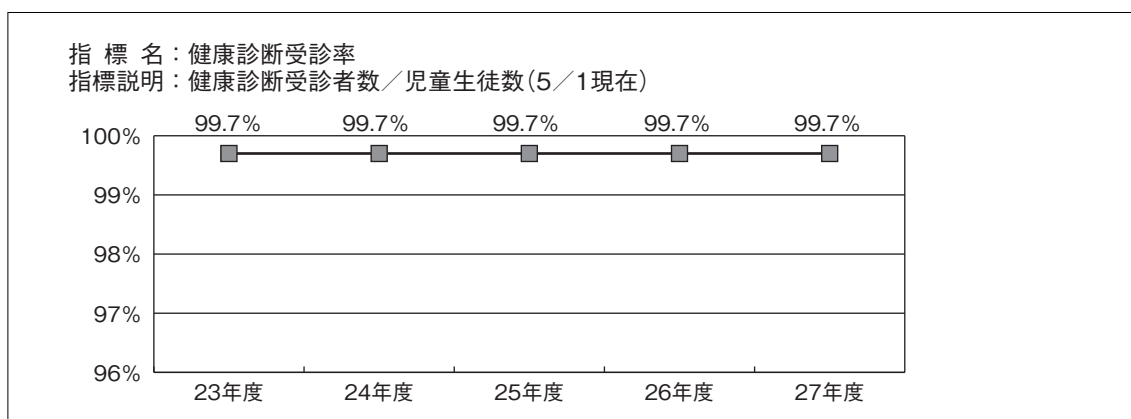
(3) 学校事故災害給付金等請求事業費 32,092,693 円

(ア) 日本スポーツ振興センター共済掛金負担金 31,039,585 円

(4) 学校結核予防事業費 1,896,971 円

区 分	児 童 生 徒			教 職 員		
	平成26年度	平成27年度	比 較	平成26年度	平成27年度	比 較
ツベルクリン反応検査	0人	0人	0.0%	—	—	—
間 接 撮 影	271	287	5.9	1,779人	1,829人	2.8%
直 接 撮 影	233	236	1.3	3	6	2.0倍
事 後 措 置	0	1	皆増	0	0	0.0%

[指 標]



2 共同調理場運営事業費 1,294,855,851 円（保健給食課）

[総 括]

小学校 52 校、中学校 22 校、特別支援学校 1 校の児童生徒に安全な給食を提供するため、衛生管理に十分配慮した調理を行うとともに、施設設備の充実改善に努めた。今後も給食物資について、生産者の顔が見える安全・安心で新鮮な地場産物の活用を推進するとともに、栄養価を考慮しながらおいしい給食が提供できるよう努める。

[実績及び成果]

(1) 共同調理場運営事業費（南部） 219,705,197 円

平成 26 年 度			平成 27 年 度			食数比較
小学校 13校	5,827人	延1,630,796食	小学校 13校	5,736人	延1,632,916食	
中学校 5	3,089		中学校 5	3,009		
			特別支援学校 1	328		

(2) 共同調理場運営事業費（北部） 490,133,904 円

平成 26 年 度			平成 27 年 度			食数比較
小学校 13校	4,762人	延1,409,820食	小学校 13校	4,783人	延1,392,492食	
中学校 6	2,927		中学校 6	2,901		

(3) 共同調理場運営事業費（西部） 129,028,296 円

平成 26 年 度			平成 27 年 度			食数比較
小学校 11校	5,598人	延1,482,487食	小学校 11校	5,567人	延1,446,980食	
中学校 5	2,476		中学校 5	2,406		

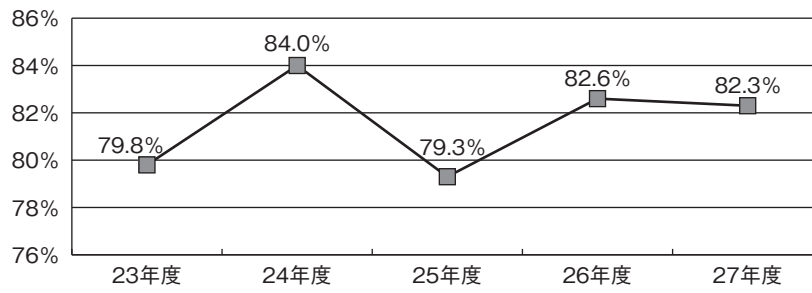
(4) 共同調理場運営事業費（東部） 185,286,270 円

平成 26 年 度			平成 27 年 度			食数比較
小学校 15校	6,382人	延1,821,020食	小学校 15校	6,246人	延1,766,156食	
中学校 6	3,606		中学校 6	3,578		

[指 標]

指 標 名：学校給食の豊橋産食材使用率

指標説明：豊橋産食材使用日数／給食実施日数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
6項 市民体育費	737,672,303	16,000,000	14,400,000	24,416,294	682,856,009
2目 スポーツ活動促進費 <スポーツ活動への参加促進>	115,719,671	0	0	18,390,020	97,329,651

1 地域スポーツ推進事業費 9,132,334 円 (スポーツ課)

[総括]

市民一人ひとりが生涯を通じてスポーツ活動を行うための体制づくりと生涯スポーツに対する意識高揚を図った。今後もスポーツ推進委員活動、スポーツ少年団活動及び総合型地域スポーツクラブの連携を進め、地域スポーツ活動の推進を図っていく。

[実績及び成果]

(1) スポーツ推進委員活動事業費 7,281,316 円

スポーツ推進委員	平成26年度		平成27年度	
		112名	6,720,000円	112名

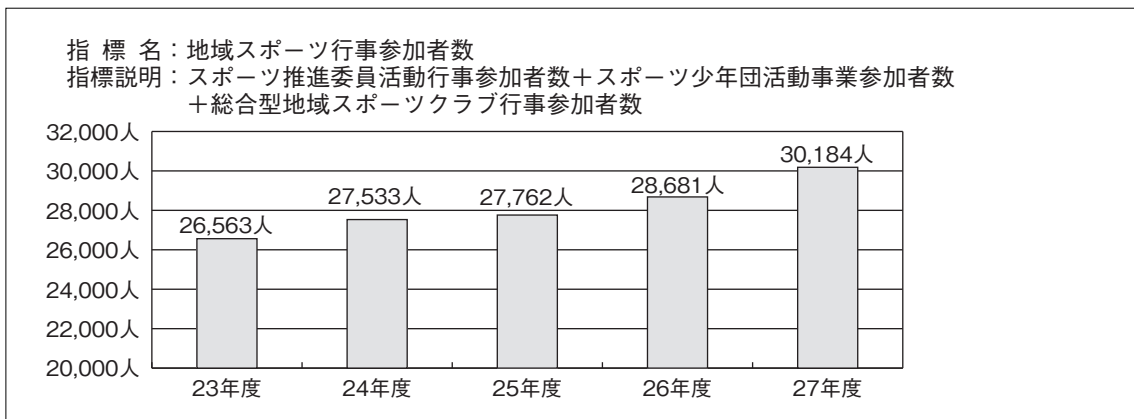
(2) スポーツ少年団活動事業補助金 900,000 円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		135団体	900,000円	134団体

(3) 総合型地域スポーツクラブ支援事業費 951,018 円

内 容	平成26年度		平成27年度	
		説明会の開催		新規クラブ設立支援

[指標]



2 一般体育振興事業費 106,587,337 円 (スポーツ課)

[総括]

スポーツの普及発展を図るための各種大会の開催や学校体育施設の開放事業のほか、豊橋市体育協会への活動支援を行った。今後も各種スポーツ行事の内容を検討し、より一層のスポーツ振興を図る。

[実績及び成果]

(1) スポーツ活動推進事業費 11,257,339 円

(ア) 行事開催

区 分	平成26年度			平成27年度		
	開催日	会 場	参加人数	開催日	会 場	参加人数
スポーツフェスタ	7月～12月	陸上競技場ほか	延8,710人	7月～12月	陸上競技場ほか	延8,358人
三遠南信スポーツ交流事業	26.12.23	総合体育館	378	27.11.28 27.12.23	浜松球場 武道館	525
体育の日記念行事 (ウエルネス)	中止			27.10.12	総合体育館	2,000
競技力向上対策事業	27.2.28	アクアリーナ豊橋	50	28.2.21	新栄地区体育館	130
豊橋みなとシティマラソン	26.11.9	総合スポーツ公園 -神野西町一丁目	4,004	27.11.8	総合スポーツ公園 -神野西町一丁目	3,000
渥美半島駅伝競走大会	休止			休止		
穂の国・豊橋ハーフマラソン	27.3.29	豊橋公園発着 (市内周回)	4,721	28.3.27	豊橋公園発着 (市内周回)	4,574

(イ) 「のぼそスポーツのまち豊橋」中間見直し(生涯スポーツ推進市民会議の開催)

開催回数	平成26年度		平成27年度	
		1回		3回

(2) 市民スポーツ祭事業補助金 500,000 円

補助金	平成26年度		平成27年度	
		31種目	500,000円	32種目

(3) 学校体育施設開放運営事業費 39,741,922 円

開放施設 市立小・中学校、県立高校 計 81 校

[利用状況]

区 分	平 成 2 6 年 度			平 成 2 7 年 度		
	体育館	運動場	計	体育館	運動場	計
バレーボール	延196,206人	—人	196,206人	延190,301人	—人	190,301人
剣 道	延 70,868	—	70,868	延 72,893	—	72,893
空 手	延 40,655	—	40,655	延 35,926	—	35,926
野 球	—	延144,892	144,892	—	延157,299	157,299
ソフトボール	—	延 35,731	35,731	—	延 33,658	33,658
卓 球	延 19,072	—	19,072	延 20,314	—	20,314
バドミントン	延 35,308	—	35,308	延 33,125	—	33,125
サ ッ カ ー	—	延252,223	252,223	—	延222,844	222,844
バスケットボール	延 98,018	—	98,018	延113,026	—	113,026
ソフトバレー	延120,501	—	120,501	延115,393	—	115,393
インディアカ	延 35,118	—	35,118	延 31,811	—	31,811
そ の 他	延110,567	延 34,434	145,001	延123,029	延 29,474	152,503
計	726,313	467,280	1,193,593	735,818	443,275	1,179,093

(4) 豊橋市体育協会補助金 47,788,076 円

補 助 金	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
		48,600,000円

(5) 日本港湾福利厚生協会補助金 7,000,000 円

補 助 金	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
		プール延利用者数 45,594人 7,000,000円

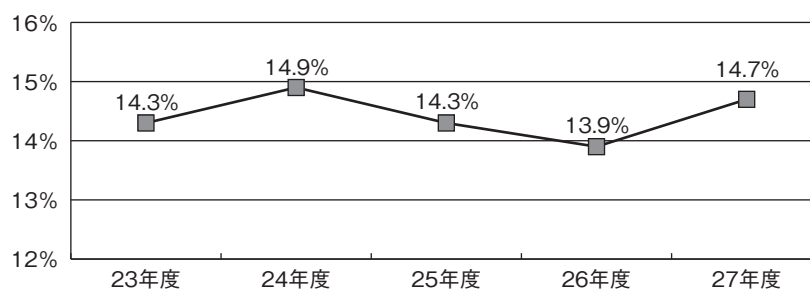
(6) 市町村対抗駅伝競走大会参加補助金 300,000 円

補 助 金	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
		300,000円

[指 標]

指 標 名：市・体育協会主催スポーツ活動参加率

指標説明：市民の市・体育協会主催スポーツ活動参加者数／10月1日現在豊橋市民数



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3目 競技スポーツ振興費 <競技スポーツの振興>	3,544,569	0	0	292,707	3,251,862

1 スポーツ大会誘致事業費 1,999,941円 (スポーツ課)

[総括]

市民のスポーツへの関心を高めるとともに、競技力の向上を図るためバスケットボールWリーグ公式戦を誘致した。今後も市民に感動を与えスポーツへの関心が高まる大会の積極的な誘致活動に取り組む。

[実績及び成果]

- (1) 各種スポーツ大会誘致促進事業補助金 1,999,941円
 (ア) 日本女子ソフトボールリーグ1部豊橋大会開催補助金 200,000円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
		200,000円

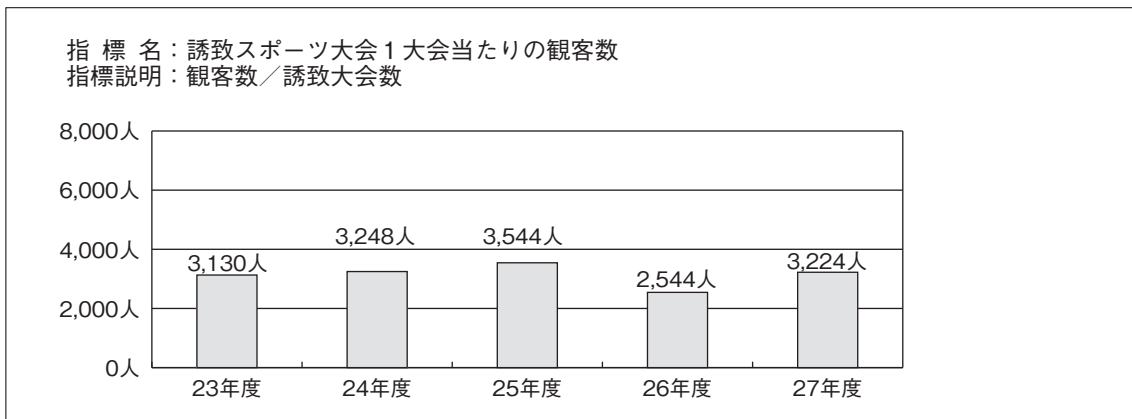
- (イ) プロ野球ウエスタンリーグ公式戦開催補助金 1,499,941円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
		1,499,526円

- (ウ) バスケットボールWリーグ公式戦開催補助金 300,000円

補 助 金	平成26年度	平成27年度
		300,000円

[指標]



科目	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
4目 スポーツ環境整備費 ＜スポーツ環境の整備充実＞	550,728,891	16,000,000	14,400,000	5,733,567	514,595,324

1 スポーツ施設管理運営事業費 550,728,891円 (スポーツ課)

[総括]

各スポーツ施設は指定管理者により効率的、効果的な管理運営が行われた。また、市民球場改修等工事を行い、施設の整備充実を図った。今後も施設の改修、整備を計画的かつ効率的に行い、市民が手軽にスポーツに親しめるよう施設の充実を図る。

[実績及び成果]

(1) 総合運動場管理運営事業費 134,870,686円

[利用状況]

＜総合運動場＞

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
豊 橋 球 場	269日	52,615人	248日	52,987人	0.7%
東 田 球 場	239	24,922	222	24,506	△ 1.7
陸 上 競 技 場	308	61,597	271	64,399	4.5
硬 式 庭 球 場	245	7,650	288	9,925	29.7
軟 式 庭 球 場	301	36,459	278	39,129	7.3
計	—	183,243	—	190,946	4.2

＜市民プール＞

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	延利用人員	1日平均	延利用人員	1日平均	
大 人	4,437人	68人	5,241人	77人	18.1%
小 ・ 中 学 生	5,174	80	5,827	86	12.6
幼 児	2,551	39	3,026	45	18.6
団 体	711	—	0	—	皆減
計	12,873	187	14,094	208	9.5%

区 分	平成26年度	平成27年度	比 較
開 場 日 数	65日	68日	4.6%
1日の最高入場者数	687人	745人	8.4

<武道館>

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
柔 道 場	289日	20,870人	290日	18,477人	△11.5%
剣 道 場	303	18,691	306	16,754	△10.4
弓 道 場	304	15,585	305	14,623	△ 6.2
相 撲 場	158	1,079	157	976	△ 9.5
ト レ ー ニ ン グ 室	305	24,472	305	27,145	10.9
計	—	80,697	—	77,975	△ 3.4

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	豊橋公園硬式庭球場改修工事 武道館高架水槽及び受水槽給水配管修繕 豊橋市陸上競技場スタンド建設基本設計業務	陸上競技場走路修繕工事 陸上競技場スタンド建設実施設計業務

(2) 地区体育館管理運営事業費 73,315,734 円

〔利用状況〕

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
前 田 南	307日	43,267人	308日	42,219人	△ 2.4%
新 栄	306	30,116	308	31,001	2.9
牛 川	308	38,749	308	36,946	△ 4.7
草 間	305	44,441	308	42,951	△ 3.4
飯 村	308	40,863	308	42,546	4.1
下 五 井	307	36,934	308	34,644	△ 6.2
浜 道	308	35,930	308	35,806	△ 0.3
二 川	301	35,389	308	34,837	△ 1.6
石 巻	301	32,759	308	34,652	5.8
大 清 水	307	40,481	308	44,362	9.6
計	—	378,929	—	379,964	0.3

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	浜道地区体育館鳩よけ修繕 下五井地区体育館屋根改修工事	飯村地区体育館屋根防水工事

(3) トレーニングセンター管理運営事業費 8,452,222 円

〔利用状況〕

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	308日	19,779人	308日	21,064人	6.5%
ト レ ー ニ ン グ 室	229	791	244	815	3.0
和 室	107	789	100	1,078	36.6
調 理 室	5	136	5	260	91.2
研 修 室 ・ 集 会 室	284	5,886	281	5,782	△ 1.8
テ ニ ス コ ー ト 等	239	4,616	198	4,891	6.0
計	—	31,997	—	33,890	5.9

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	トレーニングセンター床修繕 バレーボール支柱床修繕	

(4) グリーンスポーツセンター管理運営事業費 9,077,293 円

〔利用状況〕

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テ ニ ス コ ー ト	281日	5,471人	281日	6,267人	14.5%
多 目 的 広 場	308	32,482	308	24,722	△23.9
キ ャ ン プ 場	35	414	30	422	1.9
パ タ ー ゴ ル フ	131	1,044	163	1,426	36.6
グリーンスポーツハウス	6	357	6	411	15.1
計	—	39,768	—	33,248	△16.4

(5) 岩田総合球技場管理運営事業費 57,401,493 円

〔利用状況〕

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
市 民 球 場	194日	56,524人	212日	46,985人	△16.9%
市 民 球 技 場	78	28,790	79	31,480	9.3
市 民 庭 球 場	298	43,291	303	46,322	7.0
市 民 ク ラ ブ ハ ウ ス	180	6,140	194	6,231	1.5
計	—	134,745	—	131,018	△ 2.8

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	市民球場改修工事等 市民球場スピードガン改修修繕 市民球場屋外排水管修繕	豊橋市民球場耐震改修工事

(6) 運動広場管理運営事業費 38,740,796 円

〔利用状況〕

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
高師緑地青少年広場	332日	38,760人	330日	36,951人	△ 4.7%
明 海 広 場	129	21,132	144	21,383	1.2
明 海 少 年 広 場	137	7,650	127	6,420	△16.1
高 山 広 場	181	6,802	191	7,639	12.3
向 山 運 動 広 場	305	18,741	279	17,402	△ 7.1
石 巻 運 動 広 場	269	90,515	268	84,818	△ 6.3
臨 海 運 動 広 場	144	20,541	167	21,970	7.0
レクリエーション広場	135	10,190	236	21,246	2.1倍
中 島 広 場	117	14,289	—	—	皆減
計	—	228,620	—	217,829	△ 4.7%

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	幸スポーツ広場フェンス修繕 羽根井スポーツ広場フェンス修繕	石巻運動広場トイレ建設工事 羽根井スポーツ広場ネット修繕

(7) 総合体育館管理運営事業費 95,450,037 円

〔利用状況〕

区 分		平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
		利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
競 技 場	スポーツ	269日	149,405人	281日	162,342人	8.7%
	そ の 他	32	49,448	12	4,205	△91.5
卓 球 室		304	11,645	307	13,566	16.5
会 議 室		126	4,907	140	5,143	4.8
研 修 室		119	3,675	97	3,823	4.0
計		—	219,080	—	189,079	△13.7

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	直流電源装置改修修繕 神野新田中継ポンプ場修繕 神野新田ポンプ場吐出配管修繕 第1競技場床修繕	総合体育館第1アリーナ照明制御システム修繕 神野新田ポンプ場中継ポンプ取替修繕

(8) 万場調整池庭球場管理運営事業費 1,661,641 円

〔利用状況〕

区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
テニスコート	283日	12,703人	297日	14,731人	16.0%

(9) 屋内プール・アイスアリーナ管理運営事業費 131,758,989 円

〔利用状況〕

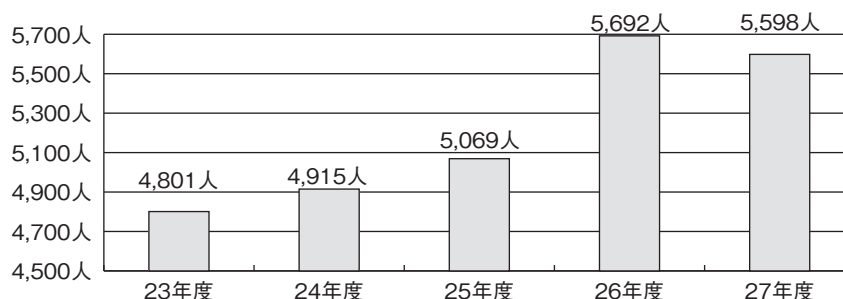
区 分	平成26年度		平成27年度		比 較 (延利用人員)
	利用日数	延利用人員	利用日数	延利用人員	
屋 内 プ ー ル	110日	30,780人	111日	31,057人	0.9%
アイスアリーナ	189	59,062	189	58,620	△ 0.7
トレーニング室	308	41,757	308	43,647	4.5
計	—	131,599	—	133,324	1.3

〔施設整備〕

内 容	平成26年度	平成27年度
	監視装置修繕 入口プレート修繕	

〔指 標〕

指 標 名：全スポーツ施設1日当たりの利用者数
 指標説明：利用者数／開場・開館日数



科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
11款	災 害 復 旧 費	27,672,163	0	0	362,050	27,310,113
1項	土 木 施 設 災 害 復 旧 費	18,948,600	0	0	0	18,948,600
1目	道 路 橋 梁 災 害 復 旧 費	18,948,600	0	0	0	18,948,600

1 道路橋梁災害応急復旧費 18,948,600 円 (道路維持課)

[総括]

平成 27 年 9 月の台風 18 号により、東七根町、伊古部町において道路法面崩れが発生したため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 道路橋梁災害応急復旧費 18,948,600 円

内 容	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
		—		道路損壊復旧

科目	決算額等	決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3項	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	8,723,563	0	0	362,050	8,361,513
1目	そ の 他 施 設 災 害 復 旧 費	8,723,563	0	0	362,050	8,361,513

1 諸施設災害応急復旧費 8,723,563 円 (資産経営課始め 6 課)

[総括]

平成 27 年 9 月の台風 18 号により、公園、学校等の施設に多大な被害を受けたため、迅速な復旧に努めた。

[実績及び成果]

(1) 諸施設災害応急復旧費 8,723,563 円

内 容	平成 2 6 年度			平成 2 7 年度		
	業 務 課 住 宅 課 (消)総務課 教育政策課 スポーツ課 公園緑地課 スポーツ課	公共施設復旧	西部環境センター 岩屋住宅ほか 杉山分団第三部器具庫ほか 牟呂中学校 グリーンスポーツセンターほか 高師緑地ほか 幸スポーツ広場	資産経営課 施設課 教育政策課 生涯学習課 スポーツ課 公園緑地課	公共施設復旧	庁舎 資源化センター東工場棟 杉山小学校ほか 少年自然の家 新栄地区体育館ほか 神明公園ほか

